

A G A R O O T

A C A D E M Y

合格者の最短ルート

合格

令和6年合格者

体験記



学生 - 国家公務員合格

(国立大学職員含む)

アガルートアカデミー合格体験記 公務員試験

令和6年度 公務員試験合格

「合格後にやりたいリスト」を見て楽しみに

志賀 隆聖さん

内定先：東京国税局

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

公務員を目指したきっかけは、安定した職業であるという点が大きな理由です。公務員という職種は、給与や福利厚生が安定しており、長期的に安心して働ける環境が用意されています。また、公務員として働くことで社会貢献することができる点も魅力です。国や社会全体の発展に貢献するという使命感があり、大きなやりがいを感じられると思います。また、公務員としてのキャリアパスも魅力的です。公務員として働いていくことで専門性を深めながら昇進していくことができます。このように自らの専門知識を活かして社会に貢献することができる点も、公務員を目指した理由の一つです。私はこれらの点から、公務員として働くことに魅力を感じて公務員を目指しました。

アガルートをお選びいただいた理由

私が公務員試験を受けるにあたってアガルートアカデミーの講座を受講した理由はいくつかあります。まず、アガルートアカデミーは合格実績が年々向上していると評判である上に、公務員試験の科目ごとにわかりやすくレベルの高い授業を受けることができると聞いて高い信頼感があったからです。また、総合職や一般職、専門職と併願する人向けなど、受ける公務員試験の特徴に合わせて講義が用意されている点も魅力的でした。このように初心者から上級者まで、自分が受ける試験に合わせて利用できるカリキュラム設計がなされており、自分にとって最適な学習ができる点が決め手となりました。さらに、アガルートアカデミーの講座は最新の試験傾向や出題傾向を掴んだうえで最も効率的に学習できるようになっていると聞いたため、他の予備校と比較してスピーディーに勉強を進めることができると考えました。そして、各受講生に対するサポート体制もよく整っており、

質問や疑問点に対して手厚いサポートがあるという点も魅力的でした。

学習の方針と進め方

まずはどの試験でも基本的に配点割合の高い専門科目の勉強をメインで進めました。当初は何から手をつけていいのか全く分からなかったのですが講義を通して講師陣が憲法やミクロ・マクロ経済から始めると勉強を進めやすいと教えてくれたのでその通りにしました。それから模試などで専門科目の得点が安定してきたところで教養科目に取りかかり、どちらでも点を取れるように勉強を進めました。試験直前期には暗記が基本の学系科目にも取り組み得点できる科目を増やしました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

筆記試験の勉強に専念しすぎたせいで面接対策が疎かになってしまい、失敗したなと思いました。当然1次で筆記試験があるためそれに合格しなければ面接を受けることはできませんが、初めから1次試験に合格したときのことを考えて行動するべきだったと反省しました。そのため1次試験に合格後すぐにアガルートアカデミーの模擬面接を何度も利用してひたすら面接対策を行いました。その際には模擬面接で上手いかなかったポイントをすぐにノートにまとめ、次の面接では上手くできるように工夫しました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

教養試験対策用の講座の良さは1回1回の授業がスッキリとまとめられているおかげで受講することが苦にならない点です。その上で重要な点はしっかりと解説してくれるため難しい問題にぶつかった時は繰り返し講義を聞いて理解に努めました。

②専門試験対策

専門試験対策用の講座の良さは科目ごとに幅広く学習しなくてはいけない中でも特に重要なポイントを示しながら講義を進めてくれる点です。全ての科目の全てのポイントで100%の力を出し切っているのはかかる時間も労力も計り知れないものになってしまうため、特に試験に出される可能性の高い箇所を教えてくれるのが非常に有意義でした。

③人物試験対策

何度でも無料で模擬面接を受けられる点がとても素晴らしかったです。使い方としては、1次試験に合格後、2次面接を受けるまでの間にできるだけ多くの模擬面接を受けるという形でした。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私の場合は大学3年生の間に試験勉強をし、大学4年生の間に受験するという形だったので、3年生で履修する科目を限界まで減らし必要な単位は受験後に修得するという形を取ることで学習時間を作っていました。また、切り替えがあまり得意な性格ではないため、勉強する日は必ず10時間以上勉強する・勉強しない日はしっかりと息抜きに充てるという

過ごし方をしていました。また、「今日はこのページまで進める」というような計画の立て方はせずに、必ず時間を計りながら進めることでペースを維持していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期には自信を失わないためにも自分の得意な科目の復習を中心的に取り組みました。試験を受ける際には学んで身につけた知識だけでなくメンタル面也非常に重要になると私は考えています。そのため「これだけは確実に満点を狙える」という科目を用意しておき、当日にそれを実行することで他の問題を解く時にも良いメンタルで取り組むことができます。また、勉強量を多くしすぎない点にも注意しました。本番までに体力を使い切ってしまうのは元も子もないため少しペースを落として勉強を進めました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中は体力的に余裕がないためかなり勉強量を減らしていました。特に知識で解く専門科目の勉強はせずに、毎日続けないと力が大幅に衰えてしまう計算力を必要とする数的処理の勉強だけを続けるようにしました。試験期間中に新しい知識を身につけようとしても不安や焦りで逆効果になってしまうことが多いため、たとえ解けなくても解説を読めば必ず理解できる数的処理の問題を解くことが1番良いと考えてそのようにしました。また、終わった試験のことを考えても仕方がないため一度受けた試験の問題はその後一度も見ずに、後に控えている試験のことだけに意識も向けるようにしていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

① 教養試験を受験した時の手ごたえ

アガルートアカデミーの講義で頻出と言われていた形式の問題が何度も出題されたため、問題を見た瞬間に「こうやって解こう」という目処が立つものが多かったです。もちろん中には解き方の思いつかない問題もありましたが、他の問題でしっかり解けたという自信があったためあまり心配はなかったです。

② 専門試験を受験した時の手ごたえ

専門試験対策でも教養試験対策の講義と同様に講師が頻出と教えてくれた点を重点的に勉強できていたおかげで、問題文を読んだ瞬間に「あの問題か」となることが多く、解き終わったあとにもこれだけの点数は確実に取れているなという自信がありました。

③ 人物試験を受験した時の手ごたえ

アガルートアカデミーで模擬面接を受けた時には安心させるためじゃないかと思うくらい褒めてくれる点が多く少し不安だったのですが、実際に人物試験を受験した時には「アガルートの模擬面接といっしょだ」と感じる事が多く、自信を持って話すことができました。

合格・内定した時の気持ち

私の場合は丸1年間・毎日10時間以上を試験勉強にあてており、「落ちたらどうしよう、民間も受けておけばよかったかな」などと毎日不安な日々を過ごしていたため、とにかく

安心したという気持ちが大きかったです。また、やはり努力は報われるんだなと思い、最後まで諦めずに頑張って勉強を続けてきて良かったなと強く感じました。さらに、試験勉強をしている際に合格後にやりたいことリストを作っていたため、合格した時にそれを見て楽しい気持ちが込み上げてきました。

振り返ってみて合格の決め手

合格の決め手は「絶対に合格する」という強い意志だと思います。私の場合はこの強い意志を持つことで試験勉強をする間は大学の履修科目を減らし、1日10時間という勉強時間を確保していました。また、息抜きも大切ですが遊んでばかりいては勉強のペースが乱れてしまうため、友人に遊びに誘われてもペースが乱れない程度に遊びに行くように我慢していました。知り合いの中には試験勉強の途中で受験を諦めてしまった人もいましたが、強い意志さえあれば最後まで諦めずに走り抜き、無事合格を掴み取ることができると思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私は国税専門官として適正・円滑な税の賦課徴収に取り組みたいと考えています。社会は多種多様な行政活動によって成り立っていますが、それら全ての行政活動は税金をもとに行われています。つまり、税金が正しく収められないと行政活動が適切に行えなくなり、多くの人々の不利益に繋がってしまいます。そうならないためにも、税のスペシャリストとして適正・円滑な税金の賦課徴収に貢献し、縁の下の力持ちとして全ての行政活動を支えていきたいと考えています。また、塾講師のアルバイトを通して難しい話をわかりやすく説明する力が身についたため、この力を生かして難しい税法などを納税者の方々に正しく理解してもらうことに力を入れて取り組んでいきたいです。

受験生に対するメッセージ

努力は必ず報われるということを常に念頭に置きながら最後まで諦めずに頑張ってください。また、絶対に合格して公務員になるという強い意志も大切です。なんとなく公務員を目指してなんとなく合格できてしまうという人も中にはいますが、当然そうならない人も大勢います。実際に私の知り合いに「なんとなく」で勉強を始めたのはいいものの、途中で勉強するのが嫌になり公務員の道を諦め、民間就職の方も中途半端になってしまったという人がいます。そうならないためにも「やるからには最後までやり抜き合格を勝ち取る」という強い信念を持つことが重要だと思います。私自身も受験日が近づくにつれて不安が増えていき、何度も逃げ出したいと思いました。その時は自分が公務員を目指した理由を振り返ってやる気を出していました。長丁場となる公務員試験ではモチベーションの維持がとても困難ですが、みなさんの合格を心より願っています。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

アガルトのオンライン質問サービスを活用

渡邊 実央さん

内定先：国家一般職 防衛省 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

幼い頃から漠然と公務員になりたいと思っていました。就職を意識し始めてから一番大きなきっかけになったのは私が放置自転車に悩んでいた際にどこかに相談したわけではなかったのですが区役所職員の方が撤去してくださり自分も誰かの困っている問題を解決できるような業務に従事したいと思ったことです。その後、役所や県庁、国家公務員など様々な職種を調べていきました。最終的に国防に携われる点と大きなスケールで仕事のできる点や職員の方の雰囲気やキャリアプランに惹かれ防衛省を選びました。きっかけは地方公務員に憧れていましたが説明会や職員の方の話、実際に業務を目にして違う進路を選んだので積極的な情報収集が大切だと思います。

アガルトをお選びいただいた理由

大学2年生の冬休みに公務員試験の勉強を始めました。独学も考えましたが予備校に通ったほうが自分に合っているだろうと考え3社ほどの予備校から資料請求しました。その3社からアガルトを選んだのは、テキストの見やすさ、オンラインサービスの充実、模擬面接や面接カードの添削の回数無制限、値段、内定特典です。特に一番大きかったのはテキストの見やすさとオンラインサービスの充実です。テキストは何周もしたり筆記試験の最後まで使うものなので分かりやすく勉強する際になるべくストレスの少ないものを選ぶべきだと思います。また、私は予備校に通うのではなく家で受けたいときに授業を受けたいと思っていたのですべてオンライン上で簡潔できるのがありがたかったです。模試は実際に雰囲気を味わいたいと思い他の予備校の模試に申し込みました。また、面接は対面で第三者にみてもらいたいと思ったのでハローワークも利用しました。

学習の方針と進め方

憲法や民法など専門科目は学んだ経験がほとんどゼロに等しかったため講義動画を見て付属の問題集を解きました。問題集のなかで理解できなかったところはその都度教科書に戻り理解してそれでもわからなかった場合は質問していました。アガルートのKIKERUKUNというオンライン質問サービスで質問すると講師の方々が丁寧に答えて下さるのでよく利用していました。教養科目は数的処理などは自分でまず問題集を解いて回答を見てもわからなかった問題は講義動画を見ていました。専門科目も教養科目も問題集は最低5周、多い科目は10周ほどしました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

民法は何周しても理解できない分野があり苦戦しました。他の予備校の模試を受けた際に民法の点数が0/5の時もあり落ち込むこともありましたが。模試を受けたのは一次試験直前期でもあったので焦りが募りました。乗り越えた方法は二つあって、一つ目はとれる問題だけとる！という気持ちで挑みました。特別区や県庁は科目ごとではなく全体で○問選択だったのでこれは解いたことがあるという問題は絶対点がとれるようにしようと考えました。二つ目はあまり根本的な解決策ではないかもしれませんが国家一般職の試験のときは民法を選択しませんでした。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①数的処理などはとにかくテキストを何周もしました。文章理解は毎日2題ずつ解く習慣をつけていました。教養科目は時間勝負なのでどの科目を解くときも時間を計りました。私の場合ですが、数的処理や判断推理、資料解釈は1問4分、文章理解は短いものは3分、長い英文などは5～6分で解けるように時間配分を考えていました。難しい問題に頑張っ取り組みたくなくなってしまうのですが、見切りをつける勇気も必要だと思います。

講座の良さはどの科目もテキストが見やすいのが良かったです。また、講義を見なくても自分で取り組めるような問題集になっていたので時間短縮になりました。各人によると思いますがまずは自分で問題集を解いてみてわからない問題や苦手な分野を明白にしたら、それを克服するために講義をみて考えかたを理解したりするのがコスパがいいと思います。

②専門科目は教養科目と反対で時間はかけても絶対点数に繋げるような知識が必要だと思います。どの科目を勉強するか、試験でどの科目、問題を選択するかなど各人の得意不得意や状況にあった選択肢がいっぱいあると思います。私はミクロ経済学やマクロ経済学が得意だったのでそこは絶対自信を持って武器にしようと考えていました。実際にどの試験でも4～5点とることができました。何度もテキストの問題を解いて問題パターンを理解することを意識しました。

講座の良いところは何度も講義を見返せるところです。問題集を何周もしていると何度も同じ問題で間違えていたり前に学んだ部分を忘れていたりすることがあると思います。

そのときにサクッと講義動画に戻ることで勘違いを防ぎ理解を深めることができました。

③私は民間就職はしていなかったので面接は公務員試験が始めてでした。面接対策を始めた時期は国家一般職の一次試験が終わった直後（6月上旬）です。まだ県庁の一次試験が残っていたので6月は一次試験の勉強をしつつ面接対策を始めました。まず初めたのは想定質問とその回答を考えることです。なぜ志望するのか、他の併願先との比較、従事したい仕事など一般的な質問とそこからどう深掘りされるかを考えました。想定質問を考えながら自分の考えを明白化し自分の良さがどう伝わるかを考えました。また、アガルートの模擬面接を利用しました。どの志望先も一度は模擬面接をしていただきました。自分とは違った視点で深掘りしていただけるので面接前に経験できてよかったと思います。また、面接カード添削も何度も利用しました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

学習時間は平日4時間、休日7時間ほどだったと思います。毎日6時に起きて勉強していました。勉強時間はそれほど意識せず集中できるときに集中していました。この日までにこの問題集を終わらせるなどと目標を決めてタスクをこなしてそれが終われば勉強はしなくもよいと決めていました。一日は午前中に教養科目の勉強、午後に専門科目の勉強と決めていました。本番も教養科目があさイチで始まるのでそれに合わせて朝でも頭を回転させられるよう意識していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期も勉強時間はあまり普段と変わりませんでした。だいたい試験の一个月前に過去問が入手できる場合は時間もきっちり計り解いて点数も計算していました。点数に一喜一憂しないようにこころがけ、解けない問題があっても本番までに解けるようになればいいんだと自分に言い聞かせました。志望先によって点数の配分やよく出題される分野が異なるのでその感覚を養うためにも過去問は一度は経験した方がよいです。私はだいたい5年分ほど解きました。

試験期間中の過ごし方

とにかく体調を崩して試験が受けられないのは一番避けたいと思っていたので、勉強時間は変えずに睡眠時間をたくさんとりました。今までやってきたことを思い出してやったのにわからない問題を無くすようにこころがけていました。受験会場にすべてのテキストは持っていけないと思ったので間違いやすいところをメモしてあとですぐ見返せるようにしたり間違えた問題をすぐ見返せるようにマーカーをつけたりしました。出やすい問題は点がとれるようにこころがけていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①国家一般職の教養科目は数的処理で解けない問題があまりなかったのと時間配分が上手くいったので手ごたえを感じていました。時事はわからない問題が多く勘で答えてしまったものも多かったのもっと力をいれればよかったと思ったのを覚えています。今年

から時事は少し変わったので直前期でなくもっと前から取り組み始めていたらあと1〜2点とれたかなと思います。一番のよかったところは焦らずに解けたことだと思います。あせってしまうと解ける問題も解けなくなってしまうことやケアレスミスも増えるので冷静に落ち着いて解くように意識しました。教養科目の手ごたえがよくも悪くもその後の試験にも作用すると思うので自分の一番の力を発揮できるように環境を整えることが大事だと思います。

②国家一般職の専門科目は3時間ととにかく時間が長いので集中力があるうちにまずは一周解きました。用意した科目を解いてできてなさそうな科目を見極めて8科目に絞ったので手ごたえが重要になります。私はミクロ経済学とマクロ経済学と憲法、行政法は手ごたえがあって、その他の科目は自信のない問題が少ない順に選択しました。時間はたっぷりあるのでどの教科にするか迷う時間は長いです。私の考えですがあまり迷うとあとで後悔が大きくなるので直感を信じて選びました。あとは計算ミスがないか、読み間違いがないかを何周も確認しました。最後まで気を抜かずに取り組みめたのが点数に繋がったのかなと思います。あとは科目数を多く用意していたのでその分準備は大変でしたがその年の難化易化にあまり不安になりすぎず取り組みました。

③私の就職先は官庁訪問で2回、人事院面接、採用面接のすべて合わせて計4回面接を受けました。一番手ごたえがなかったですが、癖のある質問などありませんでした。ネガティブチェックという印象が強かったです。官庁訪問は一日目の夜に合格していたら電話がかかってきて翌日も面接を受けるというシステムでした。一日目は手ごたえがありましたが、二日目はなかったです。面接のことをあとで考えても変わらないし自分の手ごたえと面接官からの印象は違うことが多いのであまり気にしないようにしていました。面接のことを思い出すと、あの時のあの質問にあの回答はあまり合っていないんじゃないかという不安や回答に詰まってしまったなという後悔がでてきてしまうので、予想外の質問をされたら次の面接にも活かせるようにメモすることしかしていませんでした。

合格・内定した時の気持ち

どの就職先でも合格、内定をいただけたのですが、どの志望先でも嬉しいという気持ちが一番大きかったです。防衛省は採用面接中に口頭で内々定を頂いたのですが嬉しくて夢なのかなと疑ってしまいました。自分を採用者として認めてくださったこと、これから自分が就職先の一員になれるということに感謝の思いが溢れました。内定式の案内がきて内定式に出席するまで自分が合格したことを信じられませんでした。この初心を忘れずに頑張りたいです。

振り返ってみて合格の決め手

一次試験は日々の積み重ね、二次試験は笑顔と志望先への思いの強さが合格の決め手になったと思います。一次試験は一年前くらいから毎日勉強を積み重ねたことで知識を定着させられたし自信に繋がったと思います。面接では笑顔が相手に与える最初の印象だと思うので面接官ひとりひとりの目を見て会話を楽しむことをこころがけました。第一志望へ

の気持ちは強い自信があったのでそれを伝えられるように回答を考えました。自分の良さを伝えることが合格の秘訣かなと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

説明会で職員の方が携わった仕事が実際にニュースや新聞で取り上げられた話を聞き、その影響力の大きさに感銘を受けました。私もそのように国防に貢献できるスケールの大きい仕事をしたいと強く感じました。防衛省には数多くの組織があり、様々な経験を積み重ねながら自身のスキルを磨いていける環境が整っています。また、自分の努力が国の未来に直結するという責任感を持ちながら働ける点に大きな魅力を感じています。防衛力強化が重要性を増す中で、私は防衛省での経験を通じて自分を成長させつつ、日本の安全と平和に貢献していきたいです。これからの防衛省の一員として、常に新しい知識を学び続け、国民の信頼に応える仕事をしていきたいです。

受験生に対するメッセージ

公務員試験を受ける皆さん、まずはここまで努力を続けてきた自分を誇りに思ってください。試験勉強は長期間にわたる大変な道のりですが、その過程で得た知識や忍耐力は、きっと試験のその先で役立つ財産になります。試験直前は、不安やプレッシャーを感じることも多いかもしれません。しかし、これまで積み重ねてきた努力を信じて、自分のペースで最後までやり抜いてください。焦りすぎず、過去問を繰り返し解き、自分の得意分野をさらに伸ばす戦略も大切です。また、当日は体調管理が最優先です。しっかりと睡眠をとり、万全の状態ですべてに臨みましょう。自分を信じてベストを尽くせば、必ず道は開けます。未来の目標に向かって、あと少し頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

明らかにこの教材は合格を後押ししてくれた

土田 和輝さん

内定先：国税専門官（福岡国税局）

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私は公務員というよりは国税専門官という仕事に強く惹かれました。税金に興味もありましたし、ドラマでよく見かける脱税調査、差し押さえといった刑事染みたことにも恥ずかしながら憧れのようなものもありました。多分現実の仕事とギャップは多々あると思いますが、今まで漠然と何の仕事がしたいか、と悩み続けた中でふと目にした国税専門官という仕事は「楽しそうで続けられそう＋スペシャリスト（税金）＋安定・給料」という自分の中の指標を満たしてくれる天職のように思えました。これがきっかけになります。特に税金というのは生活の中で切り離せないもののなのに、複雑な仕組みをしていて学校では殆ど教えてくれないものです。そのスペシャリストというのはとても価値があるものだと思います。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートを選んだ理由としてまず第一に価格が安かったことです。価格は他の予備校の受講料より安いのに関わらず教材・諸サポートを見ると全く他の予備校の教材に引けをとりませんし、合格出来た今振り返っても合格に必要な勉強量・範囲を網羅してくれていると感じます。第二にオンラインで完結出来るという点です。毎日予備校に通い、一定時間の講義を受けて拘束されると言うのは自分に合わないと思いました。その点好きな時間に受けて、時にはベッドで好きな体勢で受講出来るオンライン教材は快適でした。そして国税専門官試験を受ける自分にとって鬼門になると予想していた数的処理の教材が充実していたこともアガルートを選ぶ理由の一つになりました。些か分厚過ぎると人によっては感じるかもしれませんが、特にこのテキストの完成度はかなりのものだと思います。

学習の方針と進め方

自分はまず直前期に暗記ものを持ってくるようにしました（時事や経営学・民法など）これは正直鉄板だと思います。試験の半年前に時事を詰め込んでもその記憶の維持に労力が割かれるからです。それよりはむしろ数的や英語など長期的に勉強する必要があるものを先行して、次に経済（経済学部です、すみません）などインプットし次に演習をして知識を補強する（中期的）科目を次点にするべきだと思います。とはいえ皆さんがこれまで経験して来た高校・大学受験の時の勉強法が一番慣れていると思うのであくまでこれは一例とさせていただきます。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

自分の人生の中でこれまで最も失敗した事は大学受験です。第1志望の大学が共通テストより2次試験の比重が高かったため、1次の共通テストを疎かにしてしまいました。結果的に共通テストの国語の問題1問分の点数で落ちてしまいました。落ちた原因を分析したところ、2次試験の点数がかなり実力の上限まで取れたのに落ちたのは1次試験の軽視という受験戦略のミスでした。そのミスを修正して結果的に浪人で合格出来たので、受験の戦略というものを大事にしなければならないと強く思いました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策についてですが、自分は英語国語については大学受験の時の下積みが微かにあったので、数的処理に比重を置きました。テキストが分厚いので、全部の講義を聞くのではなく、問題を解き分からなかったり、理解できない別解の方法を身に付けたいと聞き聞くと良いと思いました。

②専門試験は、必修の会計・民法Ⅰ・Ⅱと選択で経営・経済・英語・商業英語にしました。まず民法は正直全く触れたこともなかったし、全部理解して暗記する気に全くなら（れ）なかったのも、ヤマを張りました。少し調べると分かるのですが、民法は膨大な範囲の割に出るテーマがある程度絞られています。試験1ヶ月前に一通り覚えて、残り1ヶ月で毎日高速周回しました。民法の問題集がその高速周回のアウトプットに最適でした。教科書を毎日音読するよりは、こちらがお勧めできます。経済学・会計学は、テキストで十分です、読んで理解出来なかったら講義を聞く、これで9割は固いです。しかし満点を取りたいとなると、本当に細かいところを沢山やらないといけないのでコスパが良くないです。その時間を数的や記述に回した方が良いと思います。ちなみに会計学が理解出来ないってなったら簿記3級をやるべきです。遠回りのように見えて1番の近道になってます。最後に経営学についてです。経営学はテキストは薄くて3日で終わることも可能です。勿論記憶のメンテナンスは必要ですが、直前でサブ科目として準備する事ができる程です。このテキストを覚えてたら7割は固いです。経営学というのは本当にやればやる程キリがありません。満点を取ろうとすると必修レベルの労力が必要と思っているのである程度の妥協が必要で、このテキストは効率的な取捨選択をしてくれています。

③面接についてですが、国税専門官試験の面接についてお話しします。面接カードをまず仕上げるべきです。面接はこのカードに沿って行われるのでカード上に書いた事はどんな突っ込みをされても返せるようにシミュレーションした方が良いです。そして想定質問・鉄板質問も返せるようにしたら、後は面接官との会話のキャッチボールです。笑顔でハキハキと話せば大丈夫です。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

自分はバイトやサークルなどと並行していました。ですのでやる時とやらない時をはっきりして、メリハリつけて勉強することを心掛けました。大体10時から大学の図書館に行き16時まで密度濃くやっていました。学習時間の確保ですが、自分は3年生までに単位を殆ど取り切っていたことが功を奏し4年生から公務員試験の勉強に集中できた事が大きかったです。もし1～3年生の方が見ていらっしゃったらなるべく単位を取って置くことがおすすめです。正直試験勉強中に他の勉強をすることは邪魔でしかないので、ずっと早くから暗記科目を勉強するよりは単位をたくさん取ることに集中することも一考の余地ありです（どうせ暗記科目は忘れるので）。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前1ヶ月は、バイトも結構お休みして朝9時から21時くらいまでやっていました。この頃は暗記科目の時期です。まず民法を高速周回してました。自分は民法Ⅰ・Ⅱの問題集の約2割分の内容を捨てていたのですが、残り8割の量を3日で1周していました。経営・会計・時事も同様で高速周回して何とか短期記憶として定着させることに意識をおいていました。数的などはこの頃には全くやっていませんでした。経済学は唯一長期記憶の定着に成功していたようだったのでちょこちょこやりました。

試験期間中の過ごし方

自分は1時間勉強したら20分くらい休憩を取るように意識していました。ただのスマホ中毒なのですが、それはさておき休憩はかなり大事だと思います。数的とかは解く時多少楽しいのでまだしも、直前期に暗記科目を無理矢理詰め込める時は、休憩しないと精神がおかしくなってしまうので、効率的にやるなら休憩を取ることをおすすめします。また朝食も大事です。普段朝食を取らないので、勉強を開始して間もない頃は朝食を取らずに勉強していたのですが、ふと朝食を食べて勉強すると明らかに効率が変わるようになりました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①数的英語国語は大体予想していた感触でしたが、初登場の時事が思ったより難しかった印象を受けました。結構広い範囲をしたと思っていたのですが、満点を取るならかなりの労力が必要だと思います。②英語・商業英語は割愛します。民法以外はかなり力入れたので満足行く結果になりました。2割捨てていた民法ですが、確か4/6だったと思います。妥当なラインだったので手応えはありました。また実は商法というのも国税専門官試

験にはあって必修として2問出題されます。テキストが薄かったので一応やりました。本番では1/2だったのですが、全体を通して教養・専門試験はテキスト・問題集をきちんとすれば十分合格可能な学力に仕上げてくれます。勿論量が多いのでテキストの内容を取捨選択する機会はあると思いますが、アガルートの教材に全てを賭けても良いと思えるものでした。

合格・内定した時の気持ち

自分は国税専門官に合格出来なかったら就職浪人するつもりだったので、民間は勿論公務員試験も国税専門官試験以外は1つも受験していませんでした。退路が無いので、正直合格が判明するまではかなり不安でした。ですが、正直かなり勉強をした自負はありましたし、アガルートの教材がそれを手助けしてくれました。受験が終わった時は手応え的に合格には達していると思えるほどにこの教材は素晴らしいものでした。改めてアガルートを選択して良かったと思います。

振り返ってみて合格の決め手

アガルートの教材です。試験科目の内、教養試験や学部で勉強する経済・会計などはともかく民法などの科目はこれまでの人生で全く触れて来なかったです。条文の暗記に全く気が乗らず最初はYouTubeで民法の動画を軽く見ましたが、どうも公務員試験で求められている知識と乖離していたり、試験問題の解き方にも活かせなかったりするように感じて困っていました。そこで公務員試験の為にオンラインの予備校に申し込もうとしていた所アガルートを知り、サンプル教材などを見た中で、これほど効率的に合格に必要な知識を網羅していることに驚きました。民法に限らずこれは他の科目も同様で、明らかにこの教材は自分の合格を後押ししてくれました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

国税専門官という仕事は、主に3つです。脱税を見つけること（会計帳簿を照らし合わせたり時には客として張り込み）。次に脱税者が納税してくれない時にその人の資産を法律の下差し押さえること（テレビで見た事があるかもしれませんが差し押さえを嫌がるから、庭にダイヤを隠したり色々します）。そして、税金について分からない人が多い為色々説明したりなど納税相談を受けることです。この仕事は国家の根幹を成す税金を集めるだけで無く、納税者間で不公平が生まれないように努めます。何故なら他の人が納めて無かったら自分も納めないと思うのは自然な事だからです。そしてそうなると警察や病院と言ったサービスや、生活保護などが行き届かなくなり沢山の人が困ります。それを防ぐ為に国税専門官という仕事があり、自分もその大役のほんの一助にでもなれたらと思っています。

受験生に対するメッセージ

自分が先程述べた国税専門官に対する思いと同じように、受験生の皆さんも各々の志望する仕事に対して思いを持っていることでしょう。それは自分が生まれ育った地域に何か恩返しをしたいというものや、社会全体のために自分も何かしたいというものなど人に

よって様々なものだと思います。そしてその為に必死に日々の勉強、日々の生活をしていると思います。その中でも勉強は確かに苦しいことです。これから公務員試験に向けて色々挫折したりするかもしれません。ですがこのアガルートという予備校は真摯にサポートしてくださいまし、この教材・講義は合格に必要な能力を養ってくれます。是非ともこのアガルートを選び、必死に勉強して合格を勝ち取っていただきたいです。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今までありがとうございました。お世話になりました。

令和6年度 公務員試験合格

同じ教材を繰り返し解いたことが高順位合格の鍵

森田 兼至さん

内定先：裁判所職員一般職（京都地方裁判所）

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型スタンダード対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が公務員を目指すことにしたきっかけは、相手の財力や地位に関係なくサービスを提供する仕事をしたいと考えたことです。

私自身がサークルで広報活動をしていた際に、活動資金がなくあまり十分な広報ができていなかった時に市役所の方々が協力してくださり、この市のためになるならと広報活動を手伝っていただきました。その経験から、公務員というのはお金ではなく、自分の属する組織や市のために、全力で働く職業であるのだと改めて認識しました。

また、国民の収めた税金から給料を頂くことで、非常に強い責任感を持って働く必要があります。私も広報長として、責任感の求められる役割を担ってきたことから、公務員としても強い責任感を持ち日々、国のために何をするができるのかを考えて働きたいと思い、公務員を目指しました。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートを選んだ理由は、特にオンラインでの講義等のサービスが充実していたからです。他の予備校と比較しても、オンライン専門予備校ということで、非常に使いやすいサービスとなっていました。私は、予備校に通うのではなく、自分の好きなタイミングで好きな講義を受けたいと考えていたので、その点がアガルートとマッチし選択しました。

また、アガルートでは、模擬面接や面接カードの添削が何回でも追加料金不要でしていただくことができ、予約も取りやすいと言われていたことも決めての一つとなりました。私は特に、筆記より面接の自信がなかったので、模擬面接は力を入れて取り組みたいと考えていましたので、その点からもアガルートの模擬面接はとても良いサービスでした。

学習の方針と進め方

2年生の3月から始めて、翌年1月頃には、筆記試験の対策はある程度完成することを目指して、学習に取り組んでいきました。

テキストはアガルートをメインに教材を何度も繰り返し、使用し問題を解き続けました。

初めは、数的推理の学習を進め、その後、判断推理や経済系科目の学習を重点的に進めていきました。

学習を開始してから、半年はだいたい1日に2～3時間学習をしていました。

数的処理は毎日必ず問題を解くようにして、どのような問題にも対応できるように力を入れて学習をしました。

残りの科目は、苦手な科目を中心に進めました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

ミクロ経済やマクロ経済の学習が思うように進まず、アガルートの教材の問題も解説を見なければ解けないような日々が続きました。元々、法学部であり、数字が苦手だったので特に時間をかける必要があって焦る期間がありました。これを乗り越えるために、私は講義を何度も繰り返し、視聴し、教材にメモを取るなど自分が理解しやすいようにまとめることに努めました。それを理解できるようになるまで粘り強く取り組み、ある程度理解出来たら、すぐに問題を解くようにしていました。そうすることで、経済科目が弱点ではなくなることができました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

まずは、テキストの問題を進めていき、わからない問題があった時に、講義を見て理解を深めるようにしていました。

ただ答えがあっていればよしとするのではなく、答えに至るまでの計算や導き方には丁寧に学習しておりました。数的処理も文章理解も解答スピードが求められるかもくであるため、より速く、より簡単に解くことができるように復習をしていました。

講義では、図や絵を用いてイメージしやすいように解説して下さる点が非常に良かったです。

②専門試験対策

法律科目にはもともと自信があったので、講義を素早く見て、問題集に取り組みました。経済科目では、苦手であったため繰り返し講義を見て理解を深めました。

良かった点として、必要な内容をコンパクトに学習できた点があります。専門科目は特に深掘りをする内容が無限に広がるため、過不足なく学ぶことができたのはアガルートの良かったところです。

③人物試験対策

人物試験対策は、まったく知識のない中で、1から丁寧に解説していただき、動画をも

とに、面接等に向けた土台をしっかりと作ることができて良かったです。

それから、講義に沿ってノートを作成し、自分の長所や短所など自己理解に努めました。面接体験記などを参考に質問に対する自分なりの回答を考えました。

また模擬面接も、3人の講師から、様々な角度で質問していただき幅広い対策をすることができて良い練習になりました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

大学3年生の時に学習しており、授業もあったため、平日の勉強時間はだいたい2～3時間程度でした。休日は6時間程度勉強をするようにしておりました。

ただ、私は、一日中勉強に没頭するのではなく、テレビを見たりするなど、息抜きやリフレッシュの時間を必ず設けるようにしておりました。

通信講座の良い点として、ちょっとした時間にも勉強することができ、通学中や、寝る前の少しの時間見返すなど、非常に勉強しやすかったです。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期は、毎日8時間ほど勉強するようにして、以前解けなかった問題を解けるようにすることに力を入れていました。私は、特に記述試験の対策に力を入れました。試験があるとしても、特に毎日の過ごし方を変えることなく、あくまで日々の延長に試験があると考え、模擬試験を思い、緊張しないように努めておりました。また、1日の内、1時間程度、試験や公務員の対策のことを全く考えない自由な時間を作るようにして意識の切り替えをするようにしておりました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中の過ごし方は、とても緊張しながら生活していました。不合格だったらどうすればいいのかと考える日もありましたが、とにかく手と頭を休めないようにしておりました。

勉強が手につかないときは、自己分析や面接カードの構想を練るなどして、気持ちを整えておりました。

さらに筆記試験が終われば、すぐに面接試験があるため模擬面接を何度も予約して行いました。初めはうまくできなかったのですが、徐々に成長していくに連れ自信も生まれ緊張が収まりました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

教養試験は、試験内容が改正されて初の年であり、時事問題が非常に難しかったように感じました。あまり対策できていなかったので少し後悔しました。教養試験は、全体を通して時間がなく、解けなくても次に進むということが非常に重要なポイントでした。私は、難問にこだわってしまい、最後の方を少し雑に解くことになってしまい、試験後は不安でした。

②専門試験を受験した時の手ごたえ

教養試験と異なり、試験時間はどの試験種も長かったため落ち着いて解き進めることができました。問題自体は消去法で解くことが多く、あまり自信を持って解答することができませんでした。専門試験では、難易度にばらつきがあり、科目を選択できるので、より多くの選択肢を持っていることが重要だと感じました。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

基本的に面接カードの内容に沿って質問されることが多く、淡々としていました。面接対策はしっかり行っていたため、とくに詰まることなく回答することはできました。しかし、その分、高評価は期待できないのではないかと思います、最終合格の発表まで不安な気持ちで待つことになりました。

合格・内定した時の気持ち

1次試験を合格した時は、まだ先があるので気を抜くことはできませんでした。

しかし、最終合格が確定した時は、これまでの努力が報われたと感じ、非常に嬉しい気持ちでした。さらに高順位で合格できたため、細かいところにもこだわって勉強してきてよかったと思いました。

また、長い期間支えてくれた両親も喜んでくれてとても感謝しました。

そして、アガルートの講師の方々、模擬面接で何度も助けてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

振り返ってみて合格の決め手

私自身、振り返ってみて合格の決め手は粘り強く勉強していたことだと思います。アガルートの同じ教材を10回も繰り返して解くことで力をつけることができましたので、すぐに新しい教材に手を出すのではなく、ひたすら完璧に近づくまで同じもので学習したことが合格に近づくことができた鍵であると考えております。

面接においても同様で、模擬面接で上手いかななくても、しっかり反省して、フィードバック頂いた改善点を見直し、再度挑戦することで成長することができました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私は、裁判所で働く職員として、公正な裁判所の運営を支える役割を担っていきたくと考えております。具体的には、裁判官の補佐や裁判手続きの迅速な準備に取り組みたいです。そのためにも、裁判所事務官として経験を積んでいくことに加えて、早期に裁判所書記官になるために、日々学習を欠かさないようにして、試験に合格できるようにしたいです。書記官になれた際には、裁判官に意見を求められることもあるので、適切に返答できるように、知識をつけていきたいと思います。

また、来庁者に対しても丁寧接することを心掛けて、裁判に詳しくない裁判員の方々にも、良い経験となってもらえるように分かりやすい説明をするように心がけて、毎日の業務に取り組みます。

受験生に対するメッセージ

公務員試験は、長い期間の勉強や面接対策をしなければならないため、とても強い精神力が求められます。

学生は授業があり、社会人は仕事と上手く両立しなければならず、公務員対策だけに集中できないのが現実です。

その中でも、同じ公務員志望者を見つけ、困難と一緒に乗り越えていことで成長できるものだと思います。

私も時々、友達と会話をしてリラックスしておりました。

公務員試験は、平等であり、簡単に受かるものではありません。だからこそ、合格できた時には、何物にも代えがたい喜びがありますし、つらい時こそ、合格した後の自分の姿をイメージすることで、再び対策に進むことができました。

長い期間の試験対策になるため、勉強等を詰めすぎるのではなく、息抜きもしっかり取るようにして、無理なく進めていきましょう。

公務員として働く自分を思い描きながら頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

①民間企業向けの就職活動はしましたか？

はい

②どのような業種・職種を志望されていましたか？

金融業界の中でも地方銀行を志望しておりました。

③公務員試験の対策と並行していくにあたって工夫したことや大変だったこと等ございましたら、ぜひお聞かせください。

民間の業務説明会やインターンに参加すると、試験勉強の時間が満足にとることができず大変でした。私の場合は、割り切って民間の日と公務員対策の日を区別して取り組んで切り替えていました。

令和6年度 公務員試験合格

模擬面接では無意識の癖も直すことができた

山崎 有未加さん

内定先：裁判所 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

法律を扱う仕事で自身の知識を吸収しながら、その知識やスキルを社会に対して還元できる存在になりたいと考えて公務員を目指しました。大学で法律を学び、将来はその学んだことを活かしながら働きたいと考えようになりました。また、公務員のお仕事は民間とは異なり、企業の利潤を優先して行動するのではなく、社会全体の利益や生活を守る中立的な立場で業務をすることができると思います。大学の友人の家族が裁判所の職員としてお仕事をしており、その方から裁判所職員の具体的な業務の内容や将来は裁判所書記官として裁判を専門的に支えることができることを教えていただき、公務員の中でも特に裁判所事務官になりたいと思うようになりました。

アガルートをお選びいただいた理由

テレビの広告でよく見かけていたことや友人がアガルートで試験勉強を行っていたため、自分も公務員試験の勉強の際には受講したいと考えていました。体験サンプルを申し込んだ際にテキストの見やすさや講義が公務員試験の合格までに必要な知識を簡潔にまとめて教えてくれるため、とてもわかりやすく学ぶことができると考えてアガルートにお世話になりたいと思いました。全てオンラインで受講することができて何回も分からない点を聞き直せることや、倍速で通学時間にラジオのように聞くことができることに魅力を感じました。民間の就職活動と公務員試験を並行して行っていたため、限られた時間で試験に本当に必要な知識を効率的に学ぶことができたと思います。

学習の方針と進め方

まずは数的処理の苦手意識を克服するために毎日とにかく練習問題に触れるように意識をしていました。その他の教養科目は焦りながら直前に頻出分野を中心に知識を詰めていたため、もう少し早めに手を付けるべきだったなと思います。憲法や民法などの法律科目は大学で学んでいた部分と重なるため、講義を早めに受け終えて問題演習を中心に解くようにしました。ミクロ経済、マクロ経済は一周テキストをやるだけでは中々理解することが難しく、何回も講義を聴きながら解き方を覚えるように進めていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

勉強し始めは数的処理が全く解けず、本当に試験までに自力で解けるようになるかとても不安でした。答えを見ないまま自力で進めようとすると思いがけないまま机に向かい続ける状況となってしまう、苦手意識を強めるだけでなく非効率的な勉強方法をとってしまっていました。一問あたり5分～10分考えて、分からなければすぐに答えと講義動画を見返すようにすることで理解しやすく進めやすくなったと思います。一回一回動画を見返すのは少し大変でしたが、講師の方が解き方の過程を丁寧に教えてくださったため、とてもわかりやすかったです。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

教養試験では特に数的処理の問題を解く度に講義動画で確認をして対策を行っていました。受講当初は数的処理がとても苦手で、自力で本当に解き終わることができるのか不安でしたが、解き方のコツを問題毎に教えてくださり問題に慣れることができました。ホワイトボードで途中式だけでなく図解もしてくださったため、複雑な問題にもひとつひとつ手順を踏んで解ききることができるようになりました。文章理解はテキストに載っている問題を解き、間違えた所は解説を読んで確認するようにしていました。そして自然科学や時事の分野はテキストに要点が簡潔にまとめてあるため、直前期に電車や移動中にも使いやすく、頻出分野が一目でわかって覚えやすかったです。

専門試験では憲法、民法などの法律科目の講義が理解しやすく、条文の暗記ではなく経緯や過程を共に教えてくださったため、基礎を早期に定着させて問題演習に繋げやすかったです。特に法律科目は大学の講義で習った範囲もあったため、アガルートの講義を一周してからすぐに過去問を解き始めました。過去問の問題毎に重要度がランクでわかりやすく示されているため、直前期は最頻出問題を優先して解くようにすることができました。ミクロ経済、マクロ経済は慣れない専門用語について毎回馴染みのある言葉に言い換えてくださり、ラジオ感覚で聴いている時とてもわかりやすかったです。問題演習の時に途中式や公式の載っている部分を教えてくださったため、自分で見返して確認しながら解くことができました。

人物試験では裁判所事務官の二次試験の前に模擬面接を利用し、相手に上手く伝えられる言葉の表現をしているかどうか確認できたと同時に、身振りや話し方などの癖も教えて

くださり、自分の無意識だった点も直すことができてとても良かったです。裁判所の面接では、面接カードに書いた内容をテーマ毎に深掘りされる傾向があり、自分の考えていなかった質問が来たときの対応力を付けることができたと思います。また、面接直前に公務員面接再現レポートを見返して、実際に面接で訊かれたことや入出時から退出までの流れを知ることができました。レポートに書かれたことと同じ内容の質問が来た際に自分はどう答えるか事前に準備することができたと同時に面接室の実際の様子のイメージを掴むことができました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

部活動や民間の就職活動を行っていたため、大学の空いた時間や通学中などの隙間時間を活用して法律科目や暗記中心の科目の勉強をしていました。問題を解くだけでなく、講義を聴いて耳で学習することでより定着させやすかったと思います。苦手意識をもっていった数的処理や経済学は朝早くに取りかかるようにして、分野を決めて毎日数問ずつ解くようにしていました。教養科目は本番で時間が足りずに解ききれない人がいることをよく講義で教えていただいていたため、毎回時間を計って取り組むように意識していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

問題演習を中心に行い、間違えたことがある問題だけ選んで知識の穴埋めを行っていました。また、ホームページに載っている過去問は時間を計りながら解いてみて、本番でどのくらい点数がとれるか確認をしていました。憲法の専門記述試験では足切りがあるため、テキストで何回もポイントを確認してテーマごとに自分が記述する内容をまとめておきました。試験直前の休み時間や空いた時間に見返すことができたため、復習をしつつ自分の勉強してきた自信をつけることができて良かったと思います。

試験期間中の過ごし方

筆記試験が終わった当日はあまり自信がなく、自己採点をせずにそのままにしてしまいました。1次試験の合否結果を知ってから面接カードの作成に取りかかり、面接カードの提出締め切りが短いため、添削をお願いする余裕を作れずに慌ただしく準備をしていました。面接の練習は模擬面接をお願いし、自分で話したい内容を上手く伝えられているか確認を行いました。2次試験の直前には友達と一緒に面接の練習を行い、身振りや姿勢など言葉以外に直すべき所をアドバイスし合って過ごしました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

教養試験では手応えが全く無く、とても心配でした。得点源にしていた文章理解で躓いてしまい、足切りにならないか不安でいっぱいでした。試験が終わってから問題を見返した際に、時間をかければ確実に解くことができる数的処理の問題があり、まずは全体の問題を見てから解き始めた方が良かったと後悔しました。時事の分野では初めて聞くような内容も出ましたが、一題ずつ消去法で選択肢を絞っていくことで正答率を上げることができました。わからない問題は得意分野であっても後回しにして、数的処理に時間を使うべ

きだったと思いました。

専門試験では今まで自分が勉強してきた成果を出せることができたと感じました。憲法は過去問を見返して直前に勉強したところが出題されて安心して解答することができましたが、経済学では自分が解いた経験の無い問題が出題され、点数を落としてしまった感覚がありました。私は刑法の勉強が間に合わず経済学を選択しましたが、しっかり刑法の講義を受講した上で刑法と経済学両方目を通した上で選択すれば良かったかなと少し後悔しました。

人物試験は準備してきた質問から多く訊かれたため、答えきることができたと感じました。面接の最初はとても緊張してしまい、上手く伝えられなかった点もありましたが、面接官の方がとても優しく対応してくださったため自分らしく落ち着いて受けることができたと思います。模擬面接で訊かれたことを実際の面接で質問された部分があったため、自信を持って答えることができて良かったです。公務員面接再現レポートを面接直前に確認し、面接室の広さや面接時間を知ることができたため、緊張をほぐしながら自分の入室から退室までの流れをイメージして待機することができました。

合格・内定した時の気持ち

内定の連絡をもらった際は自分でも驚いてしまい、本当に内定をいただけたのか信じられないような気持ちでした。連絡をいただいてすぐに家族に報告し、自分のことのように喜んでくれた姿を見て、今までの試験勉強や就職活動がついに終わったのだと実感が湧きました。数的処理や経済学の苦手意識が克服できず何度も諦めたくりましたが、支えてくれた家族や友達、定期カウンセリングを行ってくださった講師の方に感謝の気持ちで一杯でした。

振り返ってみて合格の決め手

私は筆記試験があまり取れていなかったため、おそらく人物試験の結果が合格に大きく関わっているのかなと考えています。民間企業の面接を何回か受けてはいましたが、裁判所特有の深掘り質問には慣れておらず、アガルートの模擬面接で沢山練習させていただきました。面接中の発言だけでなく、身振りや言葉の癖など自分の気付いていなかった部分に対して的確にアドバイスしてくださり、本番の面接中にも意識して受け答えすることができたと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

裁判所事務官として国民が安心して裁判に臨むことができる環境作りに携わっていきたいと考えています。裁判は国民にとって問題解決の最終手段であり、当事者の人生が変わるような大きな責任が伴うものであると思います。また、裁判手続きのデジタル化や迅速化が進んでいるため、慣れない手続きに戸惑う方や裁判に向けて不安を抱えている方が多く居ます。当事者の方の疑問点や不安に思う点を汲み取り、訴訟手続きの説明を丁寧に行うことや、裁判資料の適切な保管や管理を通じて裁判官が審理に集中できる環境を作るこ

とで縁の下の力持ちとして活躍していきたいです。また、就職してからも勉学に励み、将来は裁判所書記官としてより専門的な分野にも対応しながら裁判官をサポートできる存在になりたいと考えています。

受験生に対するメッセージ

受験生の皆さんは試験勉強や就職活動でとても忙しい時期かと思います。公務員試験は試験科目も多く、内定をもらえるまで時間がかかるため体力的にも精神的にも大変になることもあるかもしれません。しかし、合格した際にやりたいことや達成したいことを考えながらコツコツと勉強を進めていくことが公務員試験合格のために大切なことだと思います。私も勉強しても不安な時は周りの友達やアガルートの定期カウンセリングの先生からの励ましに沢山支えられました。辛いときは無理をせずに休息を取ったり、周囲の人に話して気分転換をしたりして追い込みすぎないように気をつけてください。公務員試験合格に向けて頑張ってください！陰ながら応援しています！！

民間企業向けの就職活動について

①民間企業向けの就職活動はしましたか？

はい

②どのような業種・職種を志望されていましたか？

法律事務所や企業の法務部を中心に志望しておりました。

③公務員試験の対策と並行していくにあたって工夫したことや大変だったこと等ございましたら、ぜひお聞かせください。

説明会に沢山出席して、自分の受けたい企業を絞って民間の就職活動を行っていました。また、早期選考のある企業を中心に受けるようにしていました。

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

講師の方のおかげで第一志望から内定をいただくことができました。今まで支えてくださり本当にありがとうございました！

令和6年度 公務員試験合格

「むずかしすぎる」から「意外といけるやん」へ

日和 快晴さん

内定先：広島国税局 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

最初は民間企業でいきたい業種がなかったため、漠然と公務員を目指そうと思っていた。その中で確定申告のアルバイトに参加してそこで職員の方に話を聞くうちに国税専門官という職業に興味を持ちました。それに私は会計を専門に大学で勉強していたためそのことが国税専門官としてもいかせると思ったのと正義感が必要な仕事なので自分の性格上向いていると思ったのも大きなきっかけになりました。国税専門官に限らず公務員は対価を払った特定の人だけでなく、国民全体の役に立つことができるため子供の頃からの多くの人のために働きたいという夢を叶えるためにも公務員の中でも国家公務員を目指しました。それらの自分自身の目的に加えて、両親などからも公務員の魅力をよく聞いていて公務員になることを応援してくれていたことも大きな要因となりました。

アガルートをお選びいただいた理由

私がしている部活動は大学四年の秋に引退するので、部活動に参加しながらも両立して勉強できるオンデマンドの教材を最初は探していました。自分で公務員の費用も工面しようと考えていたなかで、アガルートは分割払いの制度がありそれならアルバイトしながらコツコツ支払いができると思ったことが決め手になりました。それに合格すると講座料の返金サービスもあり、合格までの大きなモチベーションになると思ったことも大きなきっかけとなりました。ホームページの合格体験記を見た時に、アガルート受講者はなにかと両立しながら効率よく勉強できているという印象をうけ、それなら部活とアルバイトと公務員試験の勉強の三つの両立もできそうだと思います。

学習の方針と進め方

勉強を始めたのが3年の11月というのもあり早く専門科目を終わらそうと最初に思いました。そのため憲法行政法ミクロをとりあえず一周終わらせ、そこから民法マクロに加えてこれまでしたことの復習をしました。3ヶ月ほどでそこまでを終え、そこから一周した科目の問題集と経営学・財政学・会計学を同時に行いました。春休みは部活とアルバイトは控えめにして1日10時間は勉強しました。4月から教養科目を気分転換ではさみ、毎日いろんな科目を両立して行いました。最初の試験は国税専門官だったため、4月からの2ヶ月ほどは復習に時間をかけそれに加え会計学の専門記述の暗記も行いました。アガルートの教材のみをつかっていたため国税専門官試験前には一応テキストはだいたい頭に入っている状態でした。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

3年の11月から4年の4月まで専門科目のみに力を入れて勉強していたため教養科目の特に数的処理、判断推理にはかなり苦勞しました。苦勞したというかほとんど解けない状態でした。間に合わないと感じたため、国税専門官に頻出の分野をピックアップしてそのみをテキストで猛演習し、頻出分野はだいたいおさえることができました。たくさん問題を解きまくるというやり方もいいと思いますが、私はアガルートのテキストのみ使っていたためアガルートのわからない数的処理や判断推理の問題にはかなり時間をかけて理解して似たような問題が出た時にきちんと対応できるようにしました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①テキストはコンパクトにまとまっていて、効率よく勉強することができました。一つの分野でも要点をしっかり押さえた問題が揃っていてアガルートのテキストをきちんと理解するだけで過去問等の問題も十分対応することができました。

②ものすごくお世話になりました。特に憲法民法行政法は初学でしたが、映像とテキストでの学習を進めるうちにとても楽しくなりポジティブな気持ちで学習をすることができました。その三つの科目は小さなもので、持ち運びもすぐにでき、いろんな場所に持ち運んで空き時間に勉強していました。

③模擬面接の作法の動画はとても参考になりました。それに面接カードの添削もしてくださり、面接の対策も十分に行うことができました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

三年11月から二月までは基本部活とアルバイトとその隙間時間で公務員の勉強を行いました。2月からはアルバイトと部活はセーブして、勉強するための時間を大きく確保しました。朝10時から夜中の2時までだいたい勉強していました。自分は好きな科目（ミクロ、マクロ）から勉強を始めそこからあまり気が進まない科目をやるというルーティンを組んでいました。夜の12時までにはきちんと時間割を組んで勉強して12時2時までは専門記述の

暗記や財政学の数値の暗記など頭を使わずひたすら暗記するような科目に時間をとりました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

かなりストレスと焦りで何度やっても覚えられない、わからないところはだいたい理解するのみで、一度理解していたところの総復習を行いました。この分野ならなにを出されても大丈夫っていう状態を何個も作り自信をもって試験に挑めるようにしました。会計学の専門記述がとても不安で会計学のテキストも勉強する際も出そうなところも何度も何度も確認して最善を尽くしました。憲法・会計学・経営学・ミクロマクロは満点を狙っていて、自信を持って解ける科目が5つあったので他のところで足を引っ張らないようテキストで苦手科目も何度も何度も確認しました。

試験期間中の過ごし方

国税専門官の試験終わった後、完全に燃え尽きてしまい国家一般までの一週間は気分転換をしたり一日ゴロゴロしていたりしました。さすがに国家一般の2日前ごろからは得意科目から勉強をはじめ、勉強に対する気分を一度高めてから苦手科目も復習をするという形をとりました。公務員試験の勉強を始めてからこの一週間で1番強いストレスを感じて不安でいっぱいでした。しかし国税専門官の試験までにもすごく勉強をしてきたという自信があったので、国家一般の試験の当日は自分の力を精いっぱいだせば大丈夫と前向きな気持ちで挑むことができました。苦手な法律科目もアガルトのコンパクトにまとまったテキストのおかげで1科目を数時間もあれば復習できるため前日の総復習はとても効果よくできました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験はあまり力を入れて勉強していなかったので、とりあえず足切りは超えてくれという思いで挑みました。文章理解と判断推理と資料解釈はそれなりに自信があったのでそこで本番当日もできたという実感がありました。

②専門科目はものすごく時間をかけてやってきたので問題を見るまでは本当に緊張感でいっぱいでした。国税専門官の会計学はとても力を入れて取り組んできたため、まずそこを解いて「よし、いけるぞ」と強い自信を持って他の科目に挑めました。国家一般の方は近畿区分でうけたため高得点が必要で、自分には無理だろうとネガティブな気持ちを持っていたのですが、得意分野のミクロマクロが全問題解けてそこからものすごく自信が湧いてきて、楽しみながら最後までやり切ることができました。

③面接対策は十分とは言えませんが得意だと自覚していたため楽しむつもりで行いました。実際全てに自分なりにうまく答えられたと思ったため、面接後は満足して終わることができました。

合格・内定した時の気持ち

まさか国税専門官と国家一般の両方受かっているとは思っていなくて心の底から嬉し

かったです。最終合格日に国家一般の造幣局さんからは内定をいただいたため、いったん公務員試験は終われると思うものすごくホッとしました。最終合格の2日後に国税専門官の採用面接があり、その場で内定をいただきました。ずっと両親と祖父母にはたくさん心配をかけたのですぐに電話しました。自分はこんなにも将来のためになにか頑張るっていう経験がなかったため最後までやりきれたという部分でこれからの強い自信につながりました。部活アルバイトと公務員試験の勉強の両立をしっかりとやりきれてよかったです。

振り返ってみて合格の決め手

圧倒的に得意という科目を作れたことです。私は会計学・ミクロマクロは基本なんでも答えられるというレベルまで勉強してきました。国家一般ではみんなミクロマクロは難しすぎたと試験終わりに言っていたのですが、私は全問きちんと解けたと思い実際にミクロマクロの10問とも正解していました。周りは平均的に7割ぐらい取れるように勉強を行なっていましたが、私はそれがあまりあっていなかったので自分なりの勉強方法を見つけました。それに週4で部活動をずっと行ってきたおかげでその活力を公務員試験の勉強にも活かすことができ、一日最低10時間は3月～5月まで行うことができたのでそれも合格に近づけた大きな要因だと思います

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

国税専門官は国民の方から適正で公平な課税徴収を行うため、国民の方から嫌われやすい職業であると思います。しかし自分たちがひたむきに納税者の方と向き合うことで能動的にきちんとした申告を行ってもらうことが大切なことなんだと思います。そこから得た税金が日本のため、国民のために活用されより良い日本を築いていくことにつながるためとても誇らしい仕事だと私は思います。私は大学に入ってから簿記にはまり、ゼミも会計学を学べるところに所属しました。自分の好きな分野の仕事ができることにとても嬉しく思います。税金や会計は複雑で難しい分野であるために働きだしてもしっかりと学習を続けて納税者の方に寄り添い、頼りにされる職員になりたいと思います。

受験生に対するメッセージ

私は勉強を始めるのが人よりも遅かったのですが、本番には万全な状態で挑むことができました。通信教材は不安だなと最初は思う時もあると思います。しかし私はアガルートのおかげで効率よくかつ充実した公務員の勉強生活を過ごすことができました。特に部活動や他の活動などと両立しなければならないという人には本当にお勧めします。私は一人で勉強を始めましたが、同じような生活をする友達を誘ってお互いに協力しあいながら勉強をするとより自信を持って勉強に挑めると思います。勉強の始めは、「むずかしすぎる、意味わからん」と特に民法とか行政法の法律科目に対して思っていました。しかし結果論かもしれませんが、いざ本番を終えて思ったことは「意外といけるやん」ということです。最後までアガルートの教材を信じてひたむきに頑張れば結果は本当についてきます。来年の受験生が笑顔で公務員試験を終えられるように応援しています。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

専門科目は本当に大満足でした。数的処理、判断推理が苦手すぎる自分にとっては解説動画が全部ないのが少ししんどかったです。ただそのおかげが自分で考える時間が増えて思考力がついたのかなと思いました。

令和6年度 公務員試験合格

カウンセリングでの機があるから今の自分がいる

木元 一真さん

内定先：鹿児島地方事務局

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

大学の授業の中で、公務員の方の講義を受けたことがきっかけです。具体的には、私が専攻している数学が社会の中でどのように役立っているかというオムニバス方式の講義だったのですが、その中で印象に残っている講義が、ある地方公共団体による、大学と企業との協力事例でした。そこでは、その地方自治体を持つマッチング移住事業や、交通網の解消、大学による出前授業を紹介されており、連携する相手の規模の大きさに驚いたことを覚えています。その頃から、規模の大きい事業に携わりながら地元に貢献できる公務員を志望するようになりました。そのため、地方公務員よりかは国家公務員を志望していましたが、私は九州に住み続けたかったので、九州管内の出先機関で働きたいと思うようになりました。

アガルートをお選びいただいた理由

まず、予備校に行こうとしていましたが、私の住んでいる家が田舎だったこともあり、予備校に行くのに時間がかかってしまったり交通費がかかったりすることがネックだったので、自宅からでも受講できるオンライン予備校を探していました。その中で他の予備校と比べた結果アガルートを選んだ理由は、やはり内定特典が他の予備校よりも充実していたからです。内定が決定したらお支払い金額を全額返金するという特典は、とても魅力的で、自分自身のモチベーションを上げることができるものだと思います。この特典を見た瞬間に「アガルートで受けたい」と思ったと言っても過言ではありません。また、資料請求の時に頂いたサンプルテキストを拝見した際、抽象的な文を多くの図を用いて説明されていてとても分かりやすかったので、安心して授業に臨めると確信しました。

学習の方針と進め方

専門科目を中心にする方針を決めました。教養科目、主に数的処理に関しては、理系だったということもあり、解き方が理解できれば応用問題も解けるようになったので困ることはなかったです。なのでカウンセリングでは、専門科目を重きを置いて得点源を広げようとアドバイスを貰いました。具体的には、1月末までは、専門科目の参考書を何周もしてほぼ完璧にして、2月からは、政治学と行政学に手をつけていきました。また、教養科目に関しては、2月から現代文と英語、時事・論文対策を同時に始めましたが、取り掛かるのが遅かったという問題はなかったように思えます。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

失敗経験については、講座を購入したのに3～4ヶ月もサボってしまったことです。5月に購入したのですが、大学院での研究で忙しかったこともあり、「秋頃に始めても大丈夫でしょ」と考えてしまい手をつけずにいました。カウンセリングで「君が何もしていない間に何人もの人が君を追い抜いていくよ」と檄を入れていただき、そこから真剣に取り組み始めました。勉強は早めであればあるほど成績は良くなるので、あのお言葉がなかったら今の自分はいないと強く思います。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

教養試験対策については、問題のパターンが顕在しているので、それぞれの解き方をマスターしていけば大丈夫です。そして、マスターしていくためには数多くの類題を解かないといけないのですが、問題量も多かったのでその点は大丈夫でした。そして、その解き方の教え方がとてもわかりやすかったのですんなり頭に入っていました。自分は数学が得意なので数的処理はパターンを見つければ解けるようになっていけたので解いていても楽しかったです。

専門試験は難しかったのですがとても楽しかったです。法律や経済とは違う分野を専攻していたので勉強を始めた当初はなにを言ってるのかわからなかったのですが、全部わかりやすく教えてくださったので理解することができました。勉強方法は、とにかく問題集を何周もすることです。正直専門科目は（理解を前提とした上での）暗記が全てだと思うので、この事例はこれといった感覚を養うためには覚えるしかないと考えアガルトの問題集のみをたくさん解きました。

人物試験対策にはかなりお世話になりました。面接のオンライン授業では姿勢や話し方の大切さを失敗例と共に教えてくださり、今まで気にしていなかった部分を直すことでどれだけ印象が変わるのかを感覚で知ることが出来ました。また、週に1度のペースで面接カード作成の相談や模擬面接を受けることができ、自分について話すことが苦手な私にとって良い練習場でした。模擬面接の先生は3人おり、それぞれ1回以上受けました。優しい先生もいれば厳しい先生もあり、それぞれ視点が違うので自分の足りない部分が浮き彫りになり、かなり参考になると思います。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

大学院生時代では、研究が落ち着いている時はずっと試験勉強していて、研究がある時は研究7割試験勉強3割で勉強していました。研究で疲れている時は内容が頭に入らないのでしっかり休憩をとってから勉強しました。実家に戻ってからは何もすることはなくなったので毎日14時間勉強していました。疲れたなという時はウォーキングがてら外の空気を吸って気分転換をしていました。また、週に一回は必ず休養日を作って小旅行をしたり美味しいラーメンを食べに行ったりと、ご褒美を設けていたことで習慣化することができました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

ひたすら過去問とその復習をしていました。過去問は試験本番と同じ時間で行い、そこから時間配分や捨て問題の見極めなども意識するようにしました。復習は間違えたところをふせんに書いてそれをまとめて、自分が苦手な分野・単元を教材と共に1から勉強するという方法でやっていました。こうすると苦手な分野がノートにまとまっているので、効率的に見直しが出来ます。過去問では高頻度で合格点を獲れるようになっていたので、試験本番は焦らないこと・いつも通り解くことを意識しました。

試験期間中の過ごし方

うけたカリキュラムの中では一番試験が早かったのが財務専門官試験だったので、試験後その問題をまずは復習し、実際の公務員試験ではこんなスケジュールで、こんな問題が出るんだということを体に覚えさせました。

終わった試験を悔やんでも仕方がないのでその試験で露見した自分の弱みを手早く復習するように意識しました。

自分の場合は民法で理解できていなかったところがあったので該当箇所のテキストを再度読み込むなどをして同じような問題が出た時の対策としていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

教養試験はとても手応えはありました。数的処理や現代文、英語も今まで解いて来た過去問よりかは易化しており解きやすかったです。また、今年から試験問題の形式が変わり、自然科学、人文科学、社会科学の細かいところは聞かれず、時事問題に集中すれば良いと判断したことが功を奏しました。普段から夜のニュースを見ていたこともあり時事問題で迷うことはなかったです。

専門試験もとても手応えはありました。最後まで民法と政治学が不安だったのでこの2教科を徹底して復習したら、テキストに載ってあることが丸々出題されていたので点を取ることができました。また、カウンセリングで「直前に過去問をしておく」というアドバイスをいただいたので手をつけていたところ、ミクロ経済と行政学で同じ問題がそのまま出ていたのでこれも点を取ることができました。そして、保険として教育学にも手をつけていましたところこれも類題がかなり出題されていました。総合的には、かなり良

い点数をとることができました。

人物試験については、人物試験を受験した時の手ごたえは、実際の面接の様子はかなり淡白だったので手ごたえなどが全く感じることができませんでした。こんな感じで面接がおわりなの？という拍子抜けした気分だったのが正直な感想になります。

ただ、意地悪な質問などはほとんどなく、前情報の通り面接カードに沿った質問です。

面接カードの内容を聞いて、それに対して少し詳しく聞くような形式だったので質問の回答は詳細に答える必要もないと感じました。

合格・内定した時の気持ち

正直、ホッとしましたに尽きます。私の場合は大学卒業後の就職先ではなく、試験勉強の途中で大学院を卒業した状態で、つまり無職としての挑戦だったため、合格が分かったときは安心で脱力しました。生活している時間の大半を学習に割いてきたためそれが報われたことは純粹にうれしく思いました。内定の電話を頂いた時はこれで公務員として働く一歩が見えたんだ、よりもやっと勉強づけの日々から解放されてよかった、今まで心配していた親を安心させることができる、というのを強く思いました。また、前から応援してくれた友達に報告したときにとても喜んでくれるのを見て、この人のためにも勉強していたんだなと思うことができました。

振り返ってみて合格の決め手

振り返ると、合格の決め手は休学を選ばずしっかりと卒業してから実家に戻って勉強できたことが大きな要因として挙げられます。これによって大幅に時間を学習に割くことができたことと、退職したことによって挑戦をあきらめて普段の生活に戻るという退路を断ったことで試験に向けて本気で取り組むことができました。また、人物試験の時にも大学でのエピソードも研究内容も話すことができたので大学生活が活かされたなと思いました。

人間どうしても易しい道があったら選びたくてしまうものですから、背水の陣は効果的だと思います。また、早寝早起きを徹底したことも身体のリズムを崩さずに勉強を続けられた要因だと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

所有者不明土地問題の解消に向けて取り組んでいきたいです。そもそも法務局に興味を持ったきっかけが民法の勉強でした。日常生活に根付いている民法を勉強することはとても面白く、その中でも民法で学んだ相続、抵当権、売買などは実際に登記として扱っている法務局でしているということも知り、こういった仕事もしてみたいと思うようになりました。また、最近全国で所有者不明土地問題が話題になっており、内定先の県でもかなり多いとの話を聞きました。そのための解決策として、今まで任意だった相続登記を義務化することや、不要な土地を国に返すことができる国庫帰属制度も法務局で導入されています。自分もその制度に携わる公務員となり、国民の皆様が土地問題に悩まず安心して生活

できるような日本にしていきたいと考えています。

受験生に対するメッセージ

これから公務員試験に挑戦される方たちに対するメッセージとしては、「まずは諦めずに挑戦してみること」です。

公務員試験は科目も多く、勉強時間も長く取らなければなりません。なので勉強中に詰まって諦めたくなることもあると思います。

ですがそれに至るまでに勉強してきた内容はどこかで頭に残っています。それを捨ててしまうのはもったいないです。実際、過去問を解いてみるとあからさまに間違った選択肢などは分かりやすいので実際には2択、3択問題のような気分です。ただ一つの正答を覚えようとするのではなく、選択肢を減らして運に頼るスタイルでもよいと思います。

苦手な科目が一つあってもほかの科目で取り戻すことも可能なので、まずは諦めず続けてみてください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

学んだ会計学を活かせる国税専門官に

協本 海李さん

内定先：国税専門官 学生

受講したカリキュラム

教養 + 専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私は公務員になりたいと公務員試験を受験したわけではなく、国税専門官になりたいと考え公務員試験を受験しました。国税専門官を志したきっかけとしては、今まで会計学に力を入れて学んできたという部分が大きいです。せっかく会計学を学んだのなら、その学問を活かせる仕事に就きたいと考えました。国税専門官は税務調査を行う際に簿記や財務分析といった会計学の知識が必須となるため、会計学の知識を活かせると思いました。また、国税専門官は給料も他の公務員と比べ高いという点と、専門性を高めることもできるため将来的には税理士として働くことができるという選択肢の広さという点を総合的に考えたときに国税専門官を目指すことが自分の中でベストだと感じました。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートを選んだ理由は二つあります。一つ目は他の公務員試験予備校に比べ、授業料が安いという点です。私の家は生活には困りませんが、それほど裕福というわけではないので授業料が安いことに越したことはないと考え、アガルートを選びました。また、受講した結果的に講義もわかりやすく、通信講座ということもあり通学の必要がなく続けやすいというメリットも感じることができました。二つ目は内定特典により授業料が全額返金されるという点です。これは本当に他の予備校にはないアガルートの強みだと感じました。私もこの内定特典に惹かれてアガルートを選んだ部分が多いです。内定特典があるからと言って、講義の質が低いということもなく、むしろ直感的に理解がしやすい講義が多かったように感じます。

学習の方針と進め方

学習の方針としては、2024年の3月までに各科目の問題集を3周以上することを目的に

学習を行っていました。また、学習の進め方としては講義動画を視聴し、視聴した分野の過去問を解いていくという進め方をしていました。講義動画を視聴するのは基本的には1周目の時だけで、2周目以降はわからない問題があったときに講義動画に立ち返るという方法で学習を進めました。結果的には各科目の問題集を4～5周ほど回すことが出来たため、十分な学習量を確保することができました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

私は数的処理の学習から公務員試験対策を始めたのですが、その際自分のレベルに合っていない問題集を使用してしまったという失敗経験があります。その問題集で一か月ほど学習してから数的処理の成績が全く上がっていないことに気づきました。そこで私は基礎レベルの問題集を購入し、繰り返し学習することで数的処理の成績を伸ばすことができました。自分のレベルに合った問題集で学習するという当たり前の工夫を凝らすことで失敗を乗り越えることができました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

① 教養

教養試験対策講座の良いところは豊富な問題数です。特に数的処理についてはそれが顕著で、200問近くの問題があったと記憶しています。学習方法としては、多くの問題を繰り返し解くということに尽きます。最初は何もわからなくても、解いていくうちに問題を見て解法がわかる状態になると思います。

② 専門

専門試験対策講座の良いところは講義動画で詳細な説明を行っていただける点です。問題を解いていてわからない部分があったとしても、講義動画に立ち返ることで理解できました。学習方法としては、教養と同じで多くの問題を繰り返し解くということに尽きます。しかし、法律科目については問題をただ解くだけでなく、理論構成を理解することが公務員試験対策を行う中で重要だと感じました。

③ 人物試験

人物試験対策講座の良いところは模擬面接です。アガルートの模擬面接は、面接官役の講師が公務員試験に対して深く精通しているため、試験種に応じた模擬面接を行っていただけの部分が非常にありがたかったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

大学3年の前期までで大学の単位をほとんど取り終えておくことに加え、アルバイトに割く時間を減らすことによって公務員試験に対する勉強時間を確保していました。また、一日の過ごし方としては、朝7時に起床→朝9時から18時まで図書館で勉強→18時半帰宅→22時睡眠、という流れで基本的には過ごしていました。家で勉強しても集中できないため、家ではほとんど勉強せず、図書館などの施設で勉強することを意識していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期の過ごし方についても基本的には上記の通りです。しかし、学習方法という面では実際の試験時間で試験に出題される問題数をこなすという学習方法に変更しました。これは実際の試験に近い状態で学習することによって、時間感覚をつかむということや問題の捨て方を学ぶという意味で行っていました。これは個人的に効果的だったと思います。なぜなら、模試の教養試験で時間内に解き終えることは今までなかったのですが、試験当日、効率的に問題を捨てることで時間内に解き終えることができました。メンタル面では、今までしっかりと勉強してきたのだから大丈夫だという心構えで試験当日を迎えました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中は第一志望の筆記試験が終わった後はほとんど勉強せずに遊ぶことが多かったです。筆記試験の前にある程度、模擬面接や面接カードの作成を行っていたため、少し余裕があったので息抜きの意味も兼ねて遊んでいました。人物試験が近づいたタイミングでもう一度、模擬面接や面接カードの完成度を高める作業に力を入れました。余裕をもって公務員試験対策を行った結果、試験期間中に息抜きができ、人物試験にも過度に緊張せずに臨めました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

教養

教養試験を受験した時の手ごたえは、足切りは大丈夫そうだなというものでした。私は教養科目が苦手だったので、ずっと足切りにならないか不安だったのですが、思いのほか問題を解くことができたので専門試験にも自信を持って取り組むことができました。

専門

専門試験を受験した時の手ごたえは、いつも通りの力を出せたなというものでした。私は専門科目には自信があったので、正直、教養試験で足切りがないと感じた時点で一次試験はとりあえず合格できたかなと思っていました。

人物

人物試験を受験した時の手ごたえは、伝えたいことは伝えられたけど、ところどころ自分の受け答えに具体性が無く説得力に欠けていたかも、というものでした。成績開示では面接の評価がAではなくBだったので手ごたえ通りの評価でした。

合格・内定した時の気持ち

内定したときは、うれしいという気持ちよりも安心したという気持ちが強かったです。とりあえずホッとしました。私は8月に第1志望から内定をもらえたのですが民間就活を行っていなかったので、それまで内定は0でした。そのため、自分は来年社会人になれるのだろうかという不安がありました。また、大学の友人たちは既に民間企業から内定をもらっていたので余計に自分の進路が不安で仕方なかったです。内定いただけたことでその不安が解消され、安心しました。

振り返ってみて合格の決め手

合格の決め手は何といっても国税専門官として働きたいという強い気持ちに尽きると思います。その強い気持ちを持ち続けたことにより、勉強が辛い時期も精神的に辛い時期も乗り越えることができました。このことから合格の決め手は国税専門官として働きたい気持ちだと強く思います。これから公務員試験を受験する方々も公務員になりたいという強い気持ちを持つことで、辛い時期があったとしても、それを乗り越え合格できるのかなと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私が公務員として取り組みたいことは、国民の生活を支えることです。私は国税専門官という職業を税金により国民の生活を間接的に支えることのできるものだと思います。私自身、今まで税金によって助けられた経験があります。例えば、小学校・中学校・高校は公立に通っていたため、税金により金銭的な負担があまりかからずに済みました。他にも、医療・介護といった社会福祉を成り立たせるうえでも、税金という存在は必要不可欠です。

このように国税専門官は、国民の生活を支えている税金を直接取り扱うことのできる職業であるため、国民の生活を支えることができると感じています。よって、公務員となったときには国民の生活を支えることに努めていきたいと思っています。

受験生に対するメッセージ

受験生の皆様、私は公務員試験を正しい努力を行うことができれば合格することができると試験だと思っています。努力の方向性を間違わないように気を付けてください。講義を受け、問題集を解き、わからない問題をそのままにしないことに気を付けていれば合格できる可能性は高いです。なので、そこまで気負うことなく学習に励んでほしいです。また、近年は公務員試験全体で合格に占める面接のウェイトが上がっているため、まだ時間がある方はプライベートの部分を充実させ面接で話せるネタを作っていくことにも注力していただければ合格の可能性はより高まると思います。公務員受験は精神的に辛いことが多いですが、内定をもらえた時の喜びはその分大きいので、できる限り頑張ってほしいと思います。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

勉強を始めた時期がとにかく遅かった

永野 希来梨さん

内定先：福岡労働局 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策速習カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

特にきっかけというものではなく、大学3年生になり、将来のことを本格的に考えていかなくてはならないと思い、自分と向き合う中で労働基準監督官という仕事に辿りつき、魅力を感じて志すようになりました。というのも、大学卒業後どんな仕事に就きたいか考えたときに、自分のこれまで学んできたことを無駄にしたくないという気持ちと、自分の知識や経験を最大限に高め、その知識と経験をもって多くの人のためになる仕事がしたいという気持ちがありました。そこで労働というのは、多くの人にとって人生のほとんどを占めるものであり、そして労働環境は、勤務時間内だけでなく、私生活にも影響してくる重要なものであることから、労働特に労働環境の整備、改善に携わることでより多くの人のために貢献したいという気持ちで労働基準監督官を目指すようになりました。

アガルートをお選びいただいた理由

他の予備校に比べ安価というだけでなく、内定特典もいただけるという点に魅力を感じたからです。また、大学やアルバイトで忙しかったことから、通学ではなく、隙間時間に受講し自分のペースで進められる通信講座を探していたのですが、その際に見つけ、自分にぴったりだと感じました。さらに、勉強を開始する時期が非常に遅かったことから、最短で効率よく進めたかった私にとって、速習カリキュラムや要点のまとめられたテキストは魅力的でした。そして、労働基準監督官の試験は面接が重視される傾向にあるのですが、模擬面接を回数制限なしに受けることができ、以上のように私の求めていたものをすべて満たすところは他にないと感じ受講することにしました。

学習の方針と進め方

とにかく私は勉強を始めた時期が遅かったため、科目に優先順位をつけて取り組みまし

た。というのも、文章問題の対策はせず、まずはなじみのない判断推理や数的処理から力を入れて取り組み始めました。そして、専門試験の記述式では、知識を暗記して答案上で再現する必要があることから正確な知識が求められるため、実際に答案を書いたりインプットとアウトプットを繰り返したりと綿密な暗記を行い、選択式の試験は知っていれば解答できるため、問題を解くというよりも本を読んでいく感覚で取り組むことにしました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

勉強を開始する時期が遅かったため、その科目数の多さから時間が足りないという焦りが常にあり、目の前のことに集中できないといったことや諦めモードで勉強を投げ出してしまった時期がありました。その際、科目に優先順位をつけ、文章問題については寝る前や授業の合間等に単語帳をまわすのみで対策をせず、他の科目に時間を充てることにしました。また、労働基準監督官の試験は、面接の方が重視されるからもし筆記試験が上手くいなくても面接で挽回できると自分に言い聞かせ、気持ちを保っていました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

① 判断推理・数的処理・資料解釈については、講義動画を見てテキストの問題を解くということを繰り返していました。自然・人文・社会に関する時事、情報の知識分野については対策の時間が取れず、対策ができないまま試験に臨むことになりました。

② 大学で法律を学んでいたので、動画を見ることなくいきなり問題演習に取り組みました。問題演習を通して貰った箇所について、講義動画やテキストに戻り勉強していました。問題集は、問題と解答が簡潔にまとめられているため、問題を解かず目を通すだけでも勉強になると思います。私は専門記述対策講座の労働法・労働事情のテキストに助けられました。これは、過去問と解答例がまとめられており、直前にこれに目を通したのですが、このまんまの問題が出題されたため、この解答例の通りに書くことで合格することができたと思います。

③ 人物試験対策では、オンラインの模擬面接を利用させていただきました。初対面の先生とお話することで、面接の緊張感を味わうことができましたし、嘘をつかずありのままの自分で良いのだと面接直前に大事なことを教えていただきました。回数制限なしに自宅に気軽に受けることができる点がいいなと思いました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

勉強を始めた時期が3月で春休みだったため、朝9時に起きて16時からのアルバイトの時間まで勉強し、帰宅して21時から3時ごろまで勉強するといった生活を送っていました。そしてスマホでどこでも動画を見ることができるため、バイトに行く移動時間に動画を見て復習をしていました。4月になり学校が始まってからも基本的に生活は変わらず、アルバイトをしていた時間に大学の授業が入っており、大学の時間まで勉強して帰宅して再開するといった生活を過ごしていました。またこの時、労働法の勉強が進んでいなかったた

め、労働法の授業をとり、その授業を聞きながらテキストを開いて対策を進めるといったことをしていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

5月に入ってから、毎日1問は判断推理・数的処理・資料解釈の問題に触れるようにし、労働法については、答案で再現できるよう基本的な知識を確実に頭に入れることを意識して取り組んでいました。そしてこの時点でも対策が遅れていたため、1日でなるべく多くの科目に網羅的に触れることを意識していました。その際、同じ箇所にも何度も素早く目を通し、スピードを意識してインプットを行い、食事や入浴中に直前に見ていたテキストを思い出してアウトプットを行うといった生活を送っていました。

試験期間中の過ごし方

1次試験も2次試験も午前中から集合して行われ、試験会場までの移動を考えると朝早く起きて頭を働かせないといけなかったため、なるべく早い時間に起きて活動する習慣をつけていました。そして寝る間を惜しんで勉強したい気持ちも山々でしたが、睡眠をしっかりとり体調を崩さないよう気を配り生活を送っていました。また、1次試験受験後、まったく手ごたえがなくしばらく引きずってしまったため、もっと早く切り替えて面接の対策をすべきだったなと今になって思います。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

① 文章問題については手ごたえがあったのですが、教養試験全体で問題数が多いですし、知識分野の問題の選択肢一つ一つの文章量が多いため、とにかく時間が足りなかったという印象でした。

② 専門試験の多肢選択式については、自分の準備不足のせいではありますが、2択まで絞れてその2択で迷うといった問題が多々あり、大幅に時間を消費してしまいました。この時点で心が折れてしまったのですがせっかく来たから最後まで受けようという気持ちで記述試験に臨みました。記述試験では、自分の中での確実な知識をなんとか集め、不確かなことは書かず、間違っただけは書かないように意識して解答しました。記述試験も同様に手ごたえはありませんでしたが、自分の知っていることは全部書けたかなと思います。

③ 人物試験では、その受験生の多さに圧倒されてしまいました。待ち時間が長く、直前に準備する時間は十分にありましたが、解答に詰まってしまって答えられない質問もありましたし、上手く答えられず終了後、あの時こう答えたらよかったと何度も思い出した後悔しました。

合格・内定した時の気持ち

内定のお電話をいただいた時は驚きと安堵の気持ちでいっぱいでした。公務員試験は結果が出るのが遅く、周りの友達ももっと早い段階で内定を獲得し遊んでいたのを見て焦りの気持ちを覚えていたので、やっと終わったなという気持ちでした。今回、実際に自分が

公務員試験を受験してみて、周りの人がどれだけ早く結果を出していたとしても、その影響を受けず、確固たる意志を持ち自分のペースで進めていけるかという気持ちの面も重要だと感じました。

振り返ってみて合格の決め手

合格の決め手は、面接に備え入念な準備を行い、想定外の質問に対してもしっかりその場で考えて答え、労働基準監督官に求められる人物像に当てはまることを、具体的なエピソードをもって表すことができた点だと思います。というのも、事前にインターネットで合格体験記を調べ、そこから可能な限り過去にされた質問を集め、自分でも質問を想定し、質問リストを作りました。そして、労働局のYouTubeやホームページから、過去の説明会のインタビュー等に目を通すことで監督官の仕事内容や適性への理解を深めました。その後、その質問リストの質問に対して、監督官に求められる人物像や適性を当てはめた答えを考えていき、そこに該当する自分のエピソードの探し、解答を作っていました。解答が完成すると、それらを頭に入れて話す練習をし、もし想定外の質問が来ても解答全体に統一感を出し、矛盾しないように自分の中で軸を確立させていきました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

労働基準監督官として、実際に現場で機械、設備の安全性や労務管理資料を検査し、指導を行うことで未然に労働災害を防ぐことに貢献したいと考えています。そして労働者の労働条件の確保と向上を図り、労働者が安全で健康に働くことができる労働環境を実現していきたいです。そのために、公務員試験に合格するまでがゴールではなく、これからさらに労働基準法や関連法令、実務について勉強し続け、様々な業務に関わり積極的に経験を積んでいきたいと考えています。そして勤務年数を重ねても、監督官を目指した初心にかえり、謙虚な姿勢で常に向上し続ける監督官であり続けたいと思っています。そして人々の生活に貢献できるよう監督官としての責任を果たしていきたいです。

受験生に対するメッセージ

1次試験の手ごたえがどれだけなかったとしても、できるだけ早く気持ちを切り替え面接の対策に取りかかり、自分の希望する労働局の説明会には参加すべきです。私は手ごたえがなさすぎて面接の対策にすぐに取りかかることができませんでしたし、労働局の説明会にも参加しませんでした。合格できたからよかったものの、1次試験後の時間をもっと有意義に使えばよかったと後悔しました。説明会についても、面接によっては参加したか聞かれることもあるみたいですし、参加することで面接で話せるネタにもなります。そして、1次試験で上手くいなくても労働基準監督官の試験は面接試験が重視される傾向にあるため、ボーダーさえクリアしていれば面接で挽回できる余地は大いにあります。そのため、これから受験される方は先のことをあまり考えすぎず、肩の力を抜いて目の前の筆記試験に全力を注いで頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

何度もあきらめかけた

影井 俊祐さん

内定先：北海道開発局

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型スタンダード対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

公務員を目指した理由は就職について考えた時に特にやってみたい仕事がなく、民間企業は企業数も多く労働環境も様々で不安があり、公務員は福利厚生などしっかりしているイメージがある点や、近年では雇用環境が不安定である中で公務員は比較的安定している点も選択した理由です。また、民間企業が特定のサービスを提供していたりするのに対し公務員では国民全般にインフラなどの生活の基盤となるような仕事をすることができより多くの人のために働くことができると考えました。最後に私は法学部に所属しており、民法や憲法、行政法の講義を受講していたこともあり公務員試験を他の受験生よりも有利に進めることができると考えたのも理由の一つです。

アガルートをお選びいただいた理由

私が様々な予備校の中からアガルートを選択した理由は大きく二つあり、一つ目は通信予備校であり自宅で完結できるということです。まず、通信予備校を選択した理由は大学の授業やアルバイトを行っている中で予備校に通うというのは時間的に厳しい部分があったからです。通信予備校であれば通学の時間などの隙間時間を活用することで効率的に学習を進められると考えました。二つ目の理由は面接対策が充実している点です。公務員試験では近年人物重視の試験も多く面接対策は必須だと考えていました。通信予備校の中で面接対策について調べていると、回数制限があることや面接カードの添削だけのところが多い中で模擬面接や面接カードの添削が無制限である点に魅力を感じました。

以上の理由から私はアガルートを選択しました。

学習の方針と進め方

学習方針としては、公務員試験は過去問がとにかく大事と聞いていたので、インプット

する時間を短くしアウトプットに力を入れるようにしていきました。具体的には講義の倍速機能を用いて視聴し一つの単元が終わればすぐに過去問を解き次の単元に進むというのを繰り返し行っていました。また、一周目は理解できていない部分もあるがとにかく一周終わらせることで全体像を把握しつつ、知識を結び付けていくことで理解を深めていきました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

公務員試験はとても長丁場で結果が出るのも遅くあきらめかけたことが何度もありました。乗り越えるための工夫としては根を詰めすぎずに適度に休憩することや月に1、2回公務員試験のことを全く考えずリフレッシュする日を作ることでモチベーションを維持していました。また説明会に参加することや現在公務員として働いている先輩に相談することで、試験に合格した後の自分をイメージすることでモチベーションを維持することができました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

数的処理については、まず自分で時間を計りながら解いていきその後解説動画を見ることで、より素早く解き方や考え方を知ることができたので良かったです。

文章理解については、まず動画で考え方や解き方を学習した後に問題を解いていくことで効率的に学習できました。

②専門試験対策

専門科目については、まず単元一つの動画を倍速で視聴しその後すぐに過去問を解くことを繰り返し一周しました。2周目以降は過去問を解いてわからないところの動画を視聴していき、一周に時間をかけないようにすることで短い間隔で同じ問題を解くことによって記憶に定着させることができました。

③人物試験対策

人物試験対策は、まず面接対策講座を視聴し、その後面接カードを作成し添削していただいた後に、想定質問をある程度作ってから模擬面接を行いました。添削や模擬面接に回数制限がないのがありがたかったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

大学の講義やアルバイトが午後に集中していたので出来るだけ早起きをして午前勉強時間を確保していたことと、大学までの通学時間を利用して過去問を解いたり講義を視聴したりしていました。また夜寝る前に勉強時間を少しでも確保して専門科目を学習していました。また、公務員試験に集中するために大学3年生の時にすべての単位を取り終えることで大学4年生になってからは大学の講義をとらずに公務員試験に集中して勉強することができました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期は、数的処理や文章理解にはあまり時間をかけず、時事と専門科目に勉強時間のほとんどを費やしていました。勉強方法としては、とにかく過去問を解いていき、法律系科目は最低でも1週間で1周できるようにしていました。経済系科目については得意だったこともあり問題を解く日と解法だけを確認する日を作りあまり時間をかけていませんでした。また記述対策は直前期から始め、文章の作り方を覚え、内容も時事と並行して対策を行っていました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中は勉強に関しては直前期とあまり変化はないですが、法律系科目の学習ペースを少し落とし、その時間で面接対策を始め、想定質問と面接カードの作成に力を入れていました。また、試験期間中は精神的にとってもきつい期間でもあったので、あまり詰めすぎないようにして時には面接対策だけの日を作ったりすることでリフレッシュしていました。あとは、隙間時間に散歩をしたり、早寝早起きしたりなど生活リズムに気を付けるなど体調を崩さないようにしていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

文章理解の英語を完全に捨てていたのですが、現代文と数的処理はかなりできた手ごたえがあり、時事も最低限出来たと感じたのでそこまで不安には感じなかった。教養論文についても最低限問いに答えることができたのとある程度字数を書くことができたので誤字以外は大丈夫だと感じました。

②専門試験を受験した時の手ごたえ

専門試験はかなり時間があるので慎重に解き進めていきました。解けなかった問題もそこまでなく、3回程度見直しも行うことでできていたため、大丈夫という確信に近いものがありました。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

人物試験については、筆記試験の自己採点がかかなり良かったのもあってかなりリラックスして受けることができました。手ごたえとしても、質問の意図からずれた答えもなかったと感じて、はきはきと話すことができていたと思うので良かったです。

合格・内定した時の気持ち

試験に最終合格したときは嬉しいというより安堵の気持ちのほうが大きかったです。内定をいただいたときはとてもうれしかったのと、ようやく試験が終わったという気持ちでいっぱいでした。特に試験勉強を始めた時期はそこまで遅くないですが、本格的に勉強に集中し始めたのが年明けということもあって焦りがあったのと、もし合格できなかった際にもう1年勉強を続ける自身がなかったというのもあり、安堵の気持ちが大きかったのだと思います。

振り返ってみて合格の決め手

合格の決め手は大きく2つあると考えていて1つ目は文章理解の英語を捨てる判断ができたことです。特に教養試験は試験時間が短いのもあって苦手な英語を勉強しても本番解けないと思いました。結果、他の科目に時間を費やすことができたのはよかったと思います。

2つ目はとにかく過去問を解いたことです。公務員試験は同じような問題が多く出題されることもあり問題に出てくる文章を暗記する勢いで解いていくことで本番でも焦らず冷静に対処することができたと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

公務員として実現したいことは国民のために働いていることを忘れずに一生懸命に働いていくことです。公務員として自覚を持って働き北海道開発局で国家的な課題の解決に貢献し、北海道のより良い未来を作っていきたいと考えています。

公務員として取り組みたいことは、内定先である北海道開発局の職員としてインフラ整備やアイヌ施策、地域振興など様々な業務を経験してみたいと思っています。特に公物管理という河川敷地や海岸保全区域の利用に対する許認可、道路占用や特殊車両の通行に関する許認可などの業務を担当し、河川、海岸、道路の保全と安全を図ることによって国民が今以上に安心して暮らせるようにサポートしていきたいと考えています。

受験生に対するメッセージ

近年の公務員試験では人物重視で面接対策は重要であると言われることがとても多いです。もちろん面接対策も大切ですが、受験先によっても違うとは思いますが特に国家公務員は配点割合の半分以上は筆記試験であることが多いです。そのためまずは筆記試験の対策に力を入れていくことをおすすめします。筆記試験の結果が良ければ面接で少し失敗しても合格することは可能になるので精神的にも楽になると思います。また公務員試験は長丁場です。勉強のモチベーション維持がとても大切だと感じました。時には一日遊びに行くなどリフレッシュできる日を作ることでモチベーションを維持しやすいと思います。あとは、夜遅くまで勉強するのは絶対にお勧めしません。寝不足になれば翌日のパフォーマンスが落ち結果的に効率が悪いので睡眠はしっかりとったほうが良いです。

生活リズムに気を付けながらあまり根詰めすぎず試験合格に向けて頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

模擬面接の際自信のない私をととても励ましてくれて自身がつきました。小林先生ありがとうございました。

学生 - 地方公務員合格

(都道府県・特別区・市町村)

アガルートアカデミー合格体験記 公務員試験

令和6年度 公務員試験合格

SPI対策と面接練習が合格の決め手

福留 琉斗さん

内定先：大阪府庁 学生

受講したカリキュラム

教養型対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

就職活動が進み、自分はどんな仕事がしたいのかなと考え、その答えがわからないまま、とりあえずはじめは周りと同じ民間企業を見ていました。ただ、自分を分析していくうちに、特にこれがやりたいというのはないなと思い、漠然と誰かの役に立つ仕事があれば良いなと思っていました。親から勧められたのもありますが、そこで公共の利益のために働く公務員という仕事を見つけました。しかし、私が公務員を目指したのは年末年始のあたりで、専門試験の勉強をするにはかなりの猛勉強をしなくてはならず、少し手遅れでした。そんな時、SPIで一次試験を受けられる自治体が多くあることを知り、SPIを一次試験に課す自治体を目標に設定し、勉強していくことに決めました。

アガルートをお選びいただいた理由

SPIで受けるとはいえ、公務員試験についてほとんど知識もありませんでしたし、専門的なアドバイスをもらったり、試験までの大まかな学習スケジュールと一緒に考えてもらったりしたいと思っていました。かといって学校の公務員講座は申し込みがとくに終わっていたため、オンラインで受けられる予備校を探していたところ、インターネットで一番評価が高そうだったのがアガルートでした。特にどこの予備校が良いなどのこだわりはなかったのですが、オンラインで受けられて、面接練習も何回もできる、論文試験の添削も受けられる、受講相談もできるうえ、内定すれば全額返金と良いこと尽くしだと次第に感じてきて、アガルートを選びました。

学習の方針と進め方

一番初めにオンラインで面談をして、志望先と残りの勉強時間を踏まえてスケジュールを立てました。特にこれといって細かいスケジュールではありませんが、2月からスター

トし、2月でSPIの本を2周、3月で数的処理の本を1周、そして4月から徐々に面接練習、論文対策といった感じでした。この本とこの本とやることが明確だったため、迷うことなく学習を進められていました。ただ、どの自治体もSPIを合格しない限り面接には進めないなので、SPIの本は2月以降も何周もしていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

失敗といえるかどうか分かりませんが、いきなり第一志望は少し怖かったので練習を兼ねて神戸市を受験したところ、普通に落ちてしまいました。結果的には倍率が高く合格の基準も高かったからなのかなと思ってはいますが、個人的な手応えは悪くなかったので、受かるとしていましたがあっさり落ちてしまい、このままではどこも受からないのではと再度SPIの勉強に力を入れ直しました。特にはやく解けるよう意識して取り組みました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策に関してはSPIと数的処理、論文試験対策の3冊しかありませんでしたが、全体的に使いやすかったです。SPIの本は問題の難易度が易しく、はじめはこれで大丈夫かと思っていましたが、数的処理の本と合わせて使うと数的の問題を発展問題として解けたり、逆にSPIの本に戻って復習するということもできたりと使いやすかった印象です。また、論文対策も過去問から出されていて、解答例もついていたので、はじめは模範しながら徐々にオリジナリティを出して練習ができたかなと思います。

③面接練習は曖昧な返答にはこれでもかというほど突っ込まれ、実際の面接より厳しく練習ができたので、本番はリラックスして挑めました。あとからもらえるフィードバックの時間は非常に有益で、勉強になるアドバイスばかりでよかったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

そんなにきっちりと学習時間は決めていませんでした。春休みだったので、旅行にも行きましたし、友達と飲みにも行っていました。ただ自分の中で一日に一回も問題を解かない日は作らないようにとルールを決めていました。旅行は仕方がなかったですが、その前後は勉強時間を少し増やしたり、しんどい時は勉強時間を減らしたり、毎日最低30分は取り組むようにはしていましたが、自分を苦しめない程度に勉強していました。楽しい時間を削ってまで勉強する必要はなく、普段であればただらしている時間を勉強に充てることで学習時間を確保していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期でもスタンスはほとんど変えていません。苦手分野を中心に取り組むようにしていただくくらいで、いきなり勉強時間を増やしたり、夜中までやったりというのはしていませんでした。面接に関してもどんなことを話すかだけある程度決めておいてあとは本番の自分にまかせるという感じでした。これまでに自分なりにしっかり学習をしてきた自負があったので、急に緊張することなく、いつも通りやれば大丈夫だろうという心構えでぞ

みました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中は、SPIに関しては本番で解けなかった問題を中心に練習して次出たときに解けるように対策していました。慣れるため、SPIで受けられる自治体をたくさんエントリーし、数をこなしていました。面接に関してはマインドの問題だと考えていたため、特に緊張はせずリラックスして過ごしていました。ただ過去にどのような質問がされていたのかはしっかり調べて答えられるように、というのは意識していました。できることはやって万全の準備をしていたかと思います。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

①SPIに関しては、受験するたびに手応えは全く違いました。時間に追われるとどうしても焦ってしまうものだと思います。出来がよかろうが悪かろうが一喜一憂せずにはいました。

②面接に関しては、ほぼ全ての面接で自分の話したかったことは話せたと思っています。自分の中でうまく話せたとしても落ちる時もありますし、思い通り話せなくても受ける時もあります。ですのでそこまで手応えは考えないようにしていました。ただ一回目の面接は少し慌てたかなとあとから思います。質問への答えも少し長めで、声も少し小さかったかなと思います。ただこの面接があったからこそ次に生かすことができ、以降自分の話したいことは話せたという手応えを得ることができたと考えています。

合格・内定した時の気持ち

第一志望の合格発表はまだ合格が一つも無い状態だったので緊張しましたが、合格してほっとした気持ちになりました。とりあえず来年度の進路、就職先を手に入れた安心感というのが正直なところでした。ただ、両親に報告をして、思いのほか喜んでくれたので、合格できて、両親を安心させることができてまずはよかったなと思いました。そして大阪府から正式に通知書が届き自分の中でも嬉しさがこみ上げ、合格の実感が湧いた印象でした。

振り返ってみて合格の決め手

やっぱり一番はSPIの練習かなと思いました。いくら面接が得意で小論文が書けても、SPIを合格しない限りそこへは進めません。先を見据えるのではなく、目の前の試験を一つずつ突破していくという心構え、イメージをもっていたのが大きかったのかなと思いました。また、面接練習で大いに詰められたのも良かったと思っています。あらゆる質問が想定でき、自身の詰め甘さを事前に行った面接練習で痛感することができたのも合格につながったと感じています。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

教育に携わり、子供たちにとって魅力的で、教員にとって働きやすい教育環境作りに取

り組みたいと考えています。大学で教職課程を履修したことで、いじめや不登校等の課題が深刻化すると共に、教員が業務の多様化・複雑化により長時間労働を強いられ、教科指導に専念できない現実を目の当たりにしました。授業を受ける子供たちのためにも、教員の現状を少しでも改善し快適な労働環境で教員が働き、子供たちが沢山学び、成長できる大阪府を実現したいと考えています。とはいえいきなり自分にできることはごくごく限られたものだと考えています。ですので、今回の試験と同じように目の前の仕事、やるべきことに精一杯取り組むことで大阪府に貢献していきたいと考えています。

受験生に対するメッセージ

これは受験生全員に向けてですが、あまり自分を追い詰めずに自分に合った勉強方法を見つかるべきです。そして本番は今までやってきたことが勝手に出るだけですので余計なことは考えずにリラックスして挑めばよいと思います。面接に関して言えば、苦手を感じている人も多いかもしれませんが、面接は面接官との会話ととらえてください。一問一答ではなく、会話をするおしゃべりをするくらいの感覚、マインドで挑むとガチガチに緊張することはありませんし、言いたいことが言えると思います。SPI型に関して言えば、一番大切なのは時間です。いかにはやく解けるかを意識して練習してください。最後になりますが、もし自分が普段そういった性格でなくても自分に確固たる自信をもって試験に挑んでください。以上です。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

ホームルーム活用で「みんなで」勉強できた

鈴木 妃さん

内定先：大分県庁 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型スタンダード対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

大学入学時から将来の夢が決まっておらず、大学3年生になっても自分の本当にやりたいことというのが見つからず焦っていました。大学で自分のライフプランを考える講義があり、私は「好きなことを仕事にする」よりも「安定した仕事についてワークライフバランスを充実させる」ことの方が自分にとって重要なことだと気づき、それがきっかけとなって公務員を目指したいと思うようになりました。

私自身好奇心旺盛な性格で、一つの職場で定年まで働けるのか？転職ばかりしていたら家庭をもつことは難しいのではないかとという不安がありました。公務員は、福利厚生が充実していることからワークライフバランスを実現でき、かつ2～3年ごとに異動があるため、数多くの種類の仕事に携わることができます。そういった点は私にとって利点であると思いました。

アガルートをお選びいただいた理由

数多くあるオンライン講座の中でもアガルートを選んだ理由は、1つ目は他のオンライン講座に比べて料金が安かったからです。私は県外の公務員を目指していたため、インターンシップ・説明会・試験など移動費や滞在費が多くかかってしまうので、なるべく費用を抑えたいと思っていました。2つ目は、一人ではなく公務員を目指している人みんなで勉強できるからです。学習サポートでは、勉強の仕方やスケジュールなどを相談しながら進めることができるので、一人で不安を抱えることはありませんでした。また、毎月のホームルームでは他の受講生の質問も見ることができ、モチベーションが上がりました。3つ目は、内定特典で、お支払金額全額を返金していただけるからです。普通は、不合格だっ

場合に返金するケースが多いと思っていたのですが、「合格」したときに全額返金して頂けると「絶対内定もらうぞ!」という気持ちが強くなり、モチベーションも維持できると思いました。

学習の方針と進め方

私の場合、他の人よりも遅いですが9月後半から勉強を始めました。学習サポートで自分に合ったスケジュールを提案して頂いたので、そのスケジュールに沿って勉強を始めました。教養科目の数的処理や文章理解は問題数が多いのと、得点源にしたいと思っていたため、最初に進めました。また並行して専門科目は大学の講義でミクロ経済と憲法を受講していたので、先に終わらせました。その後に、社会科学、人文科学、自然科学、民法、行政法をやりました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

公務員試験の勉強を始めましたが、周りの友達はまだ就活を始めていない時期なので、つられて自分も勉強のやる気がなかなか出ず、スケジュール通りにいきませんでした。そんな時、ホームルームで他の受講生の状況や質問などを見たり、自分の希望するところのインターンシップに行ったりしてモチベーションを上げました。公務員試験の勉強は早くから始める人が多く、持続力がカギとなると思います。同じ公務員試験を受ける仲間を見つかけたり、インターンなどで実際に訪れて自分が働く姿を想像したりしてモチベーションを維持することが重要だと思います。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

はじめに講師の動画を見ながらインプットし、問題集を解いてアウトプットすることができるので、長期記憶に繋がったと思います。オンラインですが、分からないことがあったら気軽に質問できるのもよかったです。私は、教養試験の前に先行実施枠（一次試験：SCOA、二次試験：小論文・面接）を受験したので、SCOAや小論文の勉強も行いました。小論文の頻出テーマやお手本の論文を見ることができたので、短い時間でも対策できたと思います。

②専門試験対策

ありませんでした。

③人物試験対策

面接対策については、アガルートではなく大学の先生に面接練習をお願いしましたが、その際もアガルートの面接カードで聞かれやすい質問を絞ってからノートにまとめて準備しました。特に、過去の受講生の面接レポートは、何を聞かれたか、模擬面接と比べてどうだったか、アドバイスなど受験した方の生の声が聴けるのですごく為になりました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私は、家にいると勉強以外のことに意識がいってサボってしまうので、なるべく学校の図書館やスタバなどに行って勉強をしていました。スマホさえあればどこでも勉強できるのでとても便利でした。また、アルバイトと両立して勉強していたので、アルバイトまでの時間や大学の空きコマなど隙間時間を使って勉強していました。そして、その日に勉強して間違ったところや重要だと思ったところは、マーカーを引いて夜寝る前に見直して忘れないようにしていました。何度やっても覚えられないものは、印刷してトイレのドアに貼っていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

試験2日前までにとにかく問題集を全部解き直して忘れていないところがないか確認し、間違えたところや忘れているところは、その部分だけもう一度やってマーカーを引きました。試験前日は、マーカーが引かれているところだけ確認して、最後の確認を行いました。面接試験の直前期は、ほとんどの確率で聞かれる志望動機・自己PRはすべて紙に書き起こしたり、自分のスマホで話している時の自分を撮影して確認したりしていました。私は心配性な分、誰よりも準備を入念に行った自信があったので、不安や緊張よりも今まで頑張ってきたことを出し切ろう！という気持ちで過ごしていました。

試験期間中の過ごし方

前日は、自分の納得のいくまで練習や最終確認をしました。私は試験の日はアドレナリンが出て眠くならないので、睡眠時間は4時間ほどでした。当日は、集合時間の20分前には会場に到着し、会場に着いたら全ての行動を見られているという意識をもって行動しました。特に、すれ違う職員への挨拶や笑顔を心がけ、スマートフォンもなるべく触らないようにし、事前に紙にまとめておいた頻出テーマの自分の回答や面接の頻出質問などを見るようにしていました。緊張するとのどが渇くのでペットボトルの水もあらかじめ準備しておくといいと思います。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験

私は先行実施枠を受験したので、一次試験ではSCOAを受けました。一度練習のため一次試験でSCOAを課している民間企業も併願したので、出題の仕方や時間制限、飛ばした問題が表示されるかなどを確認し、それを基に本番の作戦を立てました。その作戦は、とりあえずわかる問題から解き進めていき、余った時間で飛ばした問題を進めていき、この時分からなくても必ず選択はするということです。SCOAは120問を60分で解かないといけないので、時間配分が重要でした。本番は、練習を経て立てた作戦のおかげもあり、落ち着いて全ての問題を解き終えることができました。また、これまでSCOAの教科書3冊を3～4周したので、これまで解いた問題と似ている問題もあり、結構手ごたえはありました。

②専門試験

ありませんでした。

③人物試験

1回35分の面接が2回ありました。私はトップバッターだったので、すごく緊張しましたが、これまでの自分を信じてあとは自分の良さと、どうしてもここで働きたい理由を熱弁するだけだ！という意気込みで挑みました。1回目の面接では、おそらく新人の方4名が面接官で、相槌を打ちながら時々笑顔で聞いていただけたので安心しました。また、面接官の1人がとても緊張している様子が伝わり、私の緊張はほぐれ、リラックスして終えることができました。2回目もそのままの調子で進めることができ、終始笑顔で、途中で止まることなく伝えられたのですごく手ごたえはありました。自分が一番伝えなかった入庁後やりたいことについては深掘りされなかったので少し悔しかった気持ちもありました。

合格・内定した時の気持ち

合格発表当日まで、受かっているだろうという気持ち70%、まだ何があるかわからないぞという気持ち30%だったので、自分の番号を見つけた時はホッとしました。成績を見ると、一次試験のSCOAで90点取れていたことや、全体の順位は50人中10位だったのですごく嬉しかったです。これまで支えてくれたアガルートや、大学の先生、お金を出してくれた親には感謝の気持ちでいっぱいです。みんなに合格したよ！という報告が出来てよかったと思いました。

振り返ってみて合格の決め手

主に2つあると思います。1つ目は、情報収集に力を入れたことです。アガルート、Google、インターン、参考書、大学の先生、公務員試験に合格した先輩、YouTubeなどあらゆる手段を使って勉強の仕方や頻出問題、アドバイスなど合格するための情報収集に力を入れました。2つ目は、合格している未来を想像していたことです。合格する前から通販でオフィスカジュアルの服を見たり、合格発表の日はカレンダーに合格する日と書いていました（笑）とにかく、落ちるかもしれないという不安を自信に変えるくらい一つ一つの提出物や論文試験、面接の準備を全力でやったのでそこが合格に繋がったと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

DXや先端技術を活用した観光政策に携わってみたいです。旅行を計画する際の情報入手先として、インターネットが最も多く、なかでもSNSやYouTubeなどの動画サイトは年々増加しています。そのため、旅行者のトレンドや多様化するニーズに対応するため、SNSや動画サイトによる情報発信に力を入れていきたいです。より影響力のあるインフルエンサーや大分県出身の有名人の方との共同、また魅力発信をする際は、DXの導入によりデジタルマーケティングを活用し、観光客のニーズやウォンツを細かく分析し戦略を立てていきたいです。また、大分県は何ととっても日本一のおんせん県なので、温泉をう

まく活用した観光政策で大分県をもっと盛り上げていきたいです。

受験生に対するメッセージ

自分の夢や目標を達成できるかは、どれくらい鮮明に達成できている自分を想像できるかだと思います。自分はどういう人間でどうしてここで働きたくて何をしたいのか？これを明確にする必要があると思います。目標が決まったらやるべきことは3つあります。1つ目はその目標に関することは何でも知っているというくらい情報を集めることです。知っているのと知らないのでは大きな差が出るので、どんな小さいことでもいいので調べることが大事です。2つ目は、企業分析と並行して自己分析を徹底的に行うことです。自分自身のことを知らないのに面接で自分の良さを伝える事はできません。記憶があるところから今までの人生を振り返って自分史を作り、その時の出来事やどう思ったかを書き出すと自分の性格が見えてくると思います。3つ目は、インターンシップや説明会には必ず行くことです。実際の仕事の現場を訪れたり、同じ目標を持つ受験者を見たりすることで、合格して働いている自分の姿を想像しやすくなります。また、モチベーションを維持することにも繋がります。4つ目は、自分と同じ目標を達成している人に相談することです。既に成し遂げている人がいるなら自分にもできるということです。同じ道を辿るのでその人にアドバイスをもらうのが一番近道で効率的だと思います。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

今までお世話になりました。ありがとうございました。

令和6年度 公務員試験合格

定期カウンセリングで学習計画を軌道修正

多川 智也さん

内定先：香川県庁

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

祖父、父が公務員であり、小さい時から公務員に対するあこがれがあった。そして大学3年生になり就職先について調べる中で自分は人々の日々の生活を支ええる仕事に魅力を感じ、さらに調べていく中で仕事内容も自分の興味関心のあることであると考えようになり、公務員を目指すようになった。無論、公務員になるためには多くの試験勉強をこなし、面接等の対策も必要であると知っていたものの、これらを乗り越えてでもやりたい仕事であると心から思えたため、公務員試験勉強を始めることにした。公務員であった祖父、父からも後押しされ、いくつかのアドバイスももらえたため、自分の周囲に公務員試験勉強をしている知人などはいなかったものの、公務員を目指すことに不安はなかった。

アガルートをお選びいただいた理由

公務員試験勉強を始めようと思った時期が大学3年の秋ごろであり、大学生協で提供されている通学タイプの講座を受講するには時期が悪いと感じていた。そのため自分のペースで、いつでも受講が可能な通信講座を探していた。そして通信講座を有する予備校を比較したうえで、通信講座を専門とし、定期カウンセリングなどの各種サポートも充実しているアガルートが自分にとってベストであると考え、受講することにした。公務員試験では2次試験の配点が高く十分な対策が必須であると聞いており、その点アガルートは面接対策等においても充実した講座を有していたため、安心して受講を決定することができた。また、資料請求時の対応が非常に迅速かつ丁寧であり、今後学習上何か困ったことがあっても素早く対応してくれるであろうと感じたことも理由の一つとなっている。

学習の方針と進め方

まずは自分が受験する公務員試験の出題範囲の講座をできるだけ早く一周することを念頭において学習を進めた。学習を始めた時点で公務員試験第一次試験まで8か月ほどであったものの、学習範囲は非常に膨大、数的処理、経済学等難解なものも多いと感じたため、できるだけ無駄なく効率的な学習を心掛けた。学習を進めるにあたって進捗、理解度に疑問を感じたときは定期カウンセリングを活用し、講師の方々にアドバイスをもらい軌道修正に努めた。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

学習を進めるにつれ、すぐには理解できない内容、何度繰り返しても間違える問題等が頻出し、自分に合格は無理なのではないかと思ひ詰めることがあった。そういったときは、いったん机から離れ、外の空気を吸うなど勉強以外のことをして気分転換し、自分を精神的に安定させるように努めた。その後、何を理解できていなかったかを分析し、付箋を貼り何度も解きなおすようにした。また、定期カウンセリングで学習の悩みを講師の方々に話すことで不安を解消し、前向きな気持ちで学習できるようにしていた。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

① 教養試験対策

各教科のテキストに多くの設問が掲載されており、それらをこなすだけで十分な対策ができるものとなっていた。数的処理の問題集に関しては解けなかった問題を何度も解くことでどの分野にも苦手が出ないようにした。

② 専門試験対策（※該当者のみ）

初学者であっても理解しやすいテキスト、講義動画となっていた。理解できなかった点は何度も読み直し、解きなおすことで頭に入れるようにしていた。法学部所属であるものの、自身の法律科目の知識が曖昧であると感じたため、法律系科目の過去問に重点的に取り組んだ。

③ 人物試験対策

面接カード添削、模擬面接を何度も受けることができるため、回数を重ねることで面接の受け答えの上達を図ることができる。複数の講師に面接対策をしてもらえるため、客観的な評価を得ることができ、自己の問題点の改善につなげやすい。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

大学3年の時点で多くの卒業要件単位を取得済みであったため、授業に出席する必要もなく、学習時間は十分に取れた。休憩時間を十分に取つつ、基本的には一日中勉強するようにしていた。しかし何日も家から出ないと気分が落ち込んでしまい、勉強に集中することができなかったため、そういった日は2～3時間だけ勉強し、外出するなどしていた。普段は朝9時に起き、10時から勉強、12時から13時半まで昼休憩を取りその後19時まで勉

強、夕食をとり21時まで休憩、その後4時間ほど勉強した後就寝するという生活を過ごしていた。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期は受験先の過去問を中心に取り組むようにしていた。自分に十分な学力があるか不安、焦りを感じることもあったが、勉強量を無理に増やすことはせず規則正しい生活を送ることに努めた。実際に試験を受ける時には、早めに会場に向かい気持ちを落ち着かせるようにした。また、解けない問題があっても冷静さを保ち、ほかの問題に集中するように心掛けていた。解けない問題があっても仕方がない、出来ることをやろうという心構えで試験に臨んだ。

試験期間中の過ごし方

すでに受験し終えた試験の自己採点、見直し等をし、自分の理解が不足している科目の洗い出しをしていた。また、受験し終えた試験の可否についてできるだけ考えないようにし、次の日程の試験に向けて気持ちを切り替えるようにしていた。筆記試験をすべて終えた後も、気を抜くことなく、人物試験にできるだけ良い状態で臨めるよう、面接カード添削、模擬面接等にすぐ予約を入れるようにしていた。しかし筆記試験が終わったことで緊張感が減り、時々集中が切れることがあったため、その時は一日休憩するなど、心身の健康にも気を遣うようにした。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

県庁の教養試験に関しては思っていたほどの難易度はなく、問題なく乗り切れたように感じた。

②専門試験を受験した時の手ごたえ（※該当者のみ）

専門試験では十分な対策をしてきたと自負していたものの、法律科目において度忘れが発生したり、経済学において初見の公式、記号が出題されたりするなど自分にとって想定以上の難易度であるように感じられた。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

集団討論

グループの一人が討論前の休憩時間にメンバー全員を集め、雑談の場を作ってくれたため、討論前に緊張感をほぐすことができ、実際の討論でものびのびと意見を述べる事ができた。非常によい討論をできたと感じた。

個人面接

県庁の面接であったため、志望動機、県庁の政策等に対する意見等を聞かれると思い、必死で対策したものの、実際は性格、友人関係、趣味などについて聞かれただけであり、特に返答に困ることはなかった。少し拍子抜けした。

合格・内定した時の気持ち

もちろんうれしさもあったが、何よりこれで自分にとって心残りのない満足いく就職先を得られたこと、公務員勉強が終わることに対する安堵感が強かった。合格発表直前は極度に緊張しており、その緊張から解き放たれたことで少し放心していたようにも思う。また、今まで自分の公務員試験勉強を支えてくださった講師の方々に深い感謝の念を感じた。その後冷静になると、実際にどのような仕事をするようになるのか、同僚はどのような人になるのかを考えるようになり、また緊張するようになっていた。

振り返ってみて合格の決め手

アガルートの講師の方々に勉強方法のアドバイスをもらい、常に学習計画の軌道修正を行い続けてきたことが合格の決め手であると思う。自分一人ですべて決めようとしても、実際の試験では何が重要かよく分からないため非効率的な勉強をしてしまう。また何度繰り返しても間違う問題などが出てきた場合、焦りや不安に駆られることとなる。しかし、豊富なノウハウを持つ講師の方々からどのように勉強すればいいか聞くことで不安や焦りもなくなり、自信をもって勉強に励むことができたように思う。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

少子高齢化による人口減少、地方衰退を防ぎ、香川県を今後も県民だれにとっても魅力的な県であるようにしたい。そのためにまずは県庁で自分に課せられた業務に全力で取り組み、周囲の方々とコミュニケーションを重ね、どうすればだれにとっても魅力的な県にすることができるかを考えたい。さらには他県の取り組み、成果についての情報を常に収集し、現地に赴くなどして今後の県政をより良くするためのヒントを得られるようにしたい。また、若者の流出は香川県にとって重大な問題であるため、これに対しどのような取り組みが県庁でできるか、様々な人の意見を聞きながらしっかりと考えていきたいと思う。どれも難しい課題ではあるが、職場の方々、県民の方々と協力して取り組んでいきたい。

受験生に対するメッセージ

公務員試験は今まで乗り越えてきた受験とは違い、面接等の配点が高く、学力以外の能力が求められるため、どのように対策すればよいかかわからず、不安に感じている方も多いかと思います。ですが、適切な学習計画、二次試験対策を行えば自分の不安はよそにおのずと合格を勝ち取ることができます。ここにおいてアガルートには多種多様な公務員試験対策講座があり、学習計画の策定、二次試験対策を十分に行うことができると断言できます。これから公務員試験勉強を続けていくにつれ、勉強が思うように進まない、自分は他の受験者に到底かなわないのではないかと焦りや不安に駆られることが何度もあるかと思いますが、落ち着いて対策を重ねていけば必ず合格することができます。頑張ってください。（追記：面接カードの添削は早めにやっておいた方がいいと思います。直前だと他の試験の日程の影響で十分に時間が取れず、大変なことになります。）

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

私は公務員試験勉強において終始弱気でしたが、講師の方々の励ましのおかげで最後までやりきることができました。あまりに心配性であった私にうんざりされたこともあったとは思いますが、時には厳しく、最後まで真摯に向き合っていただき、感謝しています。本当にありがとうございました。

令和6年度 公務員試験合格

試験2か月前からのスタート

中田 帆香さん

内定先：兵庫県庁 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

大学3年次に就職活動を始めるにあたって自己分析を進める中で、ワークライフバランスや安定性、社会貢献性を重視していました。私自身、自分が生まれ育った地元が好きで、自然豊かで魅力的な地域を守り、発展させていきたいと考えていましたが、若者世代の転出増加をはじめとする人口減少が大きな問題となっていました。

そこで地域振興や観光振興などそれぞれの地域の実情に合った政策を展開し、近年の人口減少問題を解決できるよう、地域創生の業務に取り組みたいと考えようになりました。広域的な業務に携わることで県が持つ魅力的な環境や暮らしを守り、県民の方へ良質な暮らしの提供を行う一端を担いたいと思い、公務員を志望しました。

アガルートをお選びいただいた理由

公務員試験を受けるにあたり、様々な予備校を検討していました。当初は教室で対面で受ける予備校も考えていましたが、時間的・距離の問題から対面よりもオンラインの予備校の方が自分には適していると判断し、オンライン形式の予備校を中心に再度検討し直すことにしました。その中でアガルートを選んだ理由は、他のオンライン予備校よりも取り扱う科目数が豊富であったことや、無料体験授業が非常に分かりやすく、私の学習スタイルに合っていた点です。また、合格時の内定特典も大変魅力的でした。さらに、紙のテキストとデジタルブックを状況に応じて使い分けられたため、電車内など外出先でも効率的に勉強できました。自分のペースで学習を進めたい私にとって、これらの点が非常に大きな魅力となり、最適な選択だったと感じています。

学習の方針と進め方

私の学習は、最初の試験までの期間が残りの2か月しかないところからのスタートでした。

そのため、自分が受験する自治体や官庁で必要な科目に絞るということをまず初めに行いました。

数的処理や文章理解は毎日何問すると決めてひたすら問題集を解きました。その際、解答を見ても理解できない部分に関してのみ講義を視聴していました。

法律系科目については、いきなり問題集を見ても分からなかったので、しっかりと講義を視聴し、講義内で教えてくれる重要ポイントや暗記項目にマーカーを引くなどしました。また講義の1章もしくは1節が終わるごとに問題集を解き、覚えたことをすぐにアウトプットするように意識しました。それを繰り返し、最終的には問題集を5周以上はしました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

試験までの時間がなかっただけでなくスタートだったので、本番までの2か月は常に間に合うだろうかという焦りがありました。ただ、焦っていても仕方ないと思い直し、1日にどのぐらいの量をこなせるのか自分を追い込むことでその思いを払拭しようと思いました。勉強アプリをダウンロードし、自分が1日に行った科目と勉強時間を可視化したり、問題集や過去問をひたすら解くことで1日も勉強しない日がないようにすることでモチベーションを保つ努力をしました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

文章理解については、高校生時代から国語や英語が得意であったので講義を見ずに、ひたすら問題集を解きました。

数的処理については、苦手意識があったので、自分で解いてみて正解できなかったところはしっかり講義を視聴し理解に努めました。

社会科学については、法律系科目などとリンクする部分が多かったため、そこまで時間を費やさず、新出のところのみ学習しました。

自然科学については、私が受験する自治体でも出題数が少なかったことから、全く時間を費やさず本番に臨みました。

②専門試験対策

専門科目は非常に力を入れて学習しました。特に、憲法、民法、行政法は重要度も高いので講義はしっかり視聴し、重要ポイントを理解してからすぐに問題集に取り組むというサイクルを守りました。1章が終わり、次の章に移行する時は、問題集を前の章分もすることで記憶の積み重ね・定着を意識しました。

個人的に法律系科目の講義は、重要ポイントをしっかりと拾いながら、頻出テーマなどが分類されており、さらに分かりづらい部分に関しては図解や例を用いた説明があったため非常に分かりやすかったです。

③人物試験対策

人物試験対策は一次試験が終わってから始めました。面接対策講座の動画を一通り見て、面接の流れを把握し、またNGな作法などを確認しました。

一番魅力的であったのは、オンラインで面接練習が行えたことでした。公務員試験に詳しい講師の方から直接、面接シートの内容や受け答えの内容を指導していただけたのは、とても勉強になりました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

試験対策を始めた時期が非常に遅かったことから、とにかく時間を確保し効率的に進めることを意識しました。アルバイトやその他用事はお休みし、全ての時間を学習時間にあてました。自宅でしっかり時間が取れる時に、教材の読み込みや解説動画の視聴をし、大学の往復の電車内では、そのアウトプットで問題集を解いていました。

また、同じ科目をずっとしていると集中力が低下するので、暗記系科目の間に数的処理や文章理解を挟み、自分に適したサイクルを作っていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

一次試験直前は、専門科目、特に法律系科目に絞って復習しました。今までの演習で何度解いても間違えていた問題や、答えは分かっても自分で解説できない問題など問題集に印をつけており、そこを中心に最終仕上げをしました。

私は十分な学習時間が確保されていなかったもので、全範囲をもれなく対策し尽くすことは困難であると認識し、試験直前期は特に出題頻度の高い分野や単元に絞って学習しました。心に余裕を持てるほどの完璧な対策はできませんでしたが、必要最低限のことはやったという気持ちで試験を迎えました。また試験中も、1点でも点数を掴み取ろうという気持ちで最後まで諦めずに臨みました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中も、まだ他の試験が残っているため、これまでの勉強スタイルや生活スタイルを崩さずに過ごしていました。一次試験終了後は、合格発表を待たず、すぐに面接対策を始めました。志望動機や自己PRを固めるところから始め、自分が受験する自治体や官庁の政策や強みなども研究しました。また、面接で聞かれやすいことを書き出していき、それに対する自分の回答を作りあげていきました。その際、自分が面接官の立場なら深掘りしたいところを考え、セルフ面接をすることで、ひとつひとつの回答を推敲しました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

現代文や英語などの文章理解はいつも解いていたものと難易度に大差はなく、普段通りに平常心を保って解けました。一方で数的処理については、もともとと苦手意識もあり、時間に追われているという焦りから、思うように解けず、とりあえずマークだけしたものが何問かありました。そのため他の社会科学や時事問題でいかに点数を落とさないかを意識しながら解いたので、試験後はまずまずの手ごたえを感じることができました。

②専門試験を受験した時の手ごたえ

県庁と市役所、国家一般職を受験しましたが、国家一般職では手ごたえを感じました。今まで解いてきた過去問と同様に、ひとつひとつの選択肢の文章の間違っている箇所を探しながら確実に正解を導き出すようにしました。一方で県庁や市役所の法律系科目は、国家一般職に比べて選択肢の中身が細かく、重箱の隅をつつくようなものが多く感じたため少し焦りました。しかし時間は長く設けられていたので、しっかりと時間をかけて記憶の中の知識を呼び起こして最後まで粘りました。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

アガルートの面接対策の他、大学のキャリアセンターでも何度か模擬面接を受けていましたが、本番の面接は初めてだったので非常に緊張しました。しかし、受験先の面接官が穏やかな雰囲気の方ばかりで圧迫感を感じなかったのも、面接が進むにつれ、リラックスして受け答えすることができました。特に自分の中で自然な笑顔でハキハキ話すことを意識していたので、そこを面接中に褒めていただいた時は手ごたえを感じました。

合格・内定した時の気持ち

率直に嬉しいという気持ちがこみ上げてきました。それと同時に、試験までの期間が短かったため、ひたすら参考書と向き合ったり面接対策をしたりと非常に中身の濃い数か月を過ごしたことからの解放感も感じました。正直に言うと、試験まで2か月しかないのに間に合うわけがないと自分で思っていた時期もありましたが、それでもやれることは最大限やってみようという精神で走り抜けた先に、合格・内定という結果が待っており、諦めなくて本当に良かったと思いました。

また、周りの民間企業就職活動をしていた人たちが内定をもらっていく中で、挫けそうになっていた自分を応援してくれた家族や友人にとっても感謝しています。

振り返ってみて合格の決め手

筆記試験については、とにかく問題演習、過去問演習を繰り返したことが決め手だと思います。いかにインプットした知識をアウトプットして定着させるかという点が効率面でも有効でした。

人物試験については、模擬面接などを通して多くの人に見てもらったことがよかったです。人によって突っ込みどころも変わってくるので、様々な面から自分の回答を深掘りすることで、より内容の深いものを作りあげられていったと感じます。そして最も大事だったのは笑顔です。面接官に与える第一印象になるので面接室の扉を開けた瞬間から明るい雰囲気づくりを自分ですることが大事だと思いました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

第一志望の県庁から内定をいただけたからには、県の発展に貢献したいと考えています。具体的には、県の魅力を国内外にも発信し、観光客の増加、人口の減少幅を少なくしたいと思っています。兵庫県には豊富な特産物や伝統産業、美しい自然、また多くの観光資源

や文化遺産がありますが、現状の観光の特徴としては、日帰り観光や周遊が少ない「点」の観光に留まっています。それぞれの地域資源を発掘し、それを発信することで「点」から「線」の観光を目指します。また、少子化が進む中で、定住人口や交流人口、関係人口を増やすことが重要になると考えています。国内外に兵庫県の魅力を発信することで、交流人口や関係人口を増やすことに加えて、ふるさと意識の醸成によって都会へ出て行ってしまった若者のUターンを促進したり、現在県内に住む小中学生に地元意識を持ってもらうことで、少子化に対応し、県の発展に貢献したいと思います。

受験生に対するメッセージ

どんな状況でも最後まで諦めない気持ちと他人と比べないことを意識してほしいと思います。試験勉強を進める中で、初めのうちは、分からない問題や何度やっても解けない問題に出会ったり、思うように点数が上がらないこともあると思います。しかし、そこで挫けずに向き合うことで必ず自分の知識として定着し、解けるようになります。また、周りの受験生と比べて進捗状況が遅れていたりして焦ることもあると思いますが、自分のペースを乱さずに、勉強に疲れた時は息抜きも大事なので、無理をし過ぎないようにしていただきたいです。モチベーションの維持のために可能であれば、受験先を訪れて実際に働いている職員の方たちを見て、自分が働いているビジョンを描くこともおすすめです。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

往復2時間半の通学電車でオンライン受講

門川 颯汰さん

内定先：長崎県庁

学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が長崎県庁を志望した動機は、県庁職員の方々と一緒に働き、長崎全体を支えていきたいと考えている点にありました。そう思った理由は、長崎県庁の職員方とボランティア活動で携わせて頂いたことで職員方の人格の素晴らしさに惹かれたからです。私は、長崎県庁の職員方と2年次に県民生活環境部の方々が担当されている食育ボランティア、そして1年次から4年次にかけて、選挙管理委員会書記室の方々が担当されている選挙推進サポーターとして共に活動させて頂いています。職員方と活動することで、フォーマルな環境では、円滑にコミュニケーション取りながらPDCAサイクルで研鑽し、フォーマルな環境では、プライベート面で相談に乗って頂いたり、とても心強い人生の先輩としてのアドバイスを頂いたり多面的に関わり合ったことで、この方々が上司だったらいいな、一緒に働きたいなと思い、長崎県庁を志望しました。

アガルートをお選びいただいた理由

私がアガルートを選んだ一番の理由はオンライン受講が出来るという点にありました。私は実家から大学まで電車で通っていたのですが、往復2時間半かけて通学していました。また、私の場合通学できる電車が1時間に1本通る程度の本数だったので、通塾の場合、大学の近辺でも実家の近辺でも時間に追われながら勉強しなければいけない状況下になることが嫌でした。その為、電車の中といった自分の決めた時間、場所でもオンライン受講が出来るアガルートを選びました。また、他にもオンライン受講を取り扱っている塾はあったのですが、アガルートが体験授業を受けて一番分かりやすく、授業形態が自分に合っていると感じたため、選んだ次第です。

学習の方針と進め方

私は、最初はインプットを重視していました。その為、電車の中でも読み返せるように動画を受講して受講内容の要所ノートを作って繰り返し読んだり、法律系だと法律の中身を覚えたり、よく見られる判例を覚えたりしていました。そこから中盤、終盤にかけては、問題集とノートを用意せずと問題を解いて反復していました。もう少し具体的に話すとノートでは、問題を自分で解いて大事だと思ったところや間違ったところを青や赤を活用して一日の終わりに見直すことを繰り返し行っていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

失敗経験や挫折を乗り越えるための工夫としては失敗経験や挫折時に感じた「たら」「れば」を有効活用することです。確かに、失敗したことを考えてずっと引きずるということは絶対やってはいけません。私は模擬試験で上手く結果を残せなかったり、国家一般職の筆記試験では凡ミスを多発し、大失敗をしたりしました。ただ、失敗をしたことに対し、負の感情に浸るのではなく、ああしとけば、こうしとけばを分析し、次の試験までに軌道修正を行うことが大事だと私は思います。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

教養試験対策では、私の苦手教科である数的処理を徹底して勉強していました。この受講カリキュラム内での数的処理においては、解きにくい問題は予め解説動画として用意されて他に問題が分からない場合は、質問制度で対応して頂いたので、分からないところを無くすまで勉強できました。

専門試験対策では、ミクロ経済学マクロ経済学ではアガルトの教材を活用して公式などを頭に叩き込んで、ひたすら問題を解いていました。法律系では、ただひたすら問題数が多く設けられた問題集があったため、それを活用して全部最低4、5周はしてひたすら頭に入れ込んでいました。

人物試験対策では、国家一般職や地方公務職（私であれば長崎県庁）に実際に勤められている方の話を伺うことができ、それらを参考に面接試験の対策を練ることができました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

授業が無い日は基本的に朝の6時半頃に起き、そこから時事問題集や法律系の問題を片手に持って解きながら、朝の支度をし、8時から開く市役所のコワーキングスペースに向かって勉強していました。17時に閉まるので図書館にそこから向かい、20時まで図書館で勉強をしていました。そこから家に帰り、時事問題集や法律系の問題を片手に持って解きながら夕食を摂り、23時半頃まで勉強していました。これが基本の形で勉強場所が違って毎日追い込み1か月前は15時間マストで勉強していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期も基本的に朝の6時半頃に起き、23時半頃まで勉強していました。これが基本の

形で勉強場所が違って毎日追い込み1か月前は15時間マストで勉強していました。私は精神面が弱かったので、少しでも勉強していない時間が出来ると不安や心配を過度に感じていたので、それを感じないようにただひたすらに勉強していました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中の過ごし方は、休み時間は暗記科目である法律や時事問題を頭に入れてました。

昼食時間でも片手間で食べられるおにぎりなどを食べながら片手でノートを読み直したりしていました。あまり復習時では詰め込みすぎないことが大事だと思います。詰め込みすぎると頭の中で整理ができず、知識が混沌になった状態で試験中でも混乱する可能性があるからです。その為、予め何を復習するかは予定を立てて計画的に休憩時間を過ごすことを強くお勧めします。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

教養試験を受験した時の手ごたえとしては、あまり盛大に間違えた、全く問題が分からなかったということは無かったので、次に控えていた専門試験でも焦る感じはなく、悪く響く感じではなかったです。

専門試験を受験した時の手ごたえとしては、やらかしたっていう感覚はなかったのですが、その前で受けてた国家一般職で専門試験を凡ミス連発で大コケしたトラウマが残っていたので、あまり自信を持つことはできませんでした。

人物試験を受験した時の手ごたえとしては、結構感触としては良かったです。理由は、全く緊張をしていなかったからです。面接時に受けた質問には言いよどむことなくスラスラ答えることができたので、正直、とても自信がある形で試験を終えることができました。

合格・内定した時の気持ち

合格・内定した時の気持ちとして私が第一に気持ちは結構ありきたりだとは思いますが、今までの勉強してきた努力が報われた、今まで頑張ってきて本当に良かったと嬉しい気持ちで溢れました。その合格発表が出るまでは、筆記試験にしても人物試験にしてもあその問題が駄目だったかなどうだったかなとかなり不安に陥り、情緒が安定していませんでした。その反動もあって合格発表に自分の受験番号があったあの時の感動は今でも忘れられません。

振り返ってみて合格の決め手

試験を振り返ってみて私が合格できた理由として一番大きかったのは、自分に自信を持って試験に臨むことができたからだと思います。私自身自己肯定感は低く、周りよりも頭が悪いと思っており、それは今も変わりません。ただ、そのネガティブを拭うほど勉強の努力量を重ねたことで頭は悪いが、勉強した時間や努力した量は誰にも負けていないという自信に繋がり、ここまで勉強して落ちるなら仕方がないと思うまでの自信を持っていました。だからこそ、前向きに試験に臨み、無事合格を頂くことが出来たと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私が公務員として取り組みたいことは面接カードの希望する仕事にも記載してる選挙管理委員会書記室にあります。そこを目指した契機として私は大学1年生時より4年間選挙啓発のボランティアを行っていた点にあります。私自身その4年間で長崎県庁選挙管理委員会の方々と議論しており、ずっと課題である「投票率はどうすれば向上するのか（特に若者の投票率）」の解決に大学を卒業して、その後、長崎県庁の職員としても努めていきたいと考えているからです。ただ、県庁職員として求められるのはゼネラリストとして仕事を全うすることではあるので、私の長所である色々なことに興味を示し、積極的に取り組んでいくことは第一に心に持って尽力していきたいと思います。

受験生に対するメッセージ

私からは精神面についてのアドバイスをしたいと思います。

恐らく、精神面で沢山勉強をした影響でプレッシャーに押しつぶされそうになると思いますが、自分が一番勉強したんだ、絶対ここに受かるんだという心持ちで挑むことが大事だと思います。実際、私も勉強は沢山していたのですが、民間を1つも受けておらず、保険が無い分、後がないというプレッシャーで最初の国家一般職の筆記試験では凡ミスを連発し、失敗しました。その分、もうこれ以上プレッシャーを感じても仕方がない、やるなら全て力を出しきって終わりたいと県庁の試験に臨み、無事内定を頂きました。皆さんもプレッシャーを感じるなどとは言いませんが、自分が今まで頑張ったことも自信に変えて試験を乗り越えてください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

分割払いが学生には有難かった

中林 里香さん

内定先：春日井市役所

学生

受講したカリキュラム

教養型対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

大学に入学した当初は夢が確立していませんでしたが、2年生のおわりごろに、就職活動をはじめ、私の性格を考慮しながら、自分自身のやりたいことを考えたときに「生涯を通して様々な分野を経験し、多世代の方々のために支援しながら地域貢献」がしたいという思いをもち、市役所が一番私にとって魅力的であると感じたのがきっかけです。

また、インターンシップを通して、事務作業だけでなく、外回りや調査など様々な経験をさせてもらい、民間の企業のように数字に追われることがなく、暮らしの支えになるような業務を行えることに魅力を感じることができたことから、市役所で働いて地域のために活動していきたいという思いがさらに強くなりました。

アガルートをお選びいただいた理由

何よりも安いことに加えて、小論文の添削や面接の受講などの、学習以外のサービスが整っているということに魅力を感じ申し込みました。また、多くの他の塾と比べたら安いですが、自分で塾代を払う予定であったので一括で払うのが苦しく感じていましたが、アガルートでは分割払いが手数料無料で行うことができたので、バイトを行いながら少しずつ払うことができると知り、大学生の私にとってとてもよいサービスであると感じてました。

さらに、内定特典で返金があったのも大きかったです。

学習の方針と進め方

私は、前年の三月から学習を始めていましたが、秋ごろまでは、ほとんど数学系を完璧にすることと社会系の暗記に力を入れて、自分で解法や知識をまとめながら学習を進めていました。

秋以降には、理科系や政治経済についての学習をはじめ、全ての学習を同時並行に行いながら学習を行いました。

冬には、エントリーシートの作成や民間の早期選考を一社受けており、時間がとられていたので、早めに学習を始めてとてもよかったと感じることができました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

何よりも、継続して毎日学習に励むのが苦しく、やめたくなくなることがたくさんあり、つらいと感じたことはとても多くありました。しかし、友人と一緒にたまに集まって一緒に学習を行ったり、友人と連絡を取り合ったりすることで、モチベーションをキープしながら学習に励むことができた。

また、他の問題集をやっても他ときに、全然解けなくて挫折を味わったが、がむしゃらに学習を行った結果、たくさんの知識を身に付けることができたので、よかったと感じています。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

教養試験対策では、数学系は何周もすることで、多くの問題の解き方を把握することができたので、1冊をとても有効に使うことができたと感じています。また、社会系は、自分なりに講義内容とテキストの内容を見てまとめてから、問題を何度も解いていきました。一度内容を把握することで、問題が分からなかったときに振り返りがとてもやすかったので、よかったと思いました。

人物試験対策では、テキストに載っていた事項を自分にあてはめながら、ノートを作成し、対策をしていきました。自分について、多くのことを一度書き出す機会があったことで、面接時のどのような質問に対しても、悩むことはなかったので、とてもよい学習方法であったと感じています。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私は、午前中に3時間、6時までに3時間、夜寝る前までに3時間が最低学習を行おうと決め、学習を行っていました。また、学校がある日などは、電車や休み時間にオンラインの講義を見たり、ノートにまとめる時間などにし、できるだけ、空いている時間に意識し学習の時間に充てられるように工夫していました。

思うようにできない日も多くありましたが、きっちり時間のスケジュールを立てるのではなく、上記のように大まかに学習時間を決めておくことで、うまく学習時間の確保に励むことができたと感じています。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

試験の直前には、全体の復習を何度も行っていました。間違えたところや苦手なところもしっかりと振り返るのは勿論ですが、分かっていた問題を度忘れしてしまい、点数を落とすことがないように、入念に全範囲を網羅できる学習を行いました。そのときには、自

分の作ったノートがとても役に立ったので、ノートを作っておいて本当に良かったと思いました。

心構えとしては、今までやってきたから大丈夫であると言い聞かせ、なるべく気持ちが焦らないように意識していました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中は、他の市役所の試験期間ともかぶっていたので、あわただしく、心配をしている暇もなく、資料の確認や面接の練習、情報収集などに追われていました。そのため、心配してネガティブになることなく、一生懸命にやれることをやっていくことが、最終的にとてもよい結果につながるということを感じることができました。面接の資料などもあわただしくなった時用に、事前にたくさん用意していたので、心の安心材料になっていたと感じます。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

教養試験では、勉強を頑張ったかいがあり、とても手ごたえを感じました。私の感覚では、1問か2問しか不正解になっていないと思うので、とてもうれしく感じました。1問か2問は、政治経済の内容で、少し学習時間が少なかった強化であったので、しょうがなかったと感じています。

人物試験でも手ごたえを感じることができました。どのような質問をされても答えられるように、多くのエピソードや質問の回答を事前に用意し挑んでいたため、エピソードの使いまわしを簡単に行うことができ、準備への後悔をすることなく、終えることができました。また、笑顔で挑むことができたので、印象が良いとも褒めてもらえたので、態度を意識して行ってとても良かったと感じました。

合格・内定した時の気持ち

内定をいただいたときには、とてもうれしかったです。1年以上学習をしていたこともあり、絶対に失敗できないという気持ちをととても強く持っていたため、合格通知の喜びはとても大きかったです。しかし、まだ第一志望の市役所の選考を続いているため、合格通知をもらったときには、うれしさと同時に、この経験を生かして、もっと頑張って、内定はもらっているという安心感の元、第一志望の受験を頑張ろうと強く感じることができました。

振り返ってみて合格の決め手

合格の決め手は、私の準備したエピソードと面接での態度や臨機応変さにあると感じました。面接では、かしこまった質問ばかりではなく、会話形式に、一步踏み込んだ質問を受けることが度々ありました。ですので、コミュニケーション能力を十分に発揮し、エピソードをより分かりやすく、深く説明していたのが、好印象を与えられた要因であると考えました。また、準備できないような問題には、その場で機転を利かせ、スムーズに答えることができたので、決め手の要因になることができたのではないかと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

留学で多くの方々との交流を経験し、共に問題について考える力やコミュニケーション力を身につけてきたので、その強みを活かして、職員の方々と協力し、市民の声を聞いたりとしていくなかで、市民に寄り添い、市民の意見が支援に反映されやすいよう努力していきたいと考えています。

また、他の自治にも目を向け、他の自治で実施された制度を検証し、よりよいものを取り入れていくことで、より支援を充実されていきたいと考えています。例えば、子ども誰でも通園制度など、市に取り組んでいきたいです。

上手いかわからないことはたくさんあると思いますが、いままで一生懸命に頑張ってきた学習の姿勢を忘れず、地域に貢献できるように精一杯のことをしていきたいと思っています。

受験生に対するメッセージ

公務員を受験するためには、準備することがたくさんあって、つらいと感じることがたくさんあると思いますが、めげずに頑張ってもらいたいと思います。私は、一年とてもつらかったですが、内定をもらったときには、やってよかったと思うことができたとともに、内定への喜びは、他の人以上にあり、とてもよい経験であったと心から思うことができました。

私なりの学習のコツは、息抜きを自分なりに用意しておくことであると思います。私は、友達と勉強する時間を設けたり、電話する時間をつくったりすることで、気持ち的にリラックスできる時間をつくっていました。学習しなければならない、一点張りにならず、頑張りすぎない程度に、頑張ってもらいたいと強く思います。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

人生で一番うれしかった合格発表

高田 楓花さん

内定先：宇都宮市役所、下野市市役所

学生

受講したカリキュラム

教養型対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

自分が高校生のときに、コロナ禍で飲食業や航空業界など様々な業種が影響を受け、解雇や給料の引き下げなどのニュースを見て将来は安定し、景気や情勢にあまり左右されない職業につこうと思ったから。その中で、地方公務員、特に市役所職員を目指そうと思ったのは自身の家族が都内就職や転勤ありの総合職の仕事を心配し、また、自分が長女であることも考え出来るだけ家の近くに就職し、なにかあったときには家族の傍に出来るようにしようと思ったから。栃木県ということで、1番大きくやりがいがありそうな宇都宮市役所を第1志望にしようと思った。公務員は女性と男性の給料が全く平等なため、そこを考えても公務員以外への就職は考えなかった。

アガルートをお選びいただいた理由

立教大学の学内講座も考えたが、家から遠く休みの日に通うのは面倒だと思った。また、他社も考えたが、やはりオンラインで学べるというのは通学中やバイトの空き時間にも勉強でき、良いのではないかと思った。さらに、価格も他社に比べて安いのも決め手となった。オンラインでは、面接対策や、疑問があった時の質問などが出来ないのでは無いかと思い、沢山調べると、面接練習もグループワーク対策も質問も行うことができ、これなら、対面授業と対策に差はなく勉強する事が出来ると思い、アガルートを選んだ。結果的に、この選択は大成功であったと考えている。特に模擬面接では山本先生に大変お世話になり、模擬面接の充実さを身をもって感じた。

学習の方針と進め方

私は大学2年の2月から勉強を始め、最初の頃は数的処理、日本史、世界史、社会科学を中心に勉強した。数的処理は苦手だと感じ、毎日1時間は勉強の時間を取った。勉強の

進み具合が円グラフとなって可視化されている為、どの教科が足りてないか確認し、休日には足りていない教科の時間を多く取るよう工夫した。筆記試験1か月前頃から面接対策の準備を進め、面接本番までに最低3回以上は模擬面接をやると目標を立て、早めに予約を取った。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

アガルトの教材とは別に購入した宇都宮市役所の予想模擬問題などを解き、採点したとき八割に届かないことが何度もあり、その度に心が折れかけた。辛い時期を乗り越えられたのは、同じく筆記試験のある教員採用試験を受ける友達と一緒に勉強をする時間があったからだと思う。オンラインで他の予備校とは違い、仲間やライバルを見つけにくいので、自分の友達と共に切磋琢磨して勉強するところができるような環境を作ることとはとても重要だと思う。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

1 教養試験対策では、前述した通り、自分の勉強がどのくらい進んでいるか教科ごとに円グラフになっていることがとても良いと思った。全体の何パーセントまで学習が進んでいるか分かることでやる気の向上にもつながった。1周目は全ての教科の全てのパートの動画を視聴し、2週目からはテキストで間違った問題の動画のみ視聴し、3周目はまた全ての動画を視聴するというのを交互に続け、テキストは5周した。まちがったところには付箋をつけ、付箋のところは数え切れないほど解き直した。

2 人物試験対策

模擬面接は本当によいシステムだった。実際に先生のアドバイスを聞き、取り入れられることで不安がだいぶ緩和された。模擬面接では深掘質問が多く、様々な角度からの質問に対する答えを用意できた。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私は3年生の頃に全ての単位を取り終えたため、4年生になってからは授業を取らず全て公務員試験対策に当てることが出来た。朝のうちに数的処理で昨日まちがったところの解き直し、動画視聴、終わったらその他の教科、夜寝る2時間前からは数的処理の新しいところを学習するというルーティンを筆記試験前日の夜まで続けた。ルーティン化することで勉強を苦痛なものと思わないようにすることが出来たので、これは皆にオススメしたい。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

筆記試験前は普段のルーティン通りの勉強を続けた。何度も間違ってしまう日本史や世界史の問題についてはA4の紙に書きトイレのドアに貼っていつも見えるようにした。人物試験直前は、模擬面接の予約が取れる時は絶対に予約を取り、数を多くこなすことで緊張を紛らわせようとしていた。どうしても緊張してしまうのは、今まで一生懸命やってき

たからだと自分に言い聞かせ、私が受からなかったらおかしいという強い心構えで過ごした。

試験期間中の過ごし方

特段普段と変わった過ごし方はしなかった。面接対策で質疑応答を頭の中で繰り返し、教員採用試験を受ける友達と電話でお互いに心境を話し合ったりなどを行うことはあったが、これといって変わったことはしなかった。普段通りに過ごし、心を落ち着かせ、また、体調管理を徹底することを心がけた。毎日アールワンを飲み免疫力を向上させているといいこみ、風邪などは気持ちで吹き飛ばす勢いで体調管理をしていた。試験期間中は、勉強よりなにより体調管理を心がけるのが大切だと思う。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

1 教養試験の手応え

120問を60分で解くというハードに感じる試験だったが、30分前に解きおわり、見直しまですることができたため、教養試験は合格しただろうと自信があった。

2 人物試験の手応え

一次面接では、宇都宮市のイベントに参加したことはあるかと聞かれ、参加したことが無かったため、悪い評価を受けたのではないかとあまり手応えがなかった。

最終面接では、終始本当に和やかで、どの面接官も当たり障りなく、また、深掘りもない質問をしてきたので、このような質問で他の受験生とどう差別化を図るのだろうと不安に思い、すらすらと答えられたが、やはり手応えを感じることはできず、面接後の交流会でも不安なまま過ごした。

合格・内定した時の気持ち

本当に心の底から安心した。私は民間企業を受けていないので、これでダメだったらどうしようとすごく不安だったので自分の受験番号が掲示されているのを見つけた時、人生で1番嬉しかったと言っても過言ではないくらい嬉しかった。家族に報告し、皆とても喜んでくれて、本当に嬉しく、とても安心した。4月からは自分が望んだところで仕事をすることができるという喜びで、すぐに図書館で市役所職員のマナー本という本を借りるほど嬉しかった笑

振り返ってみて合格の決め手

やはり、始めた時期が人よりも早く、コツコツと毎日努力を続けたこと、そして、受からなかった時のために民間企業を受けようとせず、ひたむきに努力し自分を信じて頑張ったことが合格の決め手だと思う。また、面接前に不安になっている時期に模擬面接を行い、山本先生にすごくいいと思います、このままいけば合格出来ると思いますという言葉をかけて頂き、直前に自信を付けることが出来たことが本番で最大限に実力を発揮できた要因だと思う。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

宇都宮市を若い世代が移住したいまちナンバーワンにしたいです。東京まで新幹線で1時間で着くのに、豊かな自然が広がるという良いところがある宇都宮で学生や若い働き世代の意見を取り入れ、子育てのしやすいまち、地域に貢献したいと思えるまちを作りたいです。具体的には、キッズショップ構想の推進を行い、子供商店街などを行うことで子供たちや大学生などの問題解決能力を街ぐるみで向上していくことが出来るまちを作りたいです。そうすることで、若い世代の郷土愛も芽生え、また、子育てに適したまちと知れ渡ることによって県外や市外からの移住者を増加させることも出来、生き生きとした良い街を作ることができるのでは無いか、と考えています。

受験生に対するメッセージ

民間企業を受ける多くの友達がどんどん内定をもらい卒業旅行や留学に行くのも横目に勉強を続けなければならないことの苦しみは実際に経験する私たちにしか分かり得ません。周りに流されず自分が決めた道に進む意志の強さをもち持つことが大切だと思います。どんな人も人生のどこかには必ず辛い時期があると思います。それが今あるのか過去にあったのかそれとも先にあるのか、人それぞれ違うものです。今笑って旅行に行っている友達も過去に辛い就活を終えて笑っています。だから、受験生の私たちは今、必死に血のにじむような努力、泥臭い努力を続け、自分が叶えたい未来のために勉強という投資をすることがなによりも大切だと思います。コツコツと日々勉強すること、やっぱりこれに勝るものは無いのだと思っています。頑張れ！！

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

ライバルに比べだいぶ遅くからのスタート

小野 青星さん

内定先：甲府市役所 学生

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策速習カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が公務員を目指そうとしたきっかけはいくつかあります。1つ目は身内に公務員がいたことです。公務員の良さを身内から実体験に基づいて沢山教えてもらうことが出来たので目指そうと思いました。2つ目は家庭環境です。私は幼い頃から母親一人に育てられてきました。母は私には決して辛い姿を見せませんでしたがその姿に気づいてから母を早く楽にさせてあげたいと思うようになりました。その気持ちから色々な面で安定している公務員という職を目指そうと考えました。3つ目は私が暮らす町がとても素晴らしいと感じたからです。大学に入ってから行動範囲が広がり見える景色が広がったことで考え方も変わり、この素晴らしい街をさらに良くしていきたいと思うようになりました。

アガルートをお選びいただいた理由

私は公務員勉強を始めるにあたって自分のペースに合わせて行いたいという気持ちが強くありました。なので通信塾の中から選ぼうと思っていました。しかし私は公務員勉強を始めるタイミングがとても遅かったのが最初は何の教科から始めたらいいのかであったり勉強方法もあっているのかも分からない状態でした。サイトで色々調べていくとアガルートのサイトを見つけました。最初は「短期間でも合格」の文字に惹かれて調べていましたが、調べていくと受講相談に乗ってくれたり、個人ごとに合ったプログラムを受けられると知りました。他の予備校に比べ生徒に親身になってくれる所やカリキュラムの内容が自分にとてもあっていると感じたのでアガルートを選ばせてもらいました。

学習の方針と進め方

まず私は数学が一番教科の中で苦手分野だったので数学を重点的に行いました。数学をメインで行い、余った時間で他の教科を勉強するといった流れでした。国語は得意な分野だったのであまり手をつけることは無かったです。教養科目は国語以外2周行うことを目安にし、専門科目は1周行うことを目安にし、苦手な分野だけ2周目を行っていました。試験が近づくにつれてどんどん勉強時間を伸ばすように進めていました。基本的にルーズリーフなどに分からないところを書き込むようにしていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

私がこの公務員勉強を行ってきた期間に感じた失敗経験は始めるタイミングが遅かったことです。周りのライバルに比べだいぶ遅くからのスタートになってしまい焦りを持ったまま勉強を行っていました。遅くから始めたという自覚を持っていたので常にモチベーションを保ったまま勉強を行えました。また、難しい問題に時間をかけても解けず心が折れそうになる時は1回休憩を取り、他の教科を勉強することによって脳をリフレッシュさせていました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策では主に数学を行っていましたが分からない部分は解説動画を適時見て勉強していました。数学の講座をやっていて良かったと思った点は単元が章ごとに別れていて勉強したい単元のページが直ぐに見つかる点です。他にも分からない問題の解説を自分の好きなタイミングで見ることが出来るのも良いと思いました。

②専門試験対策としては基本暗記系の教科が多かったのですがこの講座を受けてよかったと思うところは紙媒体の参考書を持ち歩かなくても良い点です。携帯からいつでも直ぐに読めるので移動中やスキマ時間でも勉強することが出来ました。

③人物試験対策では先輩たちの対策シートなどを見ることが出来たのでそれを参考にすることが出来たのが良かったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私は4年の3月から公務員勉強を始めたが、まだ学校を卒業するための単位が残っていたので学校に行きながら勉強していました。学校でも空きコマが生まれるのでその空きコマの時間を利用して図書館などで勉強していました。また、勉強を習慣づけるために必ず1日1回は勉強するように時間を確保し、勉強しない日を作らないようにしました。何も無い日は午前中は頭を使う思考力を問うような勉強を行い、夜は暗記や知識を詰め込むような勉強をしていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

試験の一週間前まではいつも通りテキストを動画を見ながら学習していたが1週間を切ったあたりから勉強時間を少し減らすように心がけました。直前に詰め込んでも急に点

数が上がると思っていなかったので暗記科目を中心にを行い、残りの時間は音楽を聴いたり散歩をしたりとリラックスできることをしていました。緊張してしまうとパフォーマンスが下がってしまうのでリラックスして望めるように当日の朝まで普段通りの生活を送っていました。リラックスしすぎないように適度に緊張感をもって当日を迎えるようにもしました。

試験期間中の過ごし方

1次試験の筆記試験は1日通して行われました。会場に知り合いはいなかったのでお昼の休憩中や小休憩の時間は勉強していました。お昼の休憩中は受験者達で話している所もあり集中できるように事前に用意していたイヤホンを使ってノイズを無くして勉強していました。2次試験の面接試験は当日雨だったこともあり中はとても寒く待っている間あまり集中出来ませんでした。なので試験前日には当日の天気や気温を確認して服装を変えるべきだったと思います。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

①教養試験を受験した時の手ごたえはどっちつかずという感じでした。全く分からないという問題はあまり無かったが自信を持って答えられる問題もあまりありませんでした。全体的に納得のいく解答ではなかったです。問題冊子も回収されてしまうので自己採点ができずにもどかしい思いでした。点数も開示したのですが1次試験の筆記と2次試験の面接の合計点だったので最終的には筆記試験の点数は分からなかったです。

③面接試験では午前中に集団討論、午後に個人面接を行いました。集団討論では事前に詳しく調べていた内容がテーマとなっていたのでしっかりと討論することが出来、自信をつけることが出来ました。その勢いで午後の個人面接も言いたいことや聞いて欲しいことを全部伝えることが出来たので面接試験ではある程度手応えはありました。

合格・内定した時の気持ち

率直にとっても嬉しかったです。自分が認められた気がしたことも嬉しかった要因の一つでもあり、また、合格したことを応援してくれていた身内や知り合いに報告できるのも嬉しかったです。1次試験の合格発表も緊張していたが最終合格発表の時にはそれと比べ物にならない程喜びました。1次試験を通った時は嬉しかったがまだ途中なので浮かれてはならないと自分に言い聞かせていたが最終試験では重荷が全て降りた気がして嬉しさとほっとした気持ちがありました。

振り返ってみて合格の決め手

振り返ってみての合格の決め手はいくつかあるが1番は分からないことをそのままにできなかったことだと思います。残りの試験日まで短くなってくると難しい問題に遭遇すると焦りから飛ばしてしまいがちになりますが焦らずにひとつずつ問題をつぶせていけたことが点数の上昇に繋がったのではないかと思います。あとは試験日まで大きな病気にもかからずいつも通りの生活を送れたことだと思います。当日もですが体調を崩さないことに

よって自分の力が十分に出せたと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私が公務員として今後取り組んでいきたいことは地域活性化です。私が働くことになる市は年々人口が減少傾向にあります。その要因の一つとなっているのは地域の賑わいではないかと思っています。今はシャッター街になってしまった場所を商店街として活気溢れる場所として再生したり、地元の特産品や有名なスポットを県内外に広めて地域の良さをアピールしていきたいです。それらを行うことによって市民の流出を防ぎ、新しく人を呼び込めると思います。また、市外の人達だけに目を向けるのではなく、地域の人たちを第一に考え、暮らしやすくなったと言われるまちづくりを行っていきたいです。これらを実現していくことはとても難しいが新しく入る同期の人たちや上司の人達と色々考え合い支え合いながら取り組んでいきたいです。

受験生に対するメッセージ

これを見てくれている公務員の受験生は勉強を始めるタイミングは人それぞれだと思いますが遅く始めれば始めるほど不利になります。逆に言うと勉強を始めるタイミングはフライングして下さい。早く始めればその分他の受験生に差をつけることが出来ます。毎日やっていると飽きてしまったり挫折してしまったりとモチベーションを維持するのも大変になると思います。でもそこを堪え、合格という目標をモチベーションにして日々サボることなく勉強して下さい。最後に健康管理をしっかりと行ってください。試験が近づくにつれて緊張してしまったり勉強などでコンを詰めると体調が崩れたりする可能性があります。どんなに勉強を頑張っても当日試験を受けられなければ意味はありません。自己管理をしっかりとこれから頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

社会人 - 国家公務員合格

(国立大学職員含む)

アガルートアカデミー合格体験記 公務員試験

令和6年度 公務員試験合格

不安でいっぱいだった離職中の受験

佐藤 朱里さん

内定先：裁判所職員

社会人

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策速習カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

前職は生命保険会社の個人営業でした。

その企業には転職したばかりで、その会社を選ぶ際に法律系の仕事とどちらにしようか悩んでいました。しかしその時は、法律系の業種で自分が取り組みたいと思う仕事に出会うことができませんでした。

そして、転職して数ヶ月後に裁判所事務官という職種について親戚の話で知る機会がありました。その話をきっかけに興味を持ち、調べていくうちに裁判所事務官になりたいと考えるようになりました。

生命保険会社に転職してまだ日が浅く、相談した上司から「もう少しこの業務を経験してからでも良いのではないか」と意見をいただきました。それでも私自身本当に目指したいと考えたことだったため、何度も相談して理解していただき、試験勉強に専念するため退職に至りました。

アガルトをお選びいただいた理由

短期間であっても幅広い科目を対策できると考えたからです。

公務員を本格的に目指し始めたのが本番の年の1月ごろで、試験まであまり時間がありませんでした。

また、第一志望の他にも興味を持った公務員試験があり、そのために科目数を増やす必要がありました。

アガルトは、本番まで時間がない方でも幅広い科目が対策できる速習カリキュラムがあること、添削や面接練習を何度もしただけるといいうところに魅力を感じました。

また、公務員試験対策のさまざまな比較サイトで上位であったこともあり、アガルト

を選びました。

他にも、「内定したら全額返金あり」ということで、より内定に向けての目標が増え、やる気にもつながりました。

学習の方針と進め方

全体として、「この月までにこの単元までやる」、「3月からは過去問に力を入れ始める」などおおまかに決めて、そこからさらに1週間ごとの細かい目標を決めて取り組むようにしていました。

1日あたり7、8時間勉強するようにしていました。スケジュールについては数的処理に苦手意識があったため、1日の勉強時間の半分を充てるようにし、テキストを4周はするようにしていました。他の時間で英語、憲法、民法、行政法、刑法、労働法をどの科目も3日に1回は触れるようにし、間違えた問題・不安な問題を繰り返し解いていました。

3月からはテキストと並行して過去問に力を入れ始めました。過去問は本番までに3周するようにしていました。

時事対策は、本番の試験が始まる2週間ほど前から取り組んでいました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

数的処理は何度やっても解けないことがありました。それでも諦めず、ひたすらテキストや過去問を繰り返し解くようにしました。

その結果、本番になんとか間に合うことができました。

公務員試験対策を離職期間中に取り組んでいたということもあり、「本当に前職を辞めてまで挑戦して良かったのか」と不安に思うことが何度もありました。それでも、「もしどこも合格できなければ、また民間に転職しよう」と自分を追い詰めすぎないよう心がけました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①さまざまな公務員試験の問題が数多く扱われていたため、どのような公務員試験でも十分に対策できるという安心感がありました。

テキストの問題を解く際は、解けなかった問題・解けたけどまだ不安要素がある問題について、それが解消されるまで何度も解くようにしていました。

②憲法、民法、行政法を対策していました。どれも持ち運びやすいサイズだったため、電車の中でも勉強しやすかったです。

去年1年間、別の資格試験のために勉強していた科目であったため講義は受けず、ひたすらテキストを繰り返し解きました。

これらの中で特に民法が苦手だったため、民法に時間をかけるよう意識しました。

③何度もオンラインで面接対策できる点が良かったです。他の予備校だと回数制限があることもありますが、アガルートのこのカリキュラムでは制限がなかったため、回数を気

にせず受講できました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

離職期間中であつたため、勉強時間は確保しやすかつたです。

しかし、外出機会がかなり減つてしまつたため、健康とリフレッシュのためにもジムに通い始めました。3日に1回ほど朝にジムに行き、ジムに行った日は昼過ぎから勉強を始めていました。

また、リフレッシュとして休憩時間には趣味である漫画を読んでいました。

他にも説明会には積極的に参加するようにしたことで、モチベーションの維持やリフレッシュにもつながっていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

苦手な科目の問題をひたすら解くこと・時事問題対策・専門記述対策に力を入れていました。

特に数的処理が苦手であつたため、過去問とテキストを何度も解きました。

時事問題については試験の2週間前くらいから対策を始めました。

専門記述については、過去問の答案をひたすら声に出して暗記するようにしていました。実際に記述することは1、2回ほどしかありませんでした。

今までさまざまな試験を受けてきていたという経験もあり、特に気負いすぎず臨むようにしていました。

試験期間中の過ごし方

全体としてモチベーションの維持が大変でした。特に第一志望の裁判所の筆記試験が終わつた後、以前ほど勉強に力が入らなくなつてくることもありましたが、それでも最低限対策すべきことだけはやり、モチベーションが戻るまで合格体験記を読んだり、面接カードの内容を考えたりしていました。そしてモチベーションが戻るにつれ、勉強時間を戻していきました。

勉強内容について筆記試験が残っている期間は、過去問だけではなく既に自分が受けた試験の解き直しもするようにしていました。

面接対策について筆記試験が終わるにつれて時間をかけるようにし、先輩方の面接シートや面接体験談を読んだり、官公庁のパンフレットを読んで業務内容をイメージしたりしていました。特に6月は国家一般職向けの官公庁説明会が行われていたため、少しでも自分が興味を持ったところには参加するようにしていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①全部で5つの筆記試験を受けましたが、回を重ねるにつれて手応えを感じるようになりました。

特に最初の方に受けた東京都と裁判所の試験はあまり手応えがなく、満足のいく点数とはなりませんでした。

しかし、その後の国家専門職と国家一般職試験では、手応えを感じた通りの点数が取れました。

②専門試験は教養試験と比べて自信があったため、どの試験でも手応えを感じたことが多かったです。ただ、国家専門職試験では過去問を解いた時ほどいい点数が取れませんでした。教養試験の方が良かったため挽回できたと思っています。

③人物試験は、手応えを感じたものほどいい結果ではなかったことが多かったです。特に官庁訪問は自分の中では自信があったのですが、結果として内々定をいただけませんでした。一方、裁判所は自信がありませんでしたが最終合格できました。

合格・内定した時の気持ち

東京都と国家一般職に関しては、筆記試験の点数と近年の合格者数の傾向から、最終合格の予想ができたため、結果が分かった時は安心感が強かったです。

一方で裁判所に関しては、筆記試験で自信があったのに対し、面接試験に自信がなかったため、合格発表までとても不安でした。

しかし、結果的には最終合格・内定をいただくことができ、本当に嬉しかったです。

私は対策を始めたのが試験の年の1月ごろと他の方よりも遅かったため、本番までに間に合うのか不安でした。それでも最後まで受けた試験に関してはどれも最終合格をいただくことができて、本当に良かったです。

振り返ってみて合格の決め手

他の資格試験のために勉強していた法律科目対策と情報収集が合格の決め手だったと思います。

前の年の1年間でしっかり法律の勉強をしたからこそ、「遅い時期から公務員を目指したとしても間に合うかもしれない」という自信につながり、その分の時間を苦手だった数的処理に費やすことができました。

また、面接試験対策として、官公庁ごとの面接の特徴を調べてから臨んだことで、本番では緊張し過ぎずに面接を受けることができました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

前職の経験を活かして、司法の魅力を多くの方に伝えられるような業務に携わりたいと考えています。

前職ではニュースの映像編集をしており、辞めた今でも映像には強いこだわりを持っています。

裁判所は訴訟だけではなく調停制度など、さまざまな制度があります。

「訴訟はハードルが高い…」と考えている人でも、このような制度を活用して合意に至ることで、訴訟を起こさなくとも確定した判決と同じ効力を持つことができます。

また、最近では裁判手続きのデジタル化も進んできています。

しかし、このような良い制度があるにも関わらず、あまり多くの方に知られていないよ

うに感じています。

司法の魅力を多くの方が知り、活用していただくためにも、映像編集の経験を活かして伝えていきたいです。

受験生に対するメッセージ

私は二つの職歴があり、その一つは半年も経たずに辞め、離職中に受験しました。

それでも複数の官公庁で最終合格することができました。

転職先として公務員を目指す方も多くいらっしゃると思います。そしてその中には、試験に集中するために私のように前職を辞めて、離職中に受けられる方もいらっしゃると思います。

離職中は本当に不安でいっぱいだと思います。私自身も「本当に辞めてまで挑んで良かったのか」と不安になったことが何度もありました。

それでも私のように合格した人もいますので、この経験談が同じような経験を持つ方にとっての不安解消につながればと思います。

公務員試験対策は長丁場です。

そのような長い期間頑張っている受験生は本当にすごいことだと思います。

「そんな自分やよく頑張っている」と時には自分を褒めつつ、後悔のないよう、最後まで諦めずに挑んで欲しいと思います。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

苦手意識があった面接で内定をもらい感動

児玉 侑也さん

内定先：厚生労働省 職業安定局

社会人

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

大学院を中退し、就職も難しく今後の人生について決めあぐねている中、友達から勧められたことがきっかけです。将来が安定しているというイメージがあったため、将来に対して不安を抱いていた自分にとっては良い就職先だと思いました。その後、つなぎの仕事として清掃業を始めるのですが、そこでの経験から労働というものが人に与える影響の大きさに驚きました。大学院を中退したことで自信を失っていた自分にとって、清掃業という仕事は人の役に立っているという感覚、労働の対価としてお金をもらう・払うことで社会に参加している感覚などから、これまで自分が抱いていた労働に対するネガティブなものとは違った価値観を得ることが出来たことが自分にとっては衝撃でした。このような経験から、労働に関係する仕事に就きたいと思うようになり、公務員の中から労働系の仕事に絞ってより前向きに公務員を目指すようになりました。

アガルートをお選びいただいた理由

お金が無かったのでできるだけ安く済ませたかった、自分のペースで勉強できるような予備校を選びたかった、内定特典が魅力的だった、この3点がアガルートを選んだ理由です。その後、サンプル教材をやってみて授業が分かりやすかったことと勉強の進め方が自分に合っていると確信し受講を決めました。また、電話での受講相談を行った際の対応が良かったことも決め手の一つです。自分でしっかりと計画を立て、自分のペースでしっかり進められる方にはぜひアガルートをお勧めしたいと思います。

学習の方針と進め方

はじめに教養科目（数的処理・判断推理）を1カ月で一通り終わらせ、専門科目に移りました。専門科目を行う前にどの公務員を目指すか、どの教科を受けるか、どの教科が得意そうかを明確にし、そこから教科の優先順位を決めました。私の場合では、はじめに憲法を選び授業を聞く、問題を解く、その単元をノートにまとめるという流れで勉強を進めました。憲法が終わるとだいたい1教科にどれくらいの時間がかかるか分かるため、そこから試験2カ月前には全教科目を通せるように逆算し勉強を進めました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

3月から面接の練習を始めたのですが、4月末に志望動機に欠陥があるとの指摘を貰い、面接カードを1から書き直す必要が出てきました。筆記試験の勉強も佳境であった頃なので、焦りと不安でかなり苦しかった時期なのを覚えています。その時私がとった行動は信頼できる友達に面接カードの書き方を1から教えてもらい、自分が納得できる面接カードを作りました。そして、週に一度のペースでやっていた模擬面接を1カ月休みし、筆記試験に全力で臨むことにしました。余裕がある時期では筆記、論文、面接と色々手を付けて感触を知ることが大事ですが、切羽つまってきたらどれかを一度切り捨てて一つのことに集中するのも大切だと思います。あの時、模擬面接を自分が納得できる状態でいったん中止したことは良いメリハリになりました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験はとにかくいろんな種類の問題を解くことが大事だと思います。アガルトの教材はたくさん問題を解くことができ良かったです。また、単元ごとに問題がまとめられているので、自分の苦手な分野がはっきりします。そのため、復習をする時に効率的に勉強することが出来ました。

②専門試験対策にはかなりお世話になりました。私は法律区分を選択したのですが、大学では全く違う分野を専攻していたので初見の教科が多い状況でした。そんな私でもアガルトの教材、オンライン授業はかなり分かりやすかったです。より深く理解するために初心者でも分かりやすい例えや実際の状況を例に説明されたこと、教科の単元ごとに重要度、頻出度を教えてくれたこと、授業の聴き方や過去問を解く時期など細かな配慮がとても良かったです。

③人物試験対策にはかなりお世話になりました。面接のオンライン授業では姿勢や話し方の大切さを失敗例と共に教えてくださり、今まで気にしていなかった部分を直すことでどれだけ印象が変わるのかを感覚で知ることが出来ました。また、週に1度のペースで面接カード作成の相談や模擬面接を受けることができ、自分について話すことが苦手な私にとって良い練習場でした。模擬面接の先生は3人おり、それぞれ1回以上受けました。優しい先生もいれば厳しい先生もあり、それぞれ視点が違うので自分の足りない部分が浮き彫りになり、かなり参考になると思います。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

週5のペースで2～3時間、調子がいい日は5時間というペースで勉強していました。勉強するときは近くの喫茶店に行きコーヒーを頼んで、500円と引き換えに勉強するわけだから無駄にするわけにはいかないという風に自分を追い込んでいました。実際、勉強する場所を決めるとスイッチが入りやすくなりますし、コーヒーも眠気覚ましにちょうどいいので効果あると思います。学習した時間は必ずカレンダーに記録し、怠けてしまいそうなときは自分に必要な勉強時間と今までの勉強時間を計算し、このままでは時間が足りないことを自覚させるようにしていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

ひたすら過去問とその復習をしていました。過去問は試験本番と同じ時間で行い、そこから時間配分や捨て問題の見極めなども意識するようにしました。復習は間違えたところをノートにまとめ、自分が苦手な分野・単元を教材と共に1から勉強するという方法でやっていました。こうすると苦手な分野がノートにまとまっているので、効率的に見直しが出来ます。過去問では高頻度で合格点を獲れるようになっていたので、試験本番は焦らないこと・いつも通り解くことを意識しました。

試験期間中の過ごし方

試験中の休憩時間では次の試験に向けてまとめたノートを見るか、音楽を聴いて精神を落ち着かせるかの2択でした。私は一つの試験が終わると何点とれたか気になって尾を引くタイプなので、試験が終了したらすぐ自己採点し、だいたい点数を把握してから次の試験に切り替えるようにしました。たまにケアレスミスが発覚し落ち込むこともあります。その悔しさを次の試験に活かし、絶対にもうミスはしないぞと言い聞かせていました。試験期間中は何とも言えない不安が押し寄せてくることもあるので、その時は今まで自分がやってきた教材、ノートを見返し、自分はここまでやってきたのだから大丈夫と言い聞かせていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

国家一般職の試験の話です。

①2問ほどのケアレスミスが発覚し、落ち込んでいました。ただそこまで致命的な点数では無かったので切り替えを意識し、次の論文試験・専門試験の振り返りに力を入れました。

②かなり良かったです。見慣れない問題もありましたが、自分がやってきた問題は落とさずしっかりとれました。特に暗記科目は直前に詰め込んだところが多く出てきたので良かったです。教養試験と合わせえて悪い点数では無かったので安心して人物試験に臨むことが出来ました。

③人物試験の正解はいまだによく分からないので、とにかく自分のことをしっかり話すことができたという感想でした。一般職の人物試験が私の最後の試験であったため、不安

や達成感というよりも1年間よく頑張ってきたなという安堵が強かったです。

合格・内定した時の気持ち

めちゃくちゃ嬉しかったです。特に官庁訪問で内定を貰った時が嬉しかったです。私はこれまで面接というものを受けてこなかったため苦手意識があったのですが、自分が苦手だと思っていた分野で受け入れられるということに感動しました。面接に苦手意識があった分、面接カードの作成や自己PR・志望動機の精査、全体を通して矛盾が生じる部分はないか、なにより自分という人間を誤解なく・分かりやすく表現できているのか力を入れたつもりだったので、その努力が報われたという印象です。

振り返ってみて合格の決め手

勉強に手を付ける前にきっちと計画を立てたことです。何の教科をどの順番で行うか、いつまでにどこまで終わっている必要があるか、そのために何時間勉強する必要があるか、いつから論文・面接に手を付けるかを逐一意識しながら勉強をしていたことが良かったと思います。私はむらっけがあるのでその日の自分の状態に合わせて計画を調整したり、たまには勉強する気が起きなくても無理やり奮い立たせたりしました。そうして時には自分を追い込む勉強ができたのは計画を立て、勉強の必要性を細かに意識することが出来たためだと思っています。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

高齢者の方が安心して働ける職場を提供できるようになりたいです。現在の仕事で高齢者の同僚とお話することが多いのですが、高齢者になるとお金のためというよりも居場所のため、生活リズムのためなどを理由に働く方も多いです。また、人と接する機会が減ると認知症が加速するという話もあります。さらに、人口減により今後は高齢者も立派な労働力として扱われる機会も多くなると予想されています。一方で体力の低下や長期間の雇用が望めないなど採用への障害も多いです。そのため、高齢者雇用のガイドライン・高齢者が働きやすい職種の認定・高齢者人材派遣の充実など高齢者であっても安心して職を探せる、仕事を続けられる、現役よりも無理のない働き方ができるような世の中にしたいと思います。

受験生に対するメッセージ

受験勉強中は様々な不安があると思います。私の場合の不安は、公務員に受かってもしぐやめてしまうのではないかと、激務かもしれない、もっと自分に合った仕事があるかもしれない、落ちたら全部無駄になってしまうのではないかなどです。正直内定をもらった後でもそうした不安が尽きることはありません。ただ1年間勉強をやりきったこと、たくさん面接を練習したことは残り、自信に繋がっています。その自信は1日1日の積み重ねでできたものです。勉強する最終目標は公務員に就職することですが、1日1日の目標は自分に自信をつけるため、不安を払拭するためというような小さな目標を目指して勉強することも効果的だと思います。時に休みながらも1日1日頑張って目標を達成する日々を

送ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

小林先生 授業分かりやすかったです。ありがとうございます。

林先生 模擬面接で厳しいご指導ありがとうございました。おかげで自分の弱点が見えました。

山本先生 模擬面接や面接カード作成では色々ご相談に乗って下さりありがとうございました。山本先生からの助言は自信に繋がることも多く助かりました。

令和6年度 公務員試験合格

特別支援学校の教員から国立病院機構へ

野口 航太郎さん

内定先：独立行政法人国立病院機構 社会人

受講したカリキュラム

教養＋専門型スタンダード対策速習カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私は特別支援学校の教員として働いていました。特別支援学校の教員は、目の前の子どもたちと接することが喜びではありますが、もっと多くの人との関わりを通して障害支援、社会的な立場から携わりたいと考えた時に、行政の仕事が社会の中で大きな割合を占めているのではないかと考えました。私は教育学部の出身なので最初は経済法律の学部の人たちと戦うことができるのか悩みながらの勉強になると思いましたが、やると決めたからにはやろうと思い挑戦することになりました。友達が公務員として働いていることも刺激の1つになりました。障害福祉関係以外にも様々な部署転換があるので、社会の一員として成長できる仕事環境が揃っていることもよいと思いました。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートの良さは、YouTubeの公式動画を見て決めました。様々な方の受験体験のインタビューが掲載されていました。私は途中で仕事をしながらの公務員試験の受験となりましたが、同じような境遇の方のインタビューを見て、アガルートならできるかもしれない、と自分のなかで勉強を進める具体的なイメージができたことがアガルートを選んだ理由になるかと思います。もう1つは圧倒的な価格の安さです。他の大手の対策と違い、10万円近く、コースにもよりますが、違ってくるといいます。大学生や就職が難しい方にも、お求めやすく挑戦しやすい価格であったため決めました。音声ダウンロードすることも可能ですので、時間がないときや電車でも活用できました。

学習の方針と進め方

学習のためにオンラインでの面談を活用させていただきました。まずは憲法民法行政法ミクロマクロ経済学を進めることから始めました。教員採用試験を受けていたため、一般

教養についてはある程度今までもやってきてはいました。そのため、専門科目に全集中をかけて仕事後家で3時間を目標に取り組み続けました。時間でとにかく区切ることで、集中力を高めて取り組むことができたと考えています。とにかく量が多いので1回まずは回しきることを意識して取り組みました。2回目からはスピードも上がりました。先生との面談でイメージを持ちましょう。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

私は仕事をしながらの勉強でしたので、もう後がないという状況でした。挫折したときも、これしかないんだ、という追い込みを持って取り組むことができたことは大きな財産になったと思っています。最初の3か月が我慢の時期だと思います。1周してある程度自信が持てる科目が出てくると、少しずつ光が見えてくると思います。あとは小林先生がおっしゃっていますように、1日何も勉強しない日を作ることが大事です。じわじわと夕方ごろから勉強しなきゃと思います。リフレッシュも大事です。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

① 教養試験対策 アガルートのテキストは要点が押さえられているので、問題をそのまま覚えるくらいまで毎日電車のなかで何回も見直して読み込みました。ノートを作るとかはせずに、解説のページに関連する語句をどんどん書き込みをしていきました。そうすることで自分専用のノートが出来上がります。

② 専門 講義動画を何回も繰り返し、過去問を繰り返し、この反復横跳びです。困ったら動画を見る、過去問の解説を音読する、動画を見て大事なことをテキストに書き込む、この繰り返しでした。3日連続で見ること、頭に叩き込んでいくイメージでした。ミクロ、マクロはグラフを常に頭でイメージできるように、白紙にグラフを自分で書けるか、という作業を繰り返したりもしました。動画の保存もできるのでおすすめです。

③ 面接は場数、経験です、先生方の面接動画を参考にしましょう。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

学習前にスマホのアプリをロックして、自分と向き合えるように環境を作りました。平日は仕事後の3時間、休日は8時間を目安に取り組みました。気分転換にサウナやランニングをすることでメンタルを良い方向に向けていました。図書館に行き高校生に混ざって勉強をするなど、定期的に違う場所に行って環境を新しくして勉強することも自分には良いことでした。困ったら小林先生の毎月配信されるホームルームを見て、モチベーション管理をしましょう。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

特にこれといったことをせず、今までのルーティーンをひたすら繰り返していました。間違えた問題の解きなおし、動画に戻って確認をしました。今までのテキストでの書き込みで、自分自身の最高のテキストになっていると思います。あとは空き時間にテキストを

読み直す、音読することで定着させていました。心構えは、もう年齢的に後がないと思うこと、新卒からうまくいっている周りの幸せな姿を見ることです。追い込まれますが、それがやる気になります。

試験期間中の過ごし方

勉強以上に予定の確認、イメージをしていました。試験が続く時期は特に体力との勝負です。勉強時間よりも睡眠時間、リラックスをできる環境を作っていました。このためには、直前に焦らないような計画をたてて勉強に取り組むことがより大切になってくるのではないかと思います。試験をイメージした時間配分で模試を受けましょう。あとは体調管理です、風邪の時期ではありませんが、冷房で冷えたりなど落とし穴があるので気をつけてください。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

① 教養試験は出たところ勝負などもあります。わからないからといって落ち込まずにすることが大切です。選択肢を2, 3個絞れただけで、あとは50%だな、と思ってできたことに目を向けましょう。文章理解と数的で落とさないことで大丈夫です。

② 今までの総決算と思い受けました。経済は計算問題でもグラフをイメージすることを繰り返し考えていました。じっくりと時間があるので、式変形だけで終わらずに今までのテキストのグラフを頭でイメージできるかだと思います。法律は判例の小林先生がラインを引く部分がそのまま出ますので、よくラインの部分を音読することです。

③ 人物重視の試験なので、答えを用意するのではなく、日ごろからの考え方、人としてのあり方が問われていると思います。面接練習でやったことを信じましょう。

合格・内定した時の気持ち

自分、やればできるじゃん！と思いました。ずっと悔しい思いをしてきて、今年が年齢制限的にも最後の年であったため、最後の最後に合格を勝ち取ることができてほっとした気分でした。今までの自分を見つめなおす時間でもあったこの期間はとても大切な時間であったなと思いました。特に中途の方には、これからの人生の安定を考えている方も多いかと思います。家族や自分のために、できることをやってよかったなと思いました。買いたかったものを買おう！とも思えましたし、人生の幅が広がるきっかけになりました。

振り返ってみて合格の決め手

最後まであきらめなかったことです。試験をいくつもうけるなかで、不合格の通知が届くことも当然あります。それを見て、メンタルが動かされてしまうとよくないです。最後の最後まで戦い抜くのが公務員試験です。反対に言えば、ライバルが減っていく（合格していく）のが公務員試験です。あとになればなるほど、実質倍率は下がると信じて、高い集中力で取り組み続けることが大切です。それだけの信念を持っている人に任せたい、と試験する側も思うはずです。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

多くの人との関わりを通して障害支援、社会的な立場から携わりたいと考えています。多様性の時代にこれからなっていくと思います。自由競争社会のなかで、福祉の視点を持ち働くことは一般企業でできることではありません。行政の力があるからこそ、福祉サービスは広がっていきますし、住みやすい社会、認め合う社会ができると私は思います。公務員は全体の奉仕者です。地域に対して、国に対して、だれもが住みやすいために、制度や情報共有を通して人と人をつなぐ仕事はやりがいに満ちています。そこで働き私自身も成長できると考えていますし、人としての魅力を深めていきたいと考えています。部署転換があることで、社会の一員として成長できる仕事環境が揃っていることも人生100年時代を生きるうえでよいと思います。

受験生に対するメッセージ

採用までにはたくさんの試験があり緊張や不安があるかと思います。また、仕事等と並行しての受験はとても大変だと思いますが、体調に気を付けて自分らしさが発揮できるように頑張ってください。受験に向けて、不安な日々を過ごされていることと思います。試験勉強も必要ですが、ぜひ、周りの方と過ごす時間や趣味の時間を大事にしてください。人と話をしたり、好きなことを楽しんだりする時間はリフレッシュになり、視野が広がります。たくさんある職種の中でどうして公務員になりたいのか、明確な理由を持つことや熱量を伝えることです。公務員試験は民間企業に比べ採用時期が遅く、また、対策しなくてはならないことが山ほどあり、逃げだしたくなる時もあるかもしれませんが、職員としてなりたい自分像を思い描きながら、苦しい時期も乗り越えてほしいと思います。ただし、頑張りすぎや思い詰めすぎは良くないので、息抜きも大事にしてください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

ありがとうございました！とてもわかりやすかったです。

令和6年度 公務員試験合格

講師と一对一の面談で不安を解消

久本 花菜さん

内定先：東京農工大学

社会人

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

きっかけは、実際に民間企業で働いてみて、会社が世の中に対して生み出す価値とは何か、を自分で実感したことです。会社は自社のサービスを消費者に利用していただいたり、自社の商品を買っていただいたりといった機会がないとプラスの効果を世の中に対して生み出すことができない、また、生み出せてもすごく局部的なものだと感じました。その経験により、私はもっと多くの人々にその人が必要とする仕組み（商品）を届けることで、一人一人の生活の安定に貢献したいと考えるようになりました。

公務員であれば、一企業で働くよりも、少なくともより多くの人が必要とする仕組み（商品）を届けることができ、より多くの幸福を生み出せる仕事ができるのではないかと考えたため目指しました。

アガルートをお選びいただいた理由

一番魅力的だった点は、内定特典で全額返金されることです。今年度、自分のためにも必ず合格したいと思っていましたが、内定特典があったことでより一層合格へのモチベーションを高く保ったまま勉強に取り組むことができました。

また、自分の勉強の進度に合わせ、その都度講師の方と一对一で話し合いながら、勉強のスケジュールを組むことができることも魅力的でした。私は社会人として働きながらアガルートでの勉強を一人で行っていたため、他の受験生との情報交換や比較ができず、自分の勉強進度が遅れていないか、いつまでにどこまでを履修しておくかと間に合うのだろうか、といった心配事がありました。しかし、その都度講師の方と面談をすることで相談にも乗ってもらえ、不安を解消することができ、集中して勉強に取り組むことができました。

学習の方針と進め方

学習方針は、分からなくても良いのでとりあえず一気に過去問を解き切り、そこから自分の苦手な分野や傾向をつかみ、そこを重点的に学習することです。また、配点が高く、同時に数を取りやすい科目でもある、数的処理・判断処理、憲法、民法、行政法、経済学といったものを中心に、過去問をそれぞれ年内に3周はするように勉強を進めていました。

アガルートの講師の方も言われていますが、とにかく過去問を繰り返しやるのが大切だと感じました。教科書や講義の動画は、過去問を解き、解説を読んでも分からないときに適宜確認する、といった活用方法だったため、過去問に充てる時間が多かったです。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

公務員試験の学習を始めてから通算で9ヵ月ほど時間がありましたが、「時間はたくさんある」と過信していた分、時間の使い方を誤ったことがありました。

まず、働きながらの学習という点で、平日は勉強の時間を取るのが難しく、休みの日にまとめて長い時間を勉強に充てるようにしていました。しかし、1週間おきに勉強してもあまり身にならない(1週間経つと解答方法を忘れていたり)と感じることもあり、また、土日だけでは勉強が習慣化されていないため、ふと時間ができたときにも無為に過ごしてしまうことがありました。そのため、10分でも良い、1問解くだけでも良い、と軽い気持ちで平日も勉強するようにし、「勉強する時間」を毎日のルーティンの一部に取り入れるようにしました。そうすることで9ヵ月間途切れることなく勉強を継続することができました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法(使い方)(①:教養試験対策、②:専門試験対策、③:人物試験対策)

①教養試験

教養試験に関しては、自分の苦手なところを重点的に押さえていく勉強方法が良いと思います。私は現代文に関しては特に対策せず、数的処理・判断処理に力を入れていました。過去問をどちらも5周はし、特に苦手な分野に関してはアガルート以外の市販の過去問も用いて勉強を行っていました。しかし、アガルートの過去問をすべて解き切るだけでも十分問題の解法を身に付けることができると思います。英文解釈も過去問を解いてみて、不安がある方は大学受験レベルの単語の勉強をしておくとも良いかもしれません。資料解釈は直前に過去問を何問か解き、問題の傾向を把握しておくくらいで十分間に合うと思います。教養試験に関しては数的・判断処理に一番力を入れるべきです。

②専門試験

まず自分に必要な科目と科目数を確認し、講師の方に組んでいただいたスケジュール表を参考にしながら、いつまでにどの科目をどのレベルまでできるようにしておくか、自分で設定していました。専門試験は科目数が多いながら、力を入れるべき科目とそれほどでもない科目が人それぞれあると思うので、自分が志望する試験に合わせた対策をするべきです。私は当初国家一般職を志望しており、専門科目である憲法・民法・行政法などの配

点が高かったため、その3科目と経済学を中心に時間を割いていました。民法や経済学に関しては全く知識がなかったため、最初の頃は苦戦しましたが、講義の動画を何度も見返しながら過去問を繰り返すことで、身に付けることができました。行政学や財政学などは、3科目プラス経済学の勉強の合間に、年明けから着手しましたが十分だったと思います。

③人物試験

自己分析を自分で十分行っておくことが肝要です。自己分析が不十分なまま受けた面接と、そうでない面接とでは自分の中の手ごたえも大きく違いました。また、自分でできる準備をしっかりと行った上でないと、エントリーシートの添削や面接の模擬練習をしていたとしても自分の実にはできるものは少ないと思います。自分にできることをしっかりと行っただうえで、講座の受講に臨みましょう。受講した講座の良かった点としては、エントリーシートの添削と面接の模擬練習が同時に行えることです。模擬練習の中で自身のエントリーシートもブラッシュアップしていただくことができたため、「本番の面接ではこう聞かれたらエントリーシートのこの部分を深掘りして答えよう。」といったイメージをより持ちやすくなり、とても有意義な時間でした。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

平日は隙間時間を意識して勉強に充てるようにしていました。通勤時間ではSNSの代わりに英単語のアプリを開いたり、小説の代わりに参考書を読んだりなどの工夫を行っていました。また、1日のうち何時から～何時までを勉強時間にすると決め、残業などでその決めた時間に勉強を始められなかったとしても無理に後ろ倒して時間数を確保したりはせず、数分でも良いから勉強を毎日途切れることなく続けることを意識して行っていました。足りなかった分は休日に回し、1週間の勉強時間数は落ちないよう気を付けていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期でもそれまでに確立した勉強のルーティンや勉強時間は基本的に変えていませんでした。ただ、それまで力を入れていた数的・判断処理や経済学などのボリュームの大きい科目だけでなく、行政学や政治学などの暗記科目に時間を割くようにしていました。これらの暗記科目は年明けから着手していましたが、試験の直前に過去問を改めて何周か回すことでより記憶を定着させることができ、本番の試験でも得点源になってくれたと思います。

試験期間中の過ごし方

直前期と同様、特別なことは特に行っていませんでした。試験本番から結果通知までだいたい1カ月程度あるため、この期間に気を抜いてしまいそうでしたが、結果通知から面接までは早い場合は1週間程度しかありません。筆記試験は受かっていると信じて、面接の対策をしっかり行うことが大事だと感じました。私は、受けた大学の機関研究や最近の研究実績などを調べたり、大学のSNSや事業報告書もチェックしていました。他には、模擬面接の練習時間に充てていました。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

① 教養

すべての試験においてそれなりにできた手ごたえがありました。全体的に問題は難しくなかったですが、時間との勝負でした。少し考えこんだり、計算間違いをしてつまづいたりすると大きく時間が押してしまうので、基本的にはスムーズに分かる問題をパッパッと解いてしまって、余った時間で残っていた問題に取り組むやり方が良いと思います。

普段の演習問題においても本番の試験を意識しながら、すぐに解ける問題・そうでない問題を自分ですぐに判断できる癖を身につけ、余裕を持った時間配分が行えるよう練習しておく、本番の試験でわからない問題に当たってもそれほど焦ることなく試験を終えることができると思います。特に力を入れていた数的・判断処理で得点できた手ごたえがあったため、安心して試験を終えることができました。

② 専門

専門試験に関してはあまり手ごたえを感じることはできませんでした。私はいくつかの試験区分を受けていましたが、それぞれで難しいと感じる科目が違い、そのたびに自分としては自信を持って試験を終えることはできませんでした。特に民法に関しては、振り返ってみると勉強時間と演習量が足りなかったと思います。

民法に関してはアガルートの過去問のみを使って何周か勉強していましたが、テキスト(教科書)を読んだり復習したりする機会が足りなかったです。そのため、過去問には出てこなかった判例が本番の試験で出てきた際には、「見たことない!」と困りましたが、テキストを確認すると記載されていたため、試験直前でもしっかりテキストも読み込むべきだったと反省しました。

③ 人物

人物試験に関しては、いくつか面接試験を受けるにつれ、選考が進むにつれて手ごたえを感じられるようになりました。

人物試験は事前準備と場慣れ、どちらも必要だと思います。アガルートでも何度か模擬面接をしていただきましたが、すべてリモートでの開催でした。リモートで練習して行っても、実際対面で何名かの面接官を前にするとやはり緊張してしまいます。

しかし、対面面接も何度か行くと場の雰囲気や力の抜き方、面接官と会話することにも慣れてきて、次第に手ごたえを得られるようになりました。私はよく控え室でほかの受験者の方と世間話をしていましたが、内定をいただいた機関からも「そういったときの雰囲気を見ていた。」と評価していただけました。面接前にリラックスできるだけでなく、好印象も与えられるため周りの方に話しかけるのはおすすめです。

合格・内定した時の気持ち

とてもうれしかったです。筆記試験に関しては正直受かるだろうという自信がありましたが、面接試験に関してはすべての対策を網羅できていたわけではなかったため、様々な機関の面接を何度か受けていくたびに、自分の中で反省点が見つかることもありました。

ただ反対に、しっかり練習してきたことが面接の場で発揮できた際には、非常に励みになり、もしだめでも次回の面接に活かそう、と思うことができました。常に前向きに試験期間中を過ごしていたため、自分の頑張りが実を結んだことがとてもうれしかったです。

振り返ってみて合格の決め手

毎日の勉強のルーティンやルールを自分で決め、途絶えることなくやり抜いたことが合格につながったと感じています。最初の頃は、「絶対に1日〇時間勉強する」などの高い目標を立てていましたが、残業や仕事の都合でその目標を到達できないと途端にやる気が落ちてしまうときもありました。公務員試験以外の資格試験にも言えることですが、勉強は1日1日のモチベーションに差をつけず、毎日短時間でも机に向かうことが大事だと思います。自分の生活に合わせた、確実に続けられる目標を立て、それに愚直に取り組むことで合格することができたのだと感じています。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私は国立大学の職員として、大学という教育機関をより育み、発展させる一助になりたいです。なぜなら、大学の発展が社会の発展に繋がると考えているからです。大学の使命とは、研究成果を地域や社会に還元することです。教職員の方々、学生の方々が安心して不足なく研究・勉学に取り組める環境を整えることが大学職員のなすべきことだと考えています。とは言っても、大学職員の業務は、研究支援に関われる部署や教職員の方、学生の方と直接関われる部署だけではありません。大学という機関を運営していくにあたって必要な業務が、多岐にわたり存在しています。どの部署でどのような経験を積めるかは、入職してからのことになりますが、どのような場所に配属されても、そこで任される業務に懸命に取り組み、また私自身もそこで吸収したものを大学や社会に還元していきたいと考えています。

受験生に対するメッセージ

公務員試験は頑張れば必ず受かります。いざ試験勉強を始める前はインターネットで色々調べて不安になったり落ち着かなくなったりするときもあるかと思いますが、淡々とやるべきことをちゃんとやるだけで必ず受かります。安心して挑戦してください。ただ、独学で受験するとなると適切な過去問が分からなかったり最新の受験情報が手に入らなかったりなど、安心して受験をするうえで不便なことが多々出てくるのではないかと考えられます。そういった受験時の不安も含めて解消してくれたのが、アガルトの公務員試験講座でした。最短で確実に試験合格を目指すために最適なものがそろっています。ぜひ一度、足を踏み込んでみてください。皆さんの合格を祈っています。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

社会人 - 地方公務員合格

(都道府県・特別区・市町村)

アガルートアカデミー合格体験記 公務員試験

令和6年度 公務員試験合格

「公務員面接再現レポート」がものすごく参考になった

加藤 将さん

内定先：群馬県 社会人

受講したカリキュラム

教養型対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が公務員を目指したきっかけは、地元へ貢献したいと思ったからです。

私は大学院を卒業後、IT業界へ就職しました。とてもやりがいのある仕事ではありましたが、生まれ育った地元へ戻りたいと思うようになり、公務員である友人などに話を聞くうちに、徐々に公務員というものに興味を持つようになりました。

その時、地元の県では数年前からDX化を推進しているという情報を聞いたので、自身のIT業界での経験を生かして働くことができると思い目指しました。また、私は環境の変化や人と関わるのが好きであり、多様な仕事をしたいと考えているため、異動が多く様々な経験ができ、幅広い職務を通じて県民の暮らしをより豊かにすることに貢献できる県職員に魅力に感じました。

アガルートをお選びいただいた理由

計画を立てるのを手伝ってくれる、実績がある、値段、オンデマンドでいつでも学習できるというのが理由です。

オンデマンドというところは、自分は日中は会社で仕事をしなければいけないので、時間と場所を制限されず自分のペースで学習を進められていけるのがよかったです。

また、自分は何から始めてよいかよくわからなかったのですが、資料請求をした時の資料に進め方がわかりやすく記載してあったり、申し込みをしてから勉強スケジュールやオンライン模擬面接ができるというのもすごく魅力的でした。何より合格実績や合格レポートを見て、アガルートを選びました。

実際、自分は面接がすごく不安でしたが、面接再現レポートなどで過去の合格者が詳細

に書いてくれているので、自信につながりました。

学習の方針と進め方

問題集をひたすら繰り返し、1冊1冊を完璧にしました。(2周目以降は間違えたところ、直前期には再度すべて解いた)

わからない、間違えた問題部分だけ動画の解説を確認しました。

働きながらの受験だったので、とにかく問題を解く時間を意識して勉強を行いました。

自分は面接が苦手なので、面接で予想される質問とその回答、その回答への深掘り、その回答…というように週末は1～2時間面接カードを作成し、ひたすらしゃべるようにしていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

まずは失敗を恐れないことです。大学での研究のなかで、なかなか結果が出なかったのですが、実験をあきらめずに繰り返し、失敗の傾向や得られたデータからより良い条件を得ることができました。

もう1つは作業の要不要を切り分けて継続して改善を行うことです。業務内で外国籍のメンバーが多いため英語で業務を行っていたところ、こちらの意図がうまく伝わらず不具合が発生し、製品リリースに間に合わなかったことがありました。作業進捗が見えるように他のチームが活用しているツールを取り入れ、共有のチャットスペースを作成すること、英語でのコミュニケーション時には誰でもわかる単語を使うことで改善しました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①まずはオンデマンドで学習できること。自分は日中は会社で仕事があるので、時間と場所を制限されず自分のペースで学習を進められていけるのがよかったです。

また、今後の受験までの学習スケジュールを担当の方に立てていただき、それに沿った分野を学習することで、スムーズに学習することができました。基本的にはテキストで学習し、間違えた問題部分だけ動画でピンポイントで確認できるのも良かったです。

③個人的に、「公務員面接再現レポート」がものすごく参考になりました。それをもとに、質問を予想し、面接カードを細かく作成することができました。他受験生の印象やアドバイスなどでインターネットからは得られない情報が得られてよかったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

平日は仕事があるので、出勤前の1時間、退勤後の1時間は必ず確保するようにしていました。土日は起床後3～4時間集中して昼食、その後4～5時間学習を行っていました。月に2回程度は日曜日は学習せず自由に過ごす1日を設けていました。

集中できない時には地域の図書館やカフェで気分転換がてら勉強したり、ジムに行って体を動かしたり、散歩をしていました。

たまには休んでもいいという心構えで根を詰めすぎず学習を進めていました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期には平日は出勤前の1時間、退勤後の3時間、休日は10時間学習を行いました。筆記試験前は、必ず問題を解くスピードを意識して（時間を計って）問題を暗記するくらいテキストを繰り返し解きました。人物試験前は、「公務員面接再現レポート」を参考にしつつ、面接で予想される質問とその回答、その回答への深掘り、その回答…というようにひたすらどんな質問が来ても答えられるくらいになるまで考えました。あとは、座った時の姿勢とはきはき話すことを意識しました。

試験期間中の過ごし方

筆記試験までは、とにかくスピード感を意識して繰り返しテキストを繰り返しました。人物試験までは、面接カードを考え、面接練習をする以外は、友人と遊んだり運動をして過ごしました。試験が終了して、結果待ちの期間は、次に受験する市の勉強をして過ごしました。結果待ちはずっとドキドキして何回もメールを確認していたので、勉強と仕事に没頭することで気を紛らわせていました。個人的には、たまに何もしない日を作ってリセットすることも大事だと思いました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①問題集と同じような解法で落ち着いて解くことができ、正答率の高い自信がありました。時間を計りながら学習していたおかげで、本番も時間を意識して解答することができました。

③自分は社会人経験があり、目上の人と話す機会が多かったので、自信をもってはきはきと受け答えができ、面接官の表情にもこやかであったので、手ごたえを感じました。仕事でのエピソードや、やりたい仕事を中心に聞かれたので、自分の仕事に対する考えを正直に話したところ、共感をえられたと感じました。また、面接カードを詳細に作成し、練習を行ってきたので、回答に詰まることなく、はきはきと端的に緊張することなく回答することができ、良い印象を与えることができたと感じました。

合格・内定した時の気持ち

自分は仕事をしながらの受験であったため、プライベートの時間が確保することが難しく、将来のことも不安だったため、これで思い切り自由な時間を過ごせる、地元で働くことができると思い、とにかく嬉しかったと同時にすごくほっとしました。また、今まで頑張ってきたことに対して合格という結果で返ってきてすごく充実した気持ちでした。これからは公務員という責任ある立場となるため、それを忘れずに励んでいきたいと思いました。

振り返ってみて合格の決め手

筆記試験に関しては、テキストを繰り返し解いたこと、時間を計ってスピード感をもって練習したことがよかったかなと思います。人物試験では、面接重視の配点であったので、新卒の方たちよりも勉強時間で劣っていると思ったため、社会人としての経験を活かし、

仕事で大切にすることや未来へのビジョンをより具体的にイメージでき、それらをもとに面接カードを詳細に作成したこと。また、はきはきと自信をもって話す練習をしていたことが決め手だったかなと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

県のDX推進事業、特に行政サービスのデジタル化と効率化とデジタル教育・人材育成の推進に関心があるため、そこに関連した業務に携わり、地域産業のDX化や地域産業の人材不足解消などを実現したいと考えています。

民間企業での経験を活かして、より良い情報の共有・効率化手法や行政手続きの簡素化を模索して改善することに取り組んでいきたいと思っています。また、電子申請受付システムなど、だれでも便利に様々な申請が行える一方、ご年配の方やPC操作に不慣れな方にはまだまだ難しいと思うので、私は地域住民向けのデジタル教育プログラムの実施、伝統産業や中小企業のデジタル化支援などに携わることによって、地域のデジタル化推進・人材育成に取り組みたいと考えます。

受験生に対するメッセージ

自分は民間企業に勤めながら公務員試験を受けるというレアなケースだと思います。新卒の方たちより社会人としての経験（目上の人と面接する機会など）が多分にあります。なので、多分ほかの受験生よりは緊張していなかったと思いますが、これは経験なので、模擬面接だったり、大学のキャリアセンター（自分の民間企業受験時）などを活用すればうまく自分のことが自信をもって話せるようになると思います。面接で質問されることもいわゆる「自己分析」なので、ありきたりな答えではなく、自分のどの「スキル」が自治体の「どこ」にメリットがあるかを具体的に経験から示せるようになれば面接官の興味を引けますし、深掘りされても素直に答えることができると思います。アガルトの面接再現レポートには参考になる情報がたくさんあります。頑張ってください！

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

1年前の受験は全落ちし、無職のまま再挑戦

井料 理佐さん

内定先：大阪府庁

社会人

受講したカリキュラム

教養＋専門型ワイド対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私はこれまで複数の会社で働いていました。転職活動で、初めてハローワークを訪問した際、失業保険の給付や職業相談を受けたことがありました。初めてハローワークを利用することに不安を感じていましたが、どの職員さんも優しく対応してくださり、前向きに転職活動を進めることができました。この経験から、私は生活を送る上で困っている人のサポートになれる仕事に就きたいと考え、公務員を志望しました。

また、公務員は毎年、採用試験が実施されているため、人が途切れていないことです。前職では、問題に直面した時に相談できる人がおらず、1人で問題を抱えながら仕事を進めることが多かったです。公務員の説明会では、働いている人の雰囲気や相談のしやすさなどを聞き、どの官庁でも周りの職員に相談しながら業務を進めていくことができると仰っていたので、安心して仕事ができることも公務員になろうと思ったきっかけの1つです。

そして、公務員に転職したいと考えた時が28歳の時なので、大卒程度試験では年齢制限にまもなく達してしまうことから、ラストチャンスに賭けようと決め、公務員を目指すことにしました。

アガルートをお選びいただいた理由

私は2年かけて公務員の試験対策を行っており、1年目は大手予備校、2年目はアガルートと問題演習のゼミを行っている予備校に通っていました。

アガルートを選んだ理由は2つあり、1つ目は通信教育でありながら定期カウンセリングがあるので、計画的に勉強を進めることができること、2つ目は内定を貰えたら受講料

金が全額返金されることです。

1年目に通った大手予備校が合わず、2年目は別の予備校で勉強しようと思っておりました。アガルートは1年目に受験する際に資料請求をしていたこともあり、どのような予備校であるか大体理解していました。通信教育は過去に別の会社で受講したことがあるのですが、教材を貰ったものの勉強せずに放置してしまい、計画性が無い私には不向きだろうと思っていました。しかし、アガルートではオプションで定期カウンセリングを受講することが可能なので、サボらずに勉強できると思います。毎月、カウンセリングの機会があるので、先月より学習を進めていないと自分自身が恥ずかしい思いをするので、この定期カウンセリングのおかげで通信教育でも勉強することができました。

2つ目に、アガルートには全額返金制度があります。1年目で大手予備校に大金を支払ったものの全落ちしてしまったこともあり、内定を頂けたら全額返金制度があることに魅力を感じ、受講することに決めました。

学習の方針と進め方

1年目で一通り勉強を終えていましたので、苦手に感じていた科目から授業を受けておりました。1つの授業が1時間以内に取まっているので、集中力を切らすことなく受けることができ、その後すぐに問題演習をすることができるのが良かったです。他の予備校だと授業自体に3時間ぐらいかかるところもあるので、授業だけで集中力がなくなることや問題演習に時間を取れないことが多くありました。

面接対策は、筆記試験前までは勉強の合間に自己分析や面接カードの内容を考える日を設けていました。私の場合は日々やるより、この日にやるぞと決めてその日に集中してやる方が向いていました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

裁判所事務官の試験後、自己採点をしたところ昨年より点数が取れておらず、再チャレンジなのに今年もどこにも合格できないのでは無いかと不安と焦りが出てきました。その状態で受けた定期カウンセリングで講師の方に「このままだったら全部落ちるよ。」と言われてしまい、とてもショックを受けました。（このことを言った講師は私を鼓舞するつもりで言ったと思います。）なんでそんな風に言われなきゃいけないんだとか、色々な気持ちが渦巻きましたが、結果を変えることはできないので、気持ちを切り替えて次の試験に向けて、勉強をしました。また、全落ちすると聞いた講師を絶対見返してやると心に決め、それを勉強する場所から見えるところに書いて貼っておき、辛くなったらその時の気持ちを思い出して、日々の対策に取り組んでいました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

数の処理は主に数的推理と判断推理、図形の問題で使用していました。資料解釈は得意

分野だったこともあり、日々の勉強ではあまり使用していなかったです。資料解釈以外の分野を毎日各2～3問ずつ解いていました。

社会科学は専門科目と重なっているところは授業を受講せず、それ以外の分野を一通り受講しました。

時事対策は、教養論文については、書き方のコツの動画を視聴し、実践は他予備校の講座を受講しました。

②専門試験対策

1年目で1通りの科目は学習していましたが、苦手な民法や経済学について先に学習を始めました。これらは、授業を受講してから問題演習を行うようにしていました。他の科目については初めから問題演習を行い、分からなかったところをテキストで確認していました。学系科目は、覚えないといけないところが多く、少しでも知識を習得できるように「remINDO」という暗記アプリに問題を打ち込んで、毎日触れられるようにしていました。

どの科目でも言えることですが、同じ問題集を何度もやり込むことが大事だと思います。ただ、何周したかが大事なのではなく知識をつけることが大事なので、周回についてはあまり気にしないでいいと思います。

③人物試験対策

問題演習のゼミを行っている予備校の学習内容の中に面接対策も含まれており、対面で行ってもらえることから、そちらを多く利用しておりました。

アガルートでは1度、国税専門官試験の人物試験前に模擬面接練習を行いました。私はこの時にパソコンのカメラが上手く起動しないことが分かり、その後の自治体のオンライン人物試験までに解決することができました。最近では、オンラインで人物試験を行うところも増えていますので、もしオンラインで人物試験がある場合は必ず、オンラインでの模擬面接練習をすることを強くオススメします。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

仕事をしていないこともあり、1日中勉強時間に充てることが可能でした。しかし、ずっと勉強していると気が滅入ることもあり、6時間ほど勉強できたら良しとしていました。午前中に2時間程度、午後に3時間程度、夕食後に1時間程度勉強していました。

午前中に数的処理や経済学の勉強を行い、午後は法律系や学系の勉強を行っていました。私は家で集中して勉強できるタイプではなかったので、図書館や生涯学習センターの自習室で勉強をしていました。家の近くに何ヶ所もあり、その日の気分で場所を変えながら勉強していました。図書館や生涯学習センターは、自治体が運営しているので無料で利用でき、お金がかからないところが有り難かったです。また、周りも集中して勉強されている方ばかりなので、良い刺激になりました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

気をつけていたことは、早起きを続けることと風邪などを引かないように体調管理をしっかりやっていくことです。2023年の年末にコロナに感染し、直前期ではなかったので

良かったもののインフルエンザなども流行っている時期だったので、家族にもなるべく外食などしないように試験が終わるまで協力をお願いしていました。

勉強は、他社の教材を週に1回程度解いていました。それ以外は、普段の勉強と変わりなく日々取り組んでおりました。

試験期間中の過ごし方

どの試験でも必ずと言っていいほど、昼休み中に午前に行われた試験の出来を話す人たちがいます。私はそのような会話が聞こえると精神的に不安になりやすいタイプなので、イヤホンをして好きな音楽をかけながら、次の試験の準備をしていました。直前に見直すためのまとめノートみたいなものを作り、それを何回も見ていました。また、眠気対策に会場内を散歩して少し体を動かすのもリフレッシュになり、オススメです。試験が終わった日は、母が作ってくれた夜ご飯を食べ、家族との団欒をしてゆったり過ごしていました。次の日から、控えている試験の勉強や面接対策に取り組んでいました。

受験した時の手ごたえ (①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験)

①教養試験を受験した時の手ごたえ

国家系の試験では2024年から大幅な変更がありました。そのため、とにかく時間が足りなかったです。前年にも試験は受けていましたが、2024年の方が圧倒的に時間は足りなかったです。裁判所試験は、時間が長めに設定されているので、時間が足りないと感じることは無かったです。試験の出来は、どの試験でも体感半分ぐらい取れていたらいいい方という感じでした。

大阪府庁は、SPIペーパー方式のテストでした。こちらについても大量の問題を短時間で解き切るのは難しかったので、早く解けるところを選んで解答していました。体感6割から7割ぐらいの正答率だったのではないかと思います。

②専門試験を受験した時の手ごたえ

<試験時間について>

裁判所試験は試験時間が短めなので早く解かなければならず、焦りがありました。国税専門官試験と国家一般職試験は試験時間が長めなので、見直しもしっかりすることができ、余裕がありました。

<問題について>

裁判所試験と国家一般職試験の経済学の問題が難しく感じ、結果かなりの失点をしてしまい1次試験を通過できませんでした。国税専門官試験に関しては、必須解答の民法でかなりの失点をしたものの、教養試験で7割を取ることができたので、1次試験を通過できました。国税専門官試験の次の週が国家一般職試験となっており、私は民法の出来があまり良くない事に不安を感じていましたが、本番では民法ⅠとⅡ合わせて8割の正答率だったため、その時の試験問題の相性もあるのかなと思いました。また、直前で知識の総復習も行ったことも良かったのかもしれない。

<私からのアドバイス>

国家一般職を第一希望にされている方について、私から2つアドバイスがあります。1つ目は、学系科目を多めに学んでおくことをオススメします。私は憲法、民法Ⅰ・Ⅱ、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経営学、教育学の9科目を用意していました。しかし、先述した通り経済学が難しくなっていたため、どちらかは解かざるを得ず、結果的に大量の失点をしてしまい、1次試験を通過することができませんでした。ですので、できるだけ多くの科目を用意できるように幅広く勉強しておくことをオススメします。2つ目に、勉強したことのない科目でも問題を見て解いてみることです。SNS上の情報なので信憑性には欠けますが、国際関係の問題がわりと簡単だったというのを拝見し、学んだことのない私でも解けるのかなと試験後に解いてみたところ、5問中4問正解することができました。もし、本番の試験で国際関係を解いていたら、1次試験は通過できたかも知れないと思い、とても後悔しました。ですので、勉強したことのない科目でも他の科目で学んだ知識で解ける場合もあり得ますので、勉強してきた科目が思うように解けないと感じたら勉強したことのない科目の問題を見て解いてみる、というのをやってほしいと思います。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

どの試験でも、手応えというのは感じなかったです。受かっているのか、落ちているのかが本当に分からず、結果が出るまでは不安でした。しかし、終わったことを変えることはできないので、次の試験に向けての準備をすることで気持ちを切り替えていました。また、どの試験でも終わった後に何を聞かれたのか、スマホのメモに入力していました。これは次の試験で同じような質問が来た際に、回答がブレないようにするためと自分の頭の中を整理するために行っていました。

合格・内定した時の気持ち

国税専門官試験の最終合格を見た時は、母と共に大喜びしました。ここまで頑張って良かったという気持ちが大きかったです。また、国税局からの内定が出た時は、4月から働く場所が決まって良かったという安心感が大きかったです。大阪府庁の時は、最終合格＝内定なのかが分からず、最終合格したものの内定を貰えなかったらどうしようと不安でいっぱいでした（笑）。2月初旬に、4月1日に行われる任命式の案内が届いて、大阪府で働くことができるんだとホッとした気持ちになりました。

振り返ってみて合格の決め手

最後まで諦めないことだと思います。2023年に初受験しましたが全落ちし、無職のまま2024年の試験に挑みました。正直、今年受からなかったらどうしようと不安でいっぱいでした。しかし、不安だからと言って、何もしないわけにはいきません。勉強系を配信しているYouTubeの方が、「不安は勉強でかき消すしかない」と言っているのを見て、「私だけがやっているんじゃない。みんなやっているんだから。」と鼓舞しながら、日々筆記試験対策や面接対策に取り組んでいました。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

公務員として実現したいことは、府民および職場の人など、多くの人から信頼される公務員になることです。これまでも社会人を経験し、この考えは常に持っていました。公務員にはより必要な考えではないかと思います。公で働く者として、業務で取り組むことが府民の生活に直結すると考えると、非常に大きな責任と私に務まるのだろうかと不安になります。1人で抱え込まず周りを巻き込みながら、業務に取り組んでいきたいと思っています。

私は大阪府庁に入庁するので、あらゆる部署を経験できるのではないかと思います。特にその中でも興味があるのは、就業支援対策や税金関係の業務に興味があります。しかし、どの業務も府民の生活に関わる場所ですので、意欲を持って取り組んでいきたいです。

受験生に対するメッセージ

私から2つお伝えしたいことがあります。

1つ目は、最後まで諦めないことです。公務員試験は本当に長い戦いです。1年未満で結果を出す方もいますが、長い方だと数年かけて合格される方もいらっしゃいます。民間企業から早期に内定を貰い遊んでいる姿を見たり、働いてパートナーと共に生活をしたりなど、まわりの人の生活が充実しているように見え、羨ましく思うこともあるかも知れません。実際、私も何度もこのような気持ちになり、「何で自分だけ勉強しているんだろう」と思うこともありました。しかし、それに引っ張られすぎではいけません。公務員試験に合格したらいっぱい遊ぶなど、羨ましい気持ちを試験対策へのエネルギーに変えてほしいです。

公務員試験は、合格や内定に対して諦めなかった人だけが辿り着くことができる試験だと私は思います。今、公務員試験を目指されている方には、途中で諦めたりせず最後まで頑張ってください。

2つ目に、面接対策を怠らないことです。他の予備校で問題演習を行うゼミに通っており、私と同年の2人の友人がいましたが、結果は私しか最終合格をしていませんでした。その可否を分けたのは、面接対策だと思います。筆記試験対策は私より2人の方がしており、1次試験を通った数も2人の方が多かったです。

私は12月ごろから少しずつ、自己分析や面接カードを書いたりするなどの準備を行っていたおかげで、1次試験が終わってからすぐ実践に移すことができましたし、想定問答も試験ごとに作成することができました。公務員試験は筆記試験だけでなく、面接対策も重要です。できたら年内のうちか、遅くとも1月ごろから筆記試験の隙間で対策を始めると効果的だと思います。

最後に、体調管理には気をつけてください。気が滅入ることがあっても睡眠と食事は必ず摂りましょう！長くなりましたが、皆さまが希望の就職先に進まれることを心から願っております。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

自由記載欄（講座のご感想、講師へのメッセージ等）

小林先生

本当にお世話になりました。カウンセリングでは、「大丈夫。ちゃんとやってるから。」
といつも励ましてくださり、本当に心強かったです。先生の法律系の授業はどれも分かり
やすかったです。

公務員になってからも、日々頑張ってます。

先生もお身体に気をつけて、お過ごしください。

令和6年度 公務員試験合格

面白く、ストレスなく授業を受けられた

前田 響史郎さん

内定先：葛飾区役所

社会人

受講したカリキュラム

教養 + 専門型スタンダード対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が公務員を目指すようになったのは、小学生のときです。当時、家庭の諸事情により母が経済的に困窮していた際、区役所の方々に大変お世話になりました。家賃補助制度や家賃補助、その他補助金等の経済的支援を受け、区役所の方に暖かい言葉をかけてもらったことをきっかけに公務員、特に区役所職員になりたいと思うようになりました。その後、高校生になってから、虐待を受けた母子家庭が一時的に保護される母子生活支援施設でボランティアをした経験を通して、施設の予算は区役所であらかじめ決められていて、施設が母子家庭に対し施すことのできるサービスや制度が限られている事実を知り、単に生活支援施設にとどまらない虐待防止・根絶に取り組みたいと思い、より一層区役所職員になりたいという思いが強くなりました。

アガルートをお選びいただいた理由

CMでよく流れ、街中でポスターをよく目にしていたからです。アガルートの授業料は他の著名な公務員予備校の授業料に比べると安く、クーポンも充実しておりさらに授業料を安くできるのも理由の一つです。公務員予備校を探していたとき、私は貯金がまったくなかったため、金銭的負担が軽い状態で公務員試験の授業を受けられることは大変ありがたかったです。また、何点か条件があるが試験に合格できれば既に払った授業料を全額返金という制度もあるため、入省後何かとお金が足りなくなる時期に数十万円が振り込まれるのはお得だと思い、アガルートにしました。他にも、パソコンやスマートフォンで講座で使用するテキストをすぐ見ることができるのは非常に便利で、大変役立ちました。

学習の方針と進め方

講座を5～10連続して受講しては、講座の内容に関する過去問を解いて知識を定着さ

せました。講座を全て見終わった後は過去問をひたすら解いては間違えた問題を復習を繰り返しました。間違えた箇所はグーグルのkeepメモに正確に記録し、スマホさえ手元であれば、間違えた問題やなかなか暗記できない文言・判例を復習できるようにしました。当然、過去問を全問正解できるようになったとしても、実際の試験で一語一句そのまま出るということは考えられないですし、過去問を解いてさえいれば容易に合格できると自分の実力を過信しないようにするために、模試を合計3回受けました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

憲法や民法といった法律ならまだしも、経済学や経営学といった民間の専門職に就かないかぎりまったく利用することのない学問を、試験を突破するためとはいえ勉強することが苦痛で、勉強するモチベーションを保つことが難しかったです。面倒くさくてこれらの科目の勉強を放棄していた時期もありました。しかし、再開まで時間がかかっても、自分がなぜ公務員特に区役所職員になりたいのかその度に思い出し、ひとりで自分を奮い立たせました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

問題数が充実していたので、飽きることなく問題を解くことができたので、よかったと思います。

②専門試験対策（※該当者のみ）

問題集の問題数が充実していたことはもちろんのこと、講師の教え方が面白く、ストレスなく授業を受けられたので、モチベーションを保つことができてよかったと思います。

③人物試験対策

通信講座のため映像で面接時の所作や質問への答え方を学ぶしかありませんが、その分合格者の体験談とテキストは充実しており、オンライン模擬面接も講師の都合さえあれば何回でも受講できるため、大変役立ちました。また、私は既卒のため、面接で民間との違いや併願状況等を面接官から質問されると思ったため、アガルートから支給された就活対策本も参考として読むことで、回答例を考えやすくなり、ありがたかったです。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

私は既卒で、公務員試験を受験しようと決心したときにはすでに期間業務職員として省庁で勤務していたため、お昼休みや通勤中、退勤中などの数十分の隙間時間を、グーグルのkeepメモに記録しておいた間違えた問題やなかなか覚えられない判例等を読んだり、スマホにダウンロードしておいたアガルートの授業をもう一度みたりして復習を行っていました。平日は3時間以上、土日祝日は7時間以上勉強する時間を確保するよう、スケジュール管理も徹底しました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期には、これまで頻繁に間違えてきた問題を復習し、限られた時間のなかでできる限り復習に時間を割きました。また、インターネット記事やテレビのニュース番組、SNS、その他種類を問わず話題になっている社会問題等をざっくり見て、参考書にとどまらない時事問題対策をし、教養論文で自分の把握していない分野について論述を求められたときでも、対応できるようにしておきました。体調を整え、自宅から試験会場までのルートも頭に叩き込みました。

試験期間中の過ごし方

過去問集を数冊試験会場に持っていか迷ったものの、たくさん持って行ったのに結局読まないということも考えられますし、試験が終わったあとは荷物になるだけだと思い、スマホと筆記用具と試験の問題冊子を入れるだけのバッグだけで試験に臨みました。休憩時間ごとにkeepメモをざっと確認し、途中からメモに記録していたことをがむしゃらに暗記するのではなく、何も見ないでどっしり構えていたほうが精神的にいいのではないかと思います。区役所職員になった後にしたいことを想像していました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

私が受験した年は、特別区の試験を受けに来たはずなのに、間違いなく国家総合職で出題された過去問と酷似した問題が出題され、出鼻をくじかれました。幸い、試験の1ヶ月前に漠然とした不安に駆られ国家総合職の過去問を解いていたため、数的処理と判断推理の問題には対応できましたが、教養問題には太刀打ちできず、自信を喪失しました。

②専門試験を受験した時の手ごたえ（※該当者のみ）

過去問でよく復習していたところと似たような問題が数問出題されていたため、何とか問題を解くことができました。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

4回区面接で不選択になり意気消沈しました。しかし、5回目の区面接の際、面接シートの内容のほとんどをボランティアに関する質問にすることでしつこいほどに一貫性をもたせることで、面接官が私の面接シートを隅々まで読ませるようにし、特技の欄に目立つ内容を書く等、自分の人となりやを少しでも知ってもらえるようにしたので、合格できたのではないかと思います。

合格・内定した時の気持ち

非常にうれしかったです。新宿区、板橋区、港区、中央区の区面接を受けては不選択になり、年をまたいで5回目の葛飾区の区面接においても不安でいっぱいでした。最低1回、最大で4回は区面接を実施しているわけだから倍率が非常に高いに決まっている。8月に内定をもらった受験生がいるというのに自分は何をしているのだろう。そんな負の感情に支配されていたため、区役所職員として働きたいと思いつつ、今回の面接も不選択になる

だろうと、正直諦めていました。そのため、内定の電話を採用担当者から頂いたとき、これまでの自分の取組みが評価されたようで、気持ちがよかったです。

振り返ってみて合格の決め手

まず、一次試験に関しては、復習の時間を十分確保し、幅広くニュースに触れて時事問題と論文試験の対策を行ってきたことだと思います。次に、面接に関しては、面接官も自分と同じ人間ということを4度の失敗を通して身をもって理解したからではないかと思います。というのも、たとえどんなに素晴らしい活動をしていたとしても、面接官、つまり人に理解されなくてはただ長い話しをしている人と見なされますし、失敗を経験したけど公務員に絶対なりたいと訴えても、一貫性がなければ疑われてしまうと思ったからです。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

虐待減少、最終的には虐待の根絶を目指したいです。虐待という社会問題は少子化や高齢化、DX等と比べるとネガティブな印象を受けられ、どうしても人から理解されず、虐待を受け親にベランダで放置されたせいで死んだという事件や、洗剤を飲まされて殺された乳児の事件が報道されたときに、一時的に取り上げられる程度で終わってしまいます。しかし、虐待は年々増加しています。虐待を受けなければ幸せになれたはずの人々、特に子どもが無慈悲に苦しみ、家族を通して子どものころに自然と身に着けられるはずの自尊心や感情のコントロールができなくなってしまうのです。行政や民間の期間に保護され虐待を受けなくなっても、その後の人生や価値観に悪影響を与え、自分の存在に価値をみいだせないまま誰にも打ち明けられずに一生を終える人々がいます。私はこのような凄惨な現状をボランティアで知ったため、区役所で虐待を受けた世帯の保護にとどまらない虐待防止に取り組みたいです。

受験生に対するメッセージ

<一次試験>

- ・過去問が解けなくても諦めない。
- ・模試から逃げない。
- ・模試は最低2回受験する。
- ・専門科目のある公務員試験を受験する場合、1～2ヶ月一生懸命に勉強しても理解できない科目（ミクロ経済学やマクロ経済学とか）がある場合、時間の無駄だからほかの科目を勉強する。

<面接>

- ・学生の場合は学生生活を充実するようにし、既卒は勤めている会社や法人で実績をつくること。そうしないと、面接で話す内容がなくなってしどろもどろになる。たとえば説得力のある内容を言っていたとしても、話が長かったり、話が分かりづらかったり、ましてはその内容に関連した活動をしていなければ、面接官も人だから興味関心がなくなる。

- ・広報を読んでいなくても街歩きをしていなくても、面接官の前で一貫したことを基本
明るく堂々と話していればどうにかなる。

民間企業向けの就職活動について

①民間企業向けの就職活動はしましたか？

はい

②どのような業種・職種を志望されていましたか？

財団法人、社団法人、公益法人

③公務員試験の対策と並行していくにあたって工夫したことや大変だったこと等ございましたら、ぜひお聞かせください。

とくにない。

令和6年度 公務員試験合格

デジタル区分の受験が合格の決め手

山下 恵生さん

内定先：横浜市

社会人

受講したカリキュラム

教養 + 専門型スタンダード対策速習カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私が公務員を目指したきっかけは、長期的に働くことのメリットがあるのが公務員だと思ったからです。

私は、すでに転職を2回経験しており、次の就職先を最後にしたいと考えていました。

そう考えた時に、給料や退職金などが条例で決まっているのである程度未来の収入が予想できたり、福利厚生が整っていたりする公務員が長期的に働くことでメリットがあり良いと思いました。

他にも、部署異動があるので様々な分野の仕事が経験できて飽きがこずに長く続けられそうとも思いました。

また、前職を短期離職して職歴にブランクがありましたが、このような経歴があっても試験を受けるチャンスがあることが公務員試験の何よりのメリットだと感じたため公務員を目指しました。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートを選んだ理由は、当時の自分の状況に合った内容ということと料金が比較的安く内定特典があったことです。

まず現地に通う予備校と比べた際に、12月から勉強を開始する予定だったため時期が合わず、専門科目などを始めから勉強するのは難しそうだったことと料金が高かったのでやめました。次に他のオンライン予備校と比較した際に、アガルートはオンライン講座とテキストで自分のペースですすめることができ、通常のカリキュラムとは別に速習カリキュラムがあり12月から勉強を進めるうえで効率的だと思いました。また、模擬面接やエントリーシートの添削が受けられるということと、なんといっても内定特典で全額返金と

いう他の予備校には無い制度があったためアガルートの受講を決めました。

学習の方針と進め方

当時特別区を目指しており、過去に技術系の公務員試験を受験していたため、教養科目の比重を下げて専門科目を中心に勉強しました。

受験予定の専門科目の講座とテキストと問題集は最低一周できるように進めました。専門科目は3科目くらいを並行して飽きがこないように勉強していました。

教養科目は、数的処理と判断推理を中心に進めていき、他の科目は人文科学は勉強せずに、社会科学と自然科学を最低一周できるよう勉強しました。

横浜市の一次試験はSPIだったので1ヶ月くらい前に集中して対策しました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

失敗経験は年末年始期間をはさんで2週間ほど全く勉強に手をつけられなかったことです。

日が経つにつれて、昨日も勉強しなかったという後悔でやる気がなくなっていました。

そこで、これまでは休養期間と割り切り必要な時間だったと思い込むことにして、勉強を再開することができました。そして、勉強を進めていくうちにやる気も出てきて、試験当日まで勉強を続けることができました。

このように、一度勉強を中断してしまっても、なんとか気持ちを奮い立たせて毎日少しでも勉強すれば、自然とやる気も出て勉強を続けることができますと思います。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

数的処理と文章理解は問題数が多く、多くの出題パターンが網羅できると思います。

まずは自分で問題を解いてみて、解説テキストを見ても分かりづらい箇所などを解説の動画で確認していました。

社会科学や自然科学は重要な問題やテーマがピックアップされていて、テキストがインプットとアウトプットが一冊でまとまっているので、コンパクトで良いと思いました。

②専門試験対策

メイン科目である憲法・民法・行政法・ミクロ経済学・マクロ経済学の講義動画があることで非常に理解しやすかったです。憲法・民法・行政法は講義動画を見て、その範囲までの問題を解くようにしてました。ミクロ経済学とマクロ経済学は講義動画で問題の解説もあるので、講義中心に進めました。

政治学などの学系の科目は、テキストに要点がコンパクトにまとまっており、進めやすかったです。

③人物試験対策

模擬面接とエントリシートの添削をしてくれるところが良いと思いました。

また、公務員面接再現レポートで、面接の雰囲気をつかめるのも良いと思いました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

前職を退職してから勉強を開始したため、約3ヶ月くらいは1日フルで学習時間を確保することができました。その時は、1日最低5時間を目安に専門科目の勉強を進めました。

基本的に家で勉強してましたが、たまに気分転換もかねて図書館で勉強しました。

予定があり、まとまった勉強時間をとれない期間は、スキマ時間を徹底的に活用して専門科目を中心に勉強しました。また、睡眠時間をしっかり確保して、夜更かしをしないことを意識していました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

横浜市の一次試験はテストセンターでのSPI受験だったため、SPIの非言語問題・言語問題ともに市販のテキストを繰り返し解いていました。言語問題については、YouTubeなども活用してスキマ時間に何回も聴いて覚えるようにしました。

一次試験の当日はいつも通りに日常の一部のような心構えで臨みました。

最終試験は面接でプレゼンテーションもあったので、主にプレゼンテーションの練習を行っていました。

最終試験の当日に、声がちゃんと出るように発声してプレゼンテーションの練習を行い、ハキハキと明るく話すことを意識して臨みました。

試験期間中の過ごし方

横浜市の一次試験から最終試験までの期間は約3週間あり、特別区の一次試験直前でもあったため、特別区の試験対策を中心に勉強して過ごしていました。特別区の一次試験が終わった後、5日後に横浜市の最終試験だったので、面接の予想問答集の作成やプレゼンテーションの原稿作成と時間を計って発表練習をしていました。

また模擬面接を受ける時間が確保できなかったため、公務員面接再現レポートなどを参考に面接のシミュレーションを想像で行っていました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手応え

横浜市の一次試験がSPIだったのでテストセンターで受験しました。

言語問題では長文読解が2問以上出題されれば高得点、非言語問題では判断推理が半分くらい出題されれば高得点という話を聞いていた中で、長文読解は1問、判断推理は数問しか出題されずに解答にも自信がなかったため、手応えは悪くあまり結果には期していませんでした。

②専門試験を受験した時の手応え

横浜市では受験していないので割愛します。

③人物試験を受験した時の手応え

横浜市の最終試験がプレゼンテーションと面接でした。

プレゼンテーションは、準備してきたことが概ね話せて時間内に終えることができたので、そこそこ良かったのではないかと思います。

面接では、想定外の質問や準備してきてなかった深掘りなどに対して、言葉が詰まったり具体的に答えられなかったりして上手くできたとは言えませんでした。

総合的に合格・不合格が五分五分くらいの手応えでした。

合格・内定した時の気持ち

次の就職先が決まってない状態で最終合格という結果を知ったので、すごく安心してホッとした気持ちが強かったです。

合格・不合格が五分五分くらいの手応えだったので、合格発表直前までドキドキしていました。そのせいもあって、結果を知った時はホッとしてひとつ解放されたという気持ちでした。

そして、ひとつ合格して内定先を得たということで、自信を持つことができて、併願先の試験にも気持ち的に余裕をもって臨むことができました。

振り返ってみて合格の決め手

学習スケジュールの相談を利用して、デジタル区分の受験を決めたことが合格の決め手だと思います。当時、横浜市の春実施枠で事務区分を受験しようと思っていましたが、自分が持っている資格と経験を活かせるようなデジタル区分の試験があることを見つけました。

そこで、アガルトの学習スケジュールの相談を利用した際に、どちらを受験するか迷っていることを相談したところ、デジタル区分の方が合格率が高そうとのことだったので、それを参考にデジタル区分の受験を決めました。

そこで受験の方向性が定まったことで、併願先の試験対策も効率的にできたと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

横浜でDXの推進とデジタルデバイドの解消に取り組みたいです。

横浜市には一般のホームページとは別に「横浜DIGITAL窓口」というホームページがあります。私が知る限りDX関連専用のホームページがある自治体は横浜市だけで、それくらいDXに力を入れているということだと思います。

そこで、今までの社会人経験やシステムエンジニアとして働いた経験を活かして、横浜市のDX推進やデジタルデバイドの解消に貢献していきたいと考えています。

DXを推進して住民の方々が利用する手続きなどのサービスをデジタル化しても、情報機器の操作に不慣れな人がデジタル化されたサービスを利用できなければ効果が薄まります。こういったデジタルデバイドの解消に携われるのが行政機関だと思うので、機会があれば挑戦したいと考えています。

受験生に対するメッセージ

新卒で公務員を目指している受験生へ

公務員試験は結果が出るのが民間に比べると遅くて、焦ってしまうかもしれません。

民間と併願するか迷うときもあると思います。

民間で先に内定を貰って、公務員試験へ専念できると考えれば私自身は民間との併願もありだと思います。

いずれにしても自分の最終目標を決めて、最後まで悔いのないように頑張ってください。

既卒または社会人で公務員を目指している受験生へ

職歴に短期離職やブランクなどあっても受験資格さえ満たしていればチャンスがあるのが公務員試験です。

公務員を目指す理由は色々あると思いますが、諦めなければ必ずチャンスはあります。

社会人で働きながら受験する人は大変だと思いますが、計画的にコツコツと試験対策を進めれば合格に近づくと思います。

受験できるチャンスを活かして頑張ってください。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

3年の職歴がある26歳での受験

池田 勇太さん

内定先：鹿嶋市役所

社会人

受講したカリキュラム

教養 + 専門型スタンダード対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

父親が国税専門官であり、幼いころから公務員は身近な存在であると同時に、公務員特有の柔軟性の低さを感じる機会も多々ありました。結局、新卒の就職活動では公務員試験を敬遠し、インフラを扱う民間企業に就職しました。その会社で、自治体発注の仕事を請け負って業務をする機会がありました。自治体の腕章を身につけて現地で作業をおこなった際に、住民の方々は我々を自治体職員だと誤識し、舗装が悪いだのカーブミラーを修理してほしいだの、様々な要望をおっしゃりました。私は自分の住む街に対して要望を告げたことはいまだでなかったので、街に対する熱意をもつ住民がこれほどまでに居ることに大変驚きました。しかし、我々は所詮一民間企業でしかないので、住民の要望に応えることができず、もどかしい気持ちを感じました。そのため、住民に最も近い市役所職員となり、そのもどかしい気持ちを軽減したいと考え、公務員を志望しました。

アガルートをお選びいただいた理由

アガルートが開講している測量士の講座を受講し、わかりやすいテキストと解説動画で無事に測量士試験に合格したことから、私の中でのアガルートの評価が高かったので、ほかの通信講座は考えずにアガルート一択でした。私は社会人として働きながらの受験でしたので、予備校に通うお金はあっても物理的時間がなく、独学か通信講座の2択でした。公務員試験の受験を少しでも考えたことがある人ならご存じでしょうが、公務員試験はそれだけで一つの受験ジャンルであり、関連書籍が山ほどあります。その膨大な教材のなかから自分で教材を選出するとなると、選ぶだけで時間をかなり消費します。先ほど申し上げましたが、私は社会人として働きながらでしたので、とにかく時間がありませんでした。なので、通信講座にしました。

学習の方針と進め方

教養試験のみで受験できる自治体のみに絞りましたので、教養試験対策について書きます。社会人として働きながらの勉強はとにかく時間がないので、解説動画はほとんど見ず、テキストのみを使用しました。勉強した科目は、数的処理・資料解釈・現代文・英語・政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・生物・地学・数学です。物理と化学を捨て科目としましたが、市役所試験は中学レベルに毛が生えた程度ですので、少しでも学習経験のある人は勉強しておくとお得です。捨て科目は絶対につくった方がいいです。逆に捨て科目以外は妥協せずにとことんやること。数的処理・資料解釈・現代文は毎日、その他は政治→社会→経済→日本史→生物→世界史→地学→地理→数学、といった流れで各教科一か月を目安に集中して勉強しました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

大変だったことは、モチベーションの維持です。働きながらの勉強は精神的にも肉体的にも辛く、1年間という長いスパンではモチベーションの高い時期と低い時期がありました。対策として古典的手法では勉強机の前に「市役所合格」と書いた紙を貼って戒めにしました。現代的手法では、勉強したことを記録できるアプリを活用し、毎日継続して勉強していることを視覚的にわかるようにしました。私が活用したアプリでは、毎日勉強が継続できたらスタンプが押されるようになっており、スタンプが溜まると勉強のモチベーションになりました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養

動画を見ている時間がなかったので、テキストのみについて書きます。要点がよくまとまっていると思います。市役所志望の人からすると数的処理は少々オーバースペックでしたが、その分本番では余裕をもって取り組みました。学習方法はいたってシンプルです。暗記科目についてはテキストを読んでインプット→過去問でアウトプットを行い、要点リストに載っていない箇所だけ過去問にあった箇所をテキストに集約していきます。とにかく復習回数が命ですので、その集約したテキストをひたすら周回しました（復習回数の多い科目だと、30回は復習しました）。数的処理は1周目は解説をみて解法を覚え、何も見ないで解く。2周目は次の日に復習、3周目は1週間後に復習、このペースでおおよそ1カ月でテキストを1周できるようにペース配分しました。すると、自然と1週間後の復習から1カ月後ぐらいに再度同じ問題を解けるので、復習間隔が丁度良いです。

②専門

教養試験のみです。

③人物試験

面接再現の本が参考になりました。違う自治体だとしても、公務員試験の面接がどのようなものなのかを知るのに参考になります。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

時間の捻出に関しては、残業を極力少なくするために早めに出勤して仕事に取り掛かること、隙間時間を利用して暗記科目の復習を行うこと（徒歩中にも聞きながら勉強、会社の昼休み、通勤の電車の中など、何もしていない時間をなくし、常にになにかしらの勉強をしている状態にしました）で乗り切りました。仕事柄、出張にいく機会が何度ありましたが、勉強を一日でも欠かしたくないので、勉強道具を持っていき、宿泊先のホテルでも勉強したほどです。平日は仕事で疲れているので復習に専念して新しいことはやらず、土日に新しいことを学習するようにしました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

社会人として働きながらの受験でしたので、心構えをしている余裕もなく、あっという間に試験日を迎えました。仕事の関係で、直前期でも平気で飲み会に参加する必要があったり、出張にいったりする必要がありました。しかし、直前期だからといって特別なことをするのではなく、普段通り過ごしたことが逆によかったと今では思います。すでに知っている人がほとんどでしょうが、直前期に不安だからといって新しいテキストや問題をやるなどとは思わないこと。いつも通りの復習をおこなうべきです。

試験期間中の過ごし方

試験を受ける直前では落ち着くために、自分が使い慣れたテキストの復習をしていました。大切なことは周りの受験者のことを気にしないこと。自分のペースをいかに崩さないかを考えました。また、私は試験中にトイレに行きたくなる傾向が昔からあったので、復習はほどほどにして直前の時間は頻繁にトイレにいました。大抵試験日のトイレは混雑するので、余裕をもって必ず行きましょう。直前に詰め込んだものに助けられることはそうそうないです。無駄なあがきはせずに、試験でいつもの力が出せる方法を考えましょう。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養

市役所試験は簡単なので、教養試験での足切りはあり得ないと確信していました。

②専門

教養試験のみです。

③人物試験

市役所の難関は面接です。とくに私は地元でもなく、縁もゆかりもない自治体を受けたので、面接に関しては最後まで結果がまったくよめませんでした。二次試験の作文では、私としては書きにくいテーマであり、書き終わった後に「なんか論点がずれているような・・・」と不安な気持ちになりました。二次試験の集団面接では、突拍子もない質問が多く困惑し、あまり上手く回答できず、不合格になってもおかしくないと思っていましたが、なぜか二次試験を通過。最終試験では個別面接でしたが、20分程度で終わり、熱意が

上手く伝わった気がせず、しかも受験番号とはまったく関係なく面接順番が最後であり、これは不合格なのではないか？と合格発表までの2週間は生きた心地がしませんでした。しかし、なぜか合格しておりました。新卒の頃から思いますが、面接試験は本当にわけがわかりません。

合格・内定した時の気持ち

教養試験だけとはいえ働きながらの勉強は想像を絶するほどつらく、途中で何度も心が折れそうになったので、合格してとても嬉しかったです。学生ではなく3年の職歴があって現職、26歳という高年齢であり、フレッシュな大学生と比べるとどう考えても不利だという気持ちが強かったので、なおさら嬉しかったです。学生と異なり、何個も併願する余裕もなく、試験に申し込んだけどその日に有給休暇がとれず、受験を断念することもありました。合格して本当に良かったです。

振り返ってみて合格の決め手

地元でもなく、縁もゆかりもない市役所を受験し、採用人数も片手で数えられるほどしかなく、26歳という高年齢での受験でしたので、いまだになぜ私が合格できたのかわかりません。面接試験はどれだけ準備しても相性が必ず存在する水物です。面接重視になっている近年の公務員試験において、合格の決めてなんて誰にもわからないと思われます。しいていうならば、どれだけ面接重視になったとしても、筆記試験の勉強は手を抜かないでやったほうがいいです。リセット方式なら別ですが、筆記試験の成績が悪くて損はありません。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

10年ほど前に「ナポレオンの村」というドラマがありました。そのドラマでは「人の役にたつてこそその役人」という言葉が出てきます。社会人として経験がありますので、そんな綺麗だけではうまくいかないことは重々わかっております。現実の公務員は非常に大変でしょう。私は地元ではない、縁もゆかりもない市役所に行きます。しかも民間企業出身者です。間違いなく異端分子でしょう。馴染めないかもしれません。しかし、そんな独自の立場でしかできないことが何かあるはず。公務員を目指したきっかけを忘れずに、民間企業出身という立場から完全に役所に染められるのではなく、「人の役にたつ役人」を目指し、自治体の発展につくしていきたいと思います。

受験生に対するメッセージ

新卒で公務員になる人がほとんどでしょうし、私もそのほうが時間も体力も精神も余裕があるので賢明な判断だと思います。3年も働く勉強からは遠ざかり、頭がさびつくので、教養試験だけでもとても大変です。とりあえず民間企業に就職してから公務員試験をうければいいや、などと軽い気持ちではまず挫折します。断言します。それぐらい働きながらの勉強は辛いのです。その勉強時間の分だけ失うものがあるのです。面接は通常平日に行われ、その日は有給休暇を取得しなければなりません。仕事が忙しいと有給休暇がと

れずに、戦わずして負ける場合もあります。ただし、社会人になってからの公務員も悪いことばかりではありません。社会人として働いていると必ず人と協力する機会があります。つまり、面接のネタに困りません。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ

令和6年度 公務員試験合格

子供を3人持つ36歳の父親

白石 雅和さん

内定先：南国市 社会人

受講したカリキュラム

教養型対策カリキュラム

合格体験記

公務員を目指すきっかけ

私は、理学療法士という医療専門職としてリハビリ業務に従事しておりました。また、事業所管理者として管理業務に従事し、民間企業として利益を追求することが重要視されるなか、私自身、利益にはかえられない部分に信頼や安心感が生まれると考えております。患者様・利用者様に対し、リハビリサービスを提供しリハビリを通して地域を良くしたいという思いを強く持っていました。そんななか新型コロナウイルス感染症により新しい生活様式への変更や、目まぐるしい時代の流れにより、たびたび挫折することがありました。しかし、困っている人の力になりたい、役に立ちたいという思いは今でも変わりありません。視野を広げ、様々な分野で活躍できる公務員として市民の方々の生活と発展の役に立ちたいと考え、公務員を目指しました。

アガルートをお選びいただいた理由

私は社会人として、仕事や子育てをしながら、公務員学校に通学することは難しく、通信制の公務員講座を検討しておりました。そのなかでも講座費用や合格実績を重要視していました。そんななか、アガルートの合格者の声・合格体験記を確認し、社会人であり限られた時間の中で試験準備に努力された方と自分自身を照らし合わせ、私もアガルートで勉強すれば、いい結果が待っているのではないかと、将来の自分をイメージすることが出来ました。また決め手となったのが、なんといっても内定特典として全額返金制度があることでした。カラーの教材や教材資料も豊富で、動画での解説もあり、時間に制限があり正直金銭的余裕もない私にとって迷わずアガルート一択でした。

学習の方針と進め方

私は元々、体育会系であり中高時代よりスポーツに専念しており、恥ずかしいことです

が、正直受験勉強に取り組んだ経験が少ないです。勉強の進め方やどのような教科を勉強する必要があるのかも分かりませんでした。そんななか、年間の勉強スケジュールや勉強方法を一緒になって考えてくれたことにより、まずは3ヶ月で数的処理を進めることから開始し、その後文章理解に取り組む等、少しずつ勉強範囲を広げていきました。特に数的処理は苦手で大変苦労しましたが、時間をかけ繰り返し反復し基礎固めを行いました。

失敗経験や挫折とそれを乗り越えるための工夫

私自身中高時代より体育会系であり、勉強の知識は誰よりも低い状態でした。しかし、講座動画の視聴や、教材を活用し反復して取り組むことで、少しずつではありましたが、私なりの勉強ペースで継続できたことが良かったと思います。夜子供を寝かし、疲れや睡魔と闘いながら勉強に取り組み、時には飲み会に誘われることもありましたが。将来の自分や家族、子供のことをイメージし自分を鼓舞しながら、勉強に向き合いました。なによりも自分の成功した将来のイメージを常に持つことが重要だと感じました。

受講された講座の良さ、当該講座の学習方法（使い方）（①：教養試験対策、②：専門試験対策、③：人物試験対策）

①教養試験対策

私は民間経験者採用枠での受験でしたので、数的処理、文章理解を中心に対策し基礎固めに徹底しました。テキストと動画を反復して活用し、始めは分からない部分は、とばしながら理解しやすい問題から進めていきました。最初は解答解説を見ることが中心でしたが、徐々に問題にも慣れていきました。

③人物試験対策

私の職業や職務経験から、日頃より敬意をもって一人一人と接することや職業・役職等分け隔てなく尊重して関わることを大事にして業務にあたっておりましたので、社会人としてのマナーや立ち振る舞い等に関しては特段対策には困りませんでした。また、仕事や人との関わりで重要視していることがありましたので、質問に対しで慌てるようなことはありませんでした。上手く伝えようとして返答文を用意していましたが、模擬面接でフリーズしてしまうこともあり、暗記することはやめて、私自身の重要視していることが相手に伝わるように工夫して取り組みました。

学習時間はどのように確保し、一日をどのように過ごしていたか

月曜日～金曜日までは仕事の為、子供を寝かしつけた後、夜9:00頃から11:30頃までの約2時間半程度勉強していました。土曜・日曜日は子供との時間を充実させることやリフレッシュするため、1時間程度実施していました。また、子供の病院受診の待ち時間や昼休みの隙間時間を活用し復習することに心がけていました。スマホで隙間時間に動画視聴できたことが、私の生活スタイルと合っていて非常に良かったです。寝る前のYouTube動画から講座動作に変更しました。

直前期の過ごし方（どのような学習をして、どのような心構えで試験を迎えたか）

直前期の過ごし方は、睡眠不足や食事面への配慮を行い体調面のサポートが厳かにならないように過ごしました。特にストレスをため込まないように、趣味やリフレッシュできる時間も少し取り入れるようにしました。そのことがかえて私にとって、メリハリが出来る、集中力が高まったのではないかと思います。学習方法や内容については特段変更することなく、基礎を徹底して取り組む事を行いました。試験が近づくにあたり焦りもありましたが、私自身のペースを崩さないことを意識しました。

試験期間中の過ごし方

試験期間中の過ごし方は、焦りもあり、いろんな問題に手を付けたりする日もありましたが、全然頭に入っていないことが多く感じた為、気持ちを落ち着かせ冷静になれるよう心掛けました。やはり私は基礎をしっかり見直すことにして、これまで通りの勉強方法を最後まで行いました。また、時事問題に関しては生活場面で聞き流しを行いながら取り組みました。試験前日には早めに就寝し、当日早朝にウォーキング等を行い軽めに体を動かしたりしてリフレッシュする時間も取り入れました。

受験した時の手ごたえ（①：教養試験、②：専門試験、③：人物試験）

①教養試験を受験した時の手ごたえ

正直なところ自信はなかったように思いますが、基礎をしっかりと固めてきた分、確実に解ける問題も多くありました。私自身の実力から高得点を目指すことは難しいことが予想されていましたが、確実に取れる問題は取りこぼしなく解けることを目標としておりましたので結果的には良かったのではないかと思います。

③人物試験を受験した時の手ごたえ

模擬面接を行い、問題点の把握や緊張感をもって取り組めたことから、本番は緊張せずに挑むことが出来ました。想定外の質問もありましたが、冷静に考えて返答することが出来たと思います。また、私自身のアピールポイントや伝えたい内容はしっかりと私なりに伝えることが出来た為、手ごたえはありました。

合格・内定した時の気持ち

私自身、公務員試験を挑戦するにあたり、3月末に退職し、十分な準備期間を設定し挑みました。私が1年後庁舎で仕事をするイメージを常に持ちながら過ごしていましたので、結果が出るまでは不安で眠れないこともありました。内定した時には手が震え、安堵しました。なによりも協力してくれた家族に感謝しています。また、子供の前でも勉強したことで、子供自身も勉強する機会が増え、子供に勉強の指図をすることがなくなりました。挑戦してよかったです。

振り返ってみて合格の決め手

私の場合は、民間経験者採用枠を受験しました。エントリーシートからいくつかの志望動機等の設問があり、私のアピールできる機会でもありました。一番大事にしたのはこの

エントリーシートであり、しっかりと作ることが出来た為、人物試験でもぶれることなくアピールすることが出来ました。そのため、深く質問されても、私自身の経験である為、自信をもって伝えることが出来たと考えております。勉強面に関してはしっかりと基礎に取り組みことで筆記試験を通過することが出来たと思います。

公務員として実現したいこと、取り組みたいこと

私の前職は理学療法士という医療専門職です。行政職との関連性は低いように思われることもあります。私自身、利用者様や地域を良くしたい、力になりたいという気持ちが根底にあるからこそ、フィールドを変えても思いは変わらず、市民の方々の生活と発展の役に立ちたいと考えています。私自身の職務経験を活かし、健康・福祉の分野、人権の分野に興味があります。また、近年では豪雨災害や土砂災害等が頻発化、激甚化しており、災害大国の日本では大地震の想定もされている状況です。そのため防災の分野にも挑戦したいと考えております。管轄部署や職務内容は多岐にわたりますが、いずれの部署に配属されても、関係各所との連携を図りながら協働の街づくりを推進し、問題解決に取り組んでいきたいと思っています。

受験生に対するメッセージ

私は子供を3人持つ36歳の父親です。公務員試験を受験するために退職しました。金銭的な不安や今後の見通し等の不安もありましたが、公務員試験に挑戦してよかったと思います。学生時代には留年経験もあります。しかし、合格や成功をイメージし継続することが私自身重要だと感じました。リスクを負うことや変化することは怖いですが、挑戦して後悔するよりも挑戦せずに後悔する方が長引くように思います。一人一人個性があるように強みもあると思いますのでその強みをうまくアピールできるようになるためには経験が必要だと思います。アガルートを活用して合格された方はたくさんおられます。また特典も大変魅力的で、私自身も活用する大きな要因の一つになっています。

民間企業向けの就職活動について

民間企業向けの就職活動はしましたか？

いいえ